MICROLINE 8580SE　ユーザーズマニュアル

このマニュアルは、以下の製品に対応しています。

水平インサータプリンタ
MICROLINE 8580SE

○このマニュアルには、プリンタを安全に使用していただくための注意事項が書かれています。
　プリンタをご使用になる前に、必ず本マニュアルをお読みください。
○本マニュアルをプリンタのそばに置いて、ご使用ください。

はじめに

このたびは､沖データのMICROLINE 8580SEをお買い求めいただきまして､誠にありがとうございます。
このユーザーズマニュアルは、MICROLINE 8580SEの操作方法について述べたものです。
ご使用の前にこの説明書をよくお読みになり、正しい使用方法をご理解いただきますようお願いいたします。

このユーザーズマニュアルは、必ず保管してください。万一、ご使用中にわからないことが起きたとき、きっとお役に立ちます。

安全上の注意表示

⚠警告　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性があることを示しています。

⚠注意　この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があることを示しています。

△記号は警告、注意を促す事項があることを告げるものです。
△の中に具体的な警告内容が描かれています。
（左図の場合は､「感電注意」を表します。）

⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。
⃠の中に具体的な禁止内容が描かれています。
（左図の場合は､「分解禁止」を表します。）

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。
●の中に具体的な指示内容が描かれています。
（左図の場合は､「アースを接続してください。」を表します。）

電波障害防止について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI)の基準に基づくクラスA情報処理装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。
この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります

エネルギースターについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

高調波規制について

この装置は、「高調波電流規格　JIS C 61000-3-2適合品」です。

使用許諾契約

プリンタに付属のソフトウェアおよびドキュメンテーションは、株式会社 沖データが提供するものです。本ソフトウェアを使用することにより、お客様は、株式会社 沖データ（以下、沖データという）との間で契約が成立し、本契約条項の拘束を受けることに同意したものと見なされます。

1. お客様は、本ソフトウェアに対応する沖データプリンタを所有している場合のみ、ソフトウェアを使用することが出来ます。

2. 本ソフトウェアおよびドキュメンテーション、そしてそれらのコピーの著作権、版権、所有権は、沖データまたは沖データに使用許諾を与えたライセンサーにあります。本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションの一部または全部を複製したり、他人に複製を作らせたり、複製を許可したり、商行為をすることはできません。お客様は本ソフトウェアを、修正、改変、翻訳、リバースエンジニアリング、逆コンパイル、逆アセンブルしないことに同意します。また、本契約で認められた項目を除き、本ソフトウェアとドキュメンテーションに関するいかなる知的所有権の権利も付与しません。

3. お客様は以下の条件すべてを満足することにより本ソフトウェアを第三者に譲渡できます。
   （1）本ソフトウェアに対応する沖データプリンタと一緒に譲渡する。
   （2）本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのコピー全てを当該第三者に譲渡し、または譲渡しなかったコピーを全て破棄する。
   （3）当該第三者が事前に本契約の拘束に同意する。
   また、本ソフトウェアを賃貸、貸与、リース、配布、転載、移転することはできません。お客様は、本ソフトウェアを日本国外に出荷、移転、輸出、再輸出できないこと、違法な方法で使用しないことに同意します。

4. お客様が本契約の条件に違反した場合には、沖データは、お客様の本ソフトウェアおよびドキュメンテーションの使用中止およびライセンス契約の解除を行うことがあります。この様な解除が行われた場合には、お客様は本ソフトウェアおよびドキュメンテーションのオリジナルおよび全てのコピーを破棄し、商標の使用を中止するものとします。

5. 沖データ及び沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションに関して、以下のことを含む一切の保証をしません。
   （1）本ソフトウェアを使用する事によってお客様の要望する性能または結果が得られること。
   （2）本ソフトウェアあるいはドキュメンテーションに瑕疵がないこと。

（3） 第三者の権利を侵害していないこと。
（4） 特定の目的に適合していること。
またソフトウェアまたはドキュメンテーションは、予告なく改良、変更することがあります。

6. 沖データおよび沖データのライセンサーは、本ソフトウェアまたはドキュメンテーションによって生じる、いかなる直接的、間接的、派生的な損害、損失に対しても、一切責任を負わないものとします。

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは固くお断りします。
2. 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
3. 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一記載もれなどお気付きの点がございましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。
4. 本書の内容に関して、運用上の影響につきましては、3項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

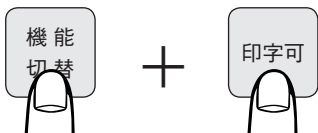
商標について

各会社名, 製品名は各社の登録商標または商品名です。
ESC/Pは、セイコーエプソン（株）の登録商標です。
Microsoft、Windows、MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

本文中の略語について

本書では、次のように表記している場合があります。

- MICROLINE 8580SE → ML8580SE
- Microsoft® Windows Vista® operating system 日本語版 → Windows Vista
- Microsoft® Windows Server® 2008 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2008(x64版)※
- Microsoft® Windows® XP x64 Edition operating system 日本語版 → Windows XP(x64版)※
- Microsoft® Windows Server® 2003 x64 Edition operating system 日本語版 → Windows Server 2003(x64版)※
- Microsoft® Windows Server® 2008 operating system 日本語版 → Windows Server 2008※
- Microsoft® Windows® XP operating system 日本語版 → Windows XP※
- Microsoft® Windows Server® 2003 operating system 日本語版 → Windows Server 2003※
- Microsoft® Windows® Millennium Edition operating system 日本語版 → Windows Me
- Microsoft® Windows® 98 operating system 日本語版 → Windows98
- Microsoft® Windows® 95 operating system 日本語版 → Windows95
- Microsoft® Windows® 2000 operating system 日本語版 → Windows 2000
- Microsoft® Windows NT® operating system Version4.0 日本語版 → WindowsNT4.0
- Microsoft® Windows ®operating system Version3.1 日本語版 → Windows3.1
- Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Me、Windows98、Windows 95、Windows 2000、WindowsNT4.0、Windows3.1 の総称→ Windows

※ 特に記載がない場合は、Windows Vista、Windows Server 2008、Windows XP、Windows Server 2003 には 64bit 版も含みます。

マニュアルの版権について

本書の見方

本書の内容は、大きく分けて次の6つの構成になっています。

第1章〜第3章	ご使用上の注意, プリンタの設置からテスト印刷, ホストコンピュータとの接続について説明しています。プリンタの基本的な使い方がわかります。
第4章〜第5章	いろいろな用紙の印刷のしかたと、知っていると便利ないろいろな機能について説明します。
第6章	ネットワークへの接続について説明します。
第7章	オプション品の取り付けから操作方法, 使用方法について説明します。
第8章	インクリボンの交換方法, 困ったときの処置方法について説明します。
第9章	定期清掃のしかたについて説明します。
付録	このプリンタの仕様、文字コード表、制御コードの一覧表、アフターサービスについて説明します。

図の表記のしかた

操作パネルスイッチ	印字可	「印字可」スイッチを押します。
	機能切替 ＋ 印字可	「機能切替」スイッチを押しながら「印字可」スイッチを押します。
表示パネル	オンライン ツウシ゛ョウ テサシ	オンライン,通常印字モード,単票手差しモードであることを示しています。

本書での説明のマーク

注	プリンタを正しく動作させるための注意や制限です。 誤った操作をしないため、必ずお読みください。
参考	プリンタを使用するときに知っておくと便利なことや参考になることです。 お読みになることをおすすめします。

安全上の注意, 表示の説明が別途ｉページに記載してありますので、お読みください。

目　次

1　ご使用前に必ずお読みください

1
章

MICROLINE 8580SEの特長

◎連続紙が1枚目から無駄なく印刷できます

印字範囲がとても広く（用紙の端から6.35mmまで印字可能）、連続紙でも1枚目から印刷できます。（リア引っ張りトラクタを除く）

◎用紙を自動的にセットします

オートロードにより、連続紙や単票を自動的に印字位置にセットします。
（リア引っ張りトラクタを除く）

◎いろいろな用紙に印刷できます

連続紙や単票をはじめ、はがき, 封筒, のし紙, 百貨店／チェーンストア統一伝票などの複写紙, その他いろいろな用紙に印刷できます。

◎単票, はがきおよび複写紙を自動給紙します

オプションのカットシートフィーダを装着すると、単票, はがきおよび複写紙を自動給紙します。

◎自動紙厚調整機能で最適な印字を行います。

用紙をセットすると、用紙の厚さを自動的に測定し、最適な印字圧に調整します。

◎用紙の排出方向が選べます

用紙を前へ排出したり、後へ排出したり、スイッチ1つで切り替えできます。

◎バーコードを印刷できます

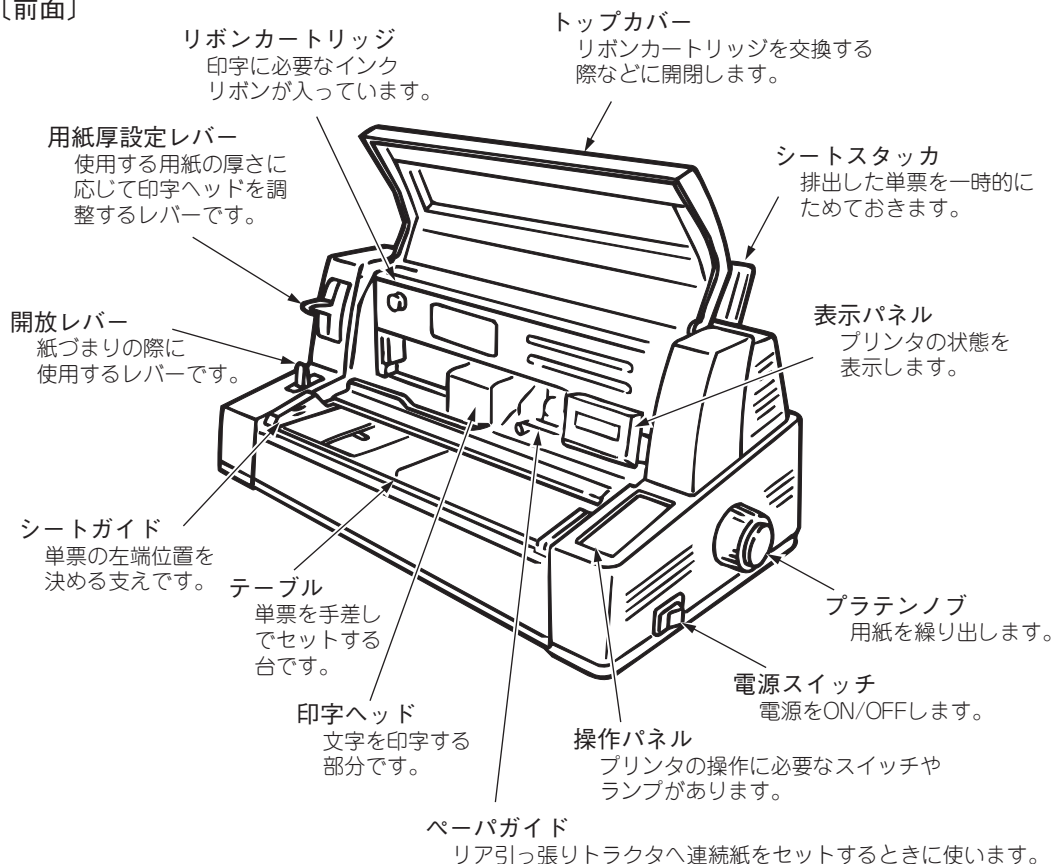
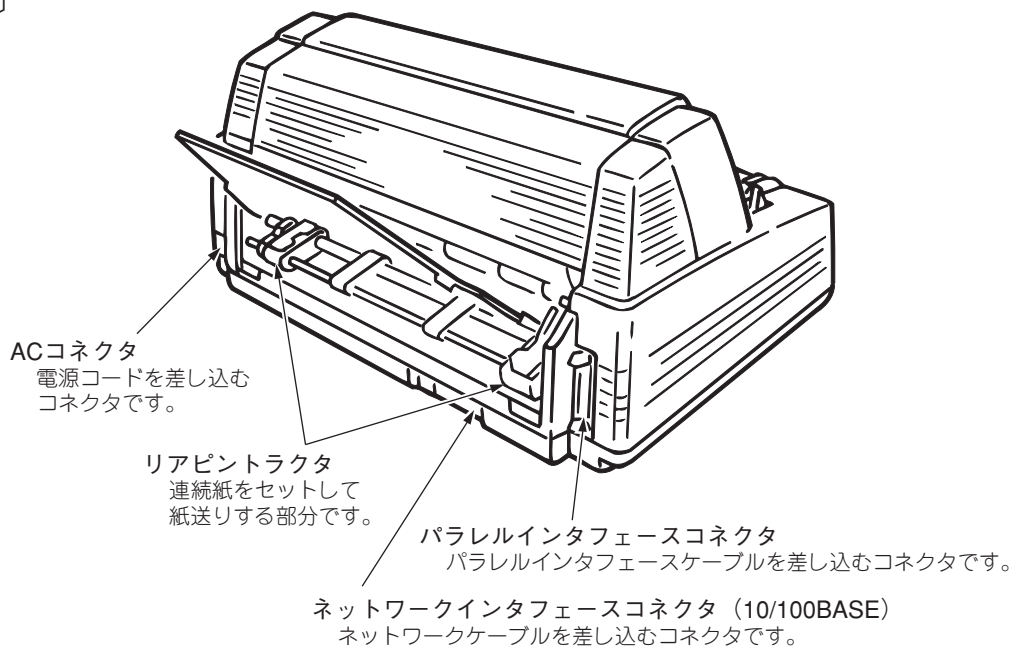
JAN, NW7, カスタマバーコードなど、6種類のバーコードが印刷できます。

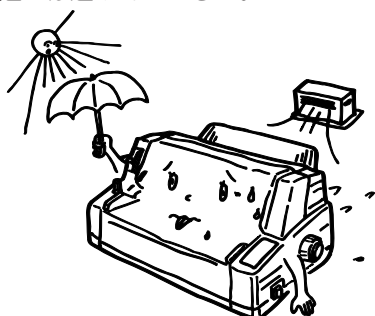
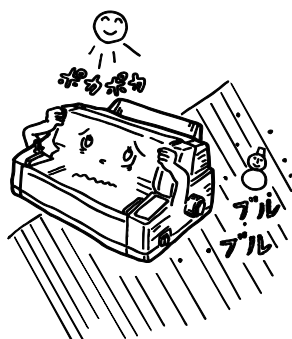
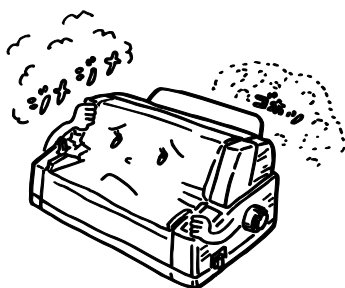
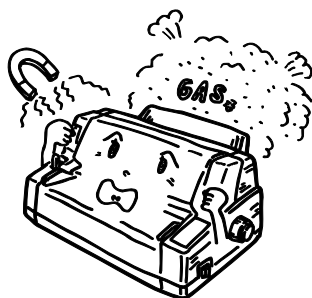
◎ネットワークに対応しています。

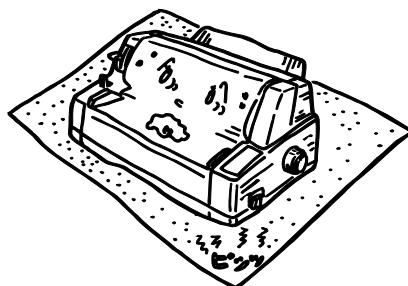
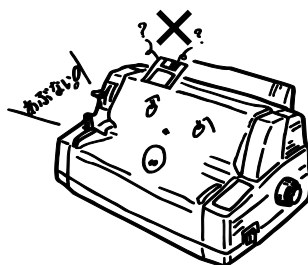
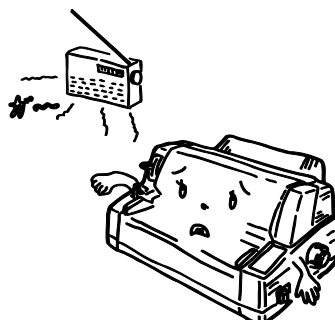
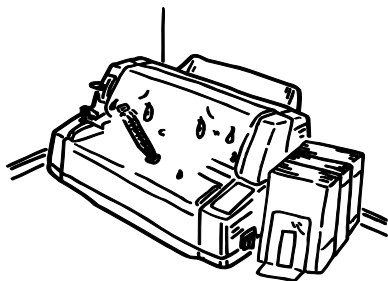
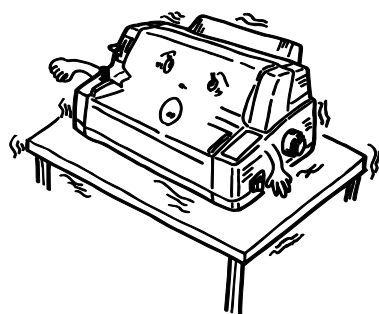
標準でプリントサーバを搭載していますので、すぐにイーサネットネットワークに接続して使用できます。（10BASE-T/100BASE-TX）

各部の名称と機能

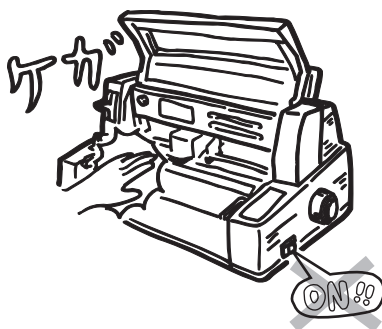
〔前面〕

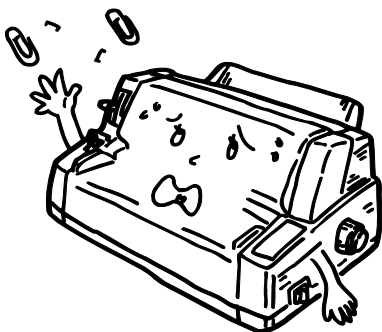
〔背面〕

設置場所について

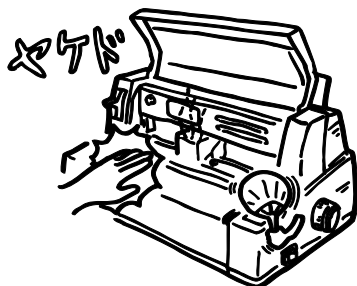
◎直射日光のあたる場所やヒータなどの熱器具の近くは避けてください。

◎急激な温度変化のある場所は避けてください。

◎湿気やほこりの多い場所は避けてください。

◎強い電磁界，腐食性ガスの発生する場所は避けてください。

◎衝撃を与えたり、衝撃や振動の加わる場所は避けてください。

◎じゅうたんを敷いた場所は避けてください。静電気障害の原因になります。

◎フロッピーディスクを乗せると、フロッピーディスクの内容が壊れることがあります。

◎近くでラジオを聞く場合、周波数によっては雑音が入ることがあります。

◎プリンタの通風口をふさいだり、風通しの悪い場所は避けてください。

◎プリンタを設置する台，机は、プリンタの振動で動く場合がありますので､キャスター付きのものは避けてください。

1章

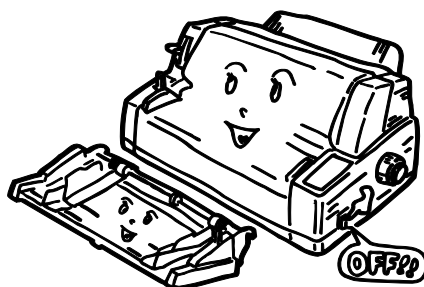
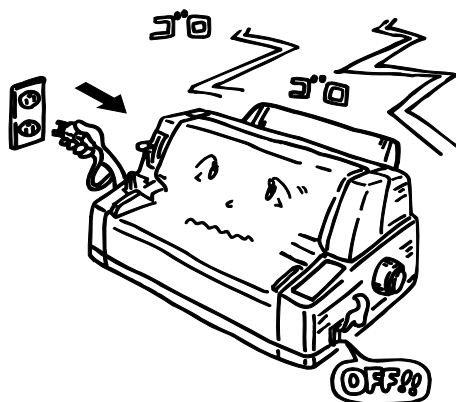
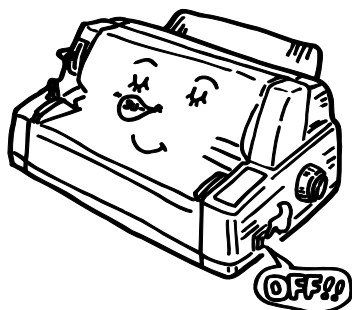
ご使用時の注意

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源をいれたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換などをしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

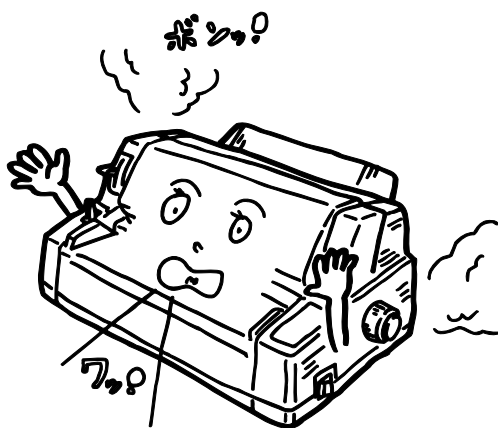
⚠注意	装置が壊れる恐れがあります。	

プリンタ内部にクリップなどの異物を落とさないでください。
もし、落ちてしまったときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。
ご自分で分解しないでください。故障の原因になります。

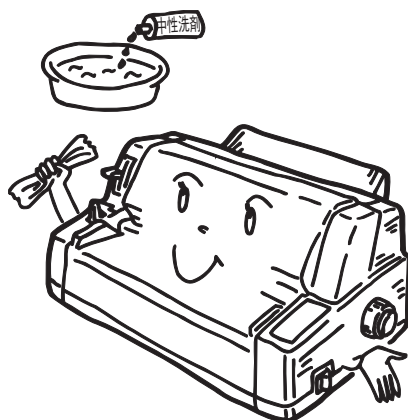
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。

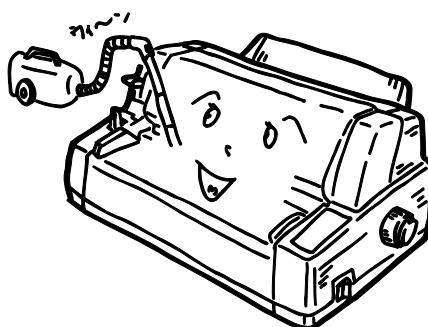
- 用紙やリボンカートリッジが無い状態では、絶対に印字させないでください。また、用紙幅以上の領域にも印字させないでください。
  印字ヘッドの寿命低下や、破損の原因になります。
- インクリボンとリボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
  純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
  純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）
- 印字が薄くなったり、インクリボンがほつれたりした場合には交換してください。包装を解いたリボンカートリッジは長時間放置すると寿命が短くなります。
- リボンカートリッジ交換後は、インクリボンがたるんでいないことを確認してください。たるんでいる場合は、つまみを矢印方向に回してたるみをとってから動作させてください。
  詳細は、「リボンカートリッジを取り付ける」（17ページ）を参照してください。
- 用紙は、仕様に合ったものを使用してください。用紙詰まりや印字精度低下等の原因となります。詳細は、「付録　用紙規格および印字範囲」（224ページ）を参照してください。

◎オプションを取り付けるときは、電源を「OFF」にしてください。

◎雷が鳴っているときは電源を「OFF」にし、電源プラグを抜いてください。

◎長時間プリンタを使用しないときは、電源を「OFF」にしてください。

故障や異常のときは

⚠警告	故障や感電の原因になります。	

故障や異常（においがしたり、煙が出たり、熱くなった）に気付いたときは、すぐに電源スイッチを「OFF」にし、電源プラグをコンセントから抜いて、お客様相談センターにご連絡ください。ご自分で分解したり、修理したりしないでください。故障や感電の原因になります。

プリンタのお手入れ

◎プリンタカバーの汚れは、中性洗剤を薄めた液にひたした布を、堅くしぼってふき取ってください。

注✓ 堅い布やシンナー，ベンジンなどでふかないでください。

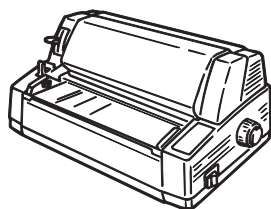
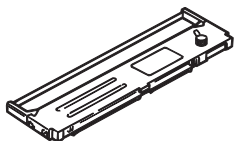
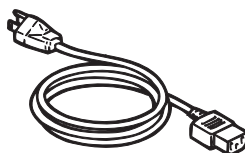
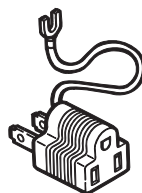
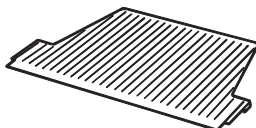
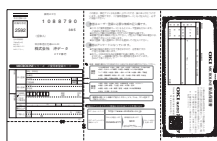
◎プリンタ内部にごみやほこり・紙紛が目立つ場合は、掃除機などを使用して取り除いてください。(207ページ参照)

注✓ ごみやほこり・紙紛がたまるとセンサーの誤動作や用紙送り不良、印字乱れなどの原因になります。

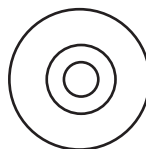
2 プリンタの準備

～箱を開けてからテスト印刷するまで～

2
章

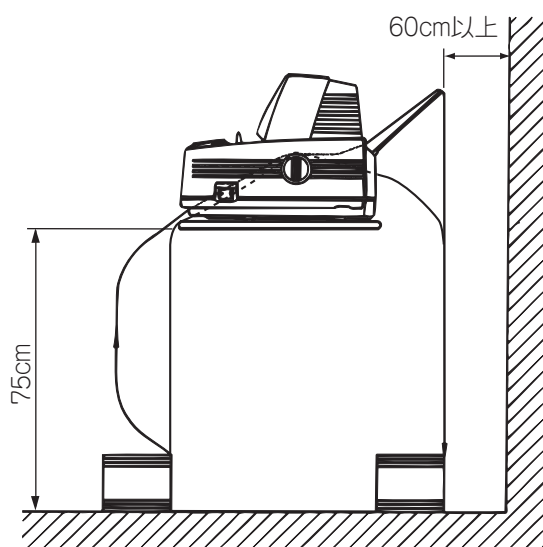
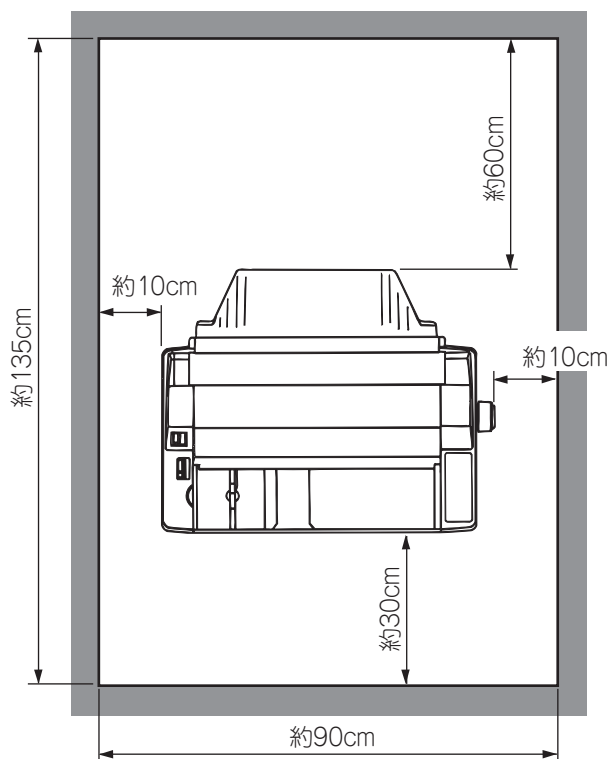
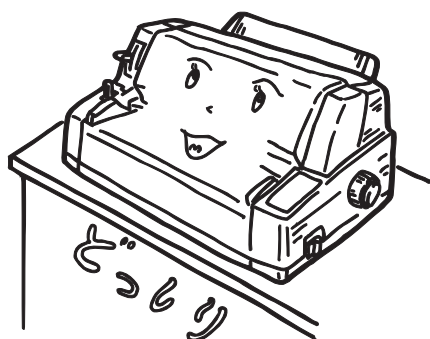
梱包を開く

プリンタの梱包を開いて、以下の付属品が揃っていることを確認してください。
もし、足りない場合は、プリンタをお買い求めの販売店にご連絡ください。

プリンタ　リボンカートリッジ　電源コード　電源用プラグ

アース線固定ネジ　シートスタッカ　プリントサーバ テストページ　ユーザーズマニュアル

保証書/ご愛用者登録カード　PRICOM3100 セットアップ ガイド　IPv6説明文

プリンタソフトウェアCD-ROM（1枚）　CD-ROM（SX User Software）（1枚）

- 保証書に必要事項が記入されているか確認してください。
正しく記入されていない保証書は無効になり、無償保証を受けられない場合があります。もし、記入内容が不十分でしたら、販売店にお問い合わせください。
- 保証書は大切に保管してください。
- 梱包箱, 梱包材は保管しておき、再輸送の際に必ず使用してください。

プリンタを設置する

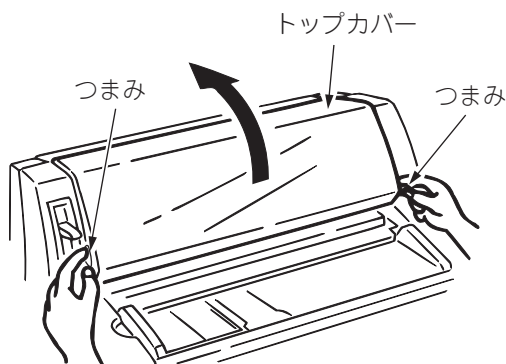
プリンタは、水平で安定した台の上に設置してください。また、操作, 日常の点検および消耗品の交換など、プリンタの性能を維持する作業を行うために下記の設置スペースを確保してください。

設置スペース

固定具を取り除く

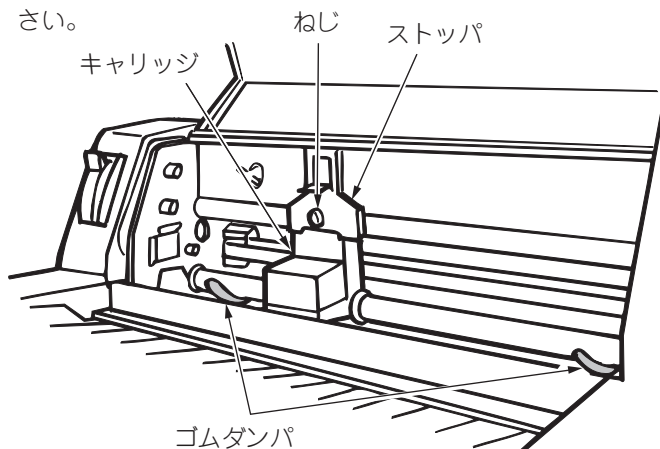
輸送時の振動などによる破損を防ぐため、印字ヘッドを固定具（ストッパとゴムダンパ）で固定してあります。ご使用になる前に、このストッパとゴムダンパを外してください。

注
- 取り外した固定具と緩衝材は梱包箱とともに保管してください。
- 輸送や保管時、または装置移動の際にはこの固定具（ストッパとゴムダンパ）で再度印字ヘッドを固定してください。（264ページ）
- 固定具（ストッパとゴムダンパ）を固定する際は、用紙厚設定レバーを「自動」に移動し、電源スイッチを「ON」にしてキャリッジが止まった後、電源スイッチを「OFF」にしてから固定してください。（キャリッジが上昇します）

1 トップカバーを開きます。

トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

2 固定具を外します。

ねじを外し、ストッパを手前に引き抜いてください。

左右のゴムダンパは、上に持ち上げながら手前に引き抜いてください。

3 トップカバーを閉じます。

両手で左右のつまみを持ってトップカバーがロックされるまで閉じます。

電源の条件

- 以下の条件を守ってください。
  交流（AC）　：　100V±10%
  電源周波数　：　50Hzまたは60Hz±2Hz
- 電源が不安定な場合は、電圧調整器などを使用してください。
- 本プリンタの最大消費電力は390Wです。電源容量に十分余裕があることを確認してください。
- UPS(無停電電源)およびインバータを使用した場合の動作は保証していません。故障の恐れがあります。無停電電源およびインバータは使用しないでください。

⚠警告	火災や感電のおそれがあります。	

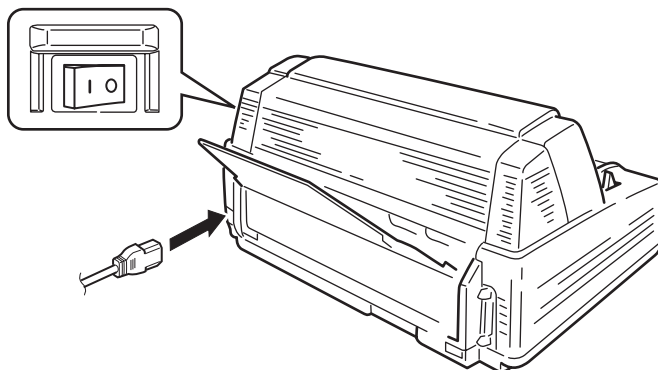
- 電源コード、アース線の取り付け、取り外しは必ず電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- アース線は必ず専用のアース端子に接続してください。水道管、ガス管、電話線のアース、避雷針などには絶対に接続しないでください。アースが取れない場合はお買い求めの販売店にご相談ください。
- アース端子の接続は必ず、電源プラグに電源を繋ぐ前に行ってください。また、アース端子を外す場合は、必ず電源プラグを電源から切り離してから行ってください。
- 電源コードの抜き差しは必ず電源プラグを持って行ってください。
- 電源プラグは確実にコンセントの奥まで差し込んでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- 電源コードは踏まれない場所に設置し、電源コードの上には物を置かないでください。
- 電源コードをたばねたり、結んだりして使用しないでください。
- 破損した電源コードを使用しないでください。
- たこ足配線はしないでください。
- 本プリンタと他の電気製品を同じコンセントに接続しないでください。特に、空調機、複写機、シュレッダなどと同時に接続すると、電気的ノイズによってプリンタが誤動作することがあります。やむを得ず同じコンセントに接続するときは、市販のノイズフィルタかノイズカットトランスを使用してください。
- 添付の電源コードを使用し、直接コンセントに差し込んでください。
- 本プリンタに添付の電源コードを使用してください。他の製品用の電源コードは使用しないでください。
- 本プリンタに添付の電源コードは、本プリンタ専用です。他の製品には使用しないでください。
- 延長コードは使用しないでください。やむを得ず使用する場合は、定格15A以上のものを使用してください。
- 延長コードを使用すると、AC電圧降下により、プリンタが正常に動作しない場合があります。
- 印刷中に電源を切ったり電源プラグを抜かないでください。
- 連休や旅行で長期間使用しない場合は、電源コードを抜いてください。

電源プラグは定期的にコンセントから抜いて、刃の根元、および刃と刃の間を清掃してください。
電源プラグを長期間コンセントに差したままにしておくと、電源プラグの刃の根元にホコリが付着し、ショートして火災の原因となるおそれがあります。

2
章

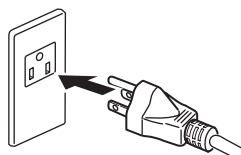
電源コードを接続します。

注 電源スイッチがOFF（○）になっていることを確認してください。

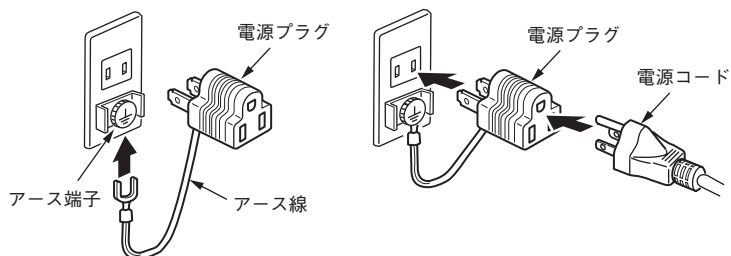
1 電源コードをプリンタに差し込みます。

2 電源プラグをコンセントに差し込みます。

コンセントが3極の場合

① 電源プラグをコンセントに差し込みます。

〈3極の場合〉

コンセントが2極の場合

① 付属の電源プラグを使用し、アース線をコンセントのアース端子に接続します。

〈2極の場合〉

② 電源プラグをコンセントに差し込みます。

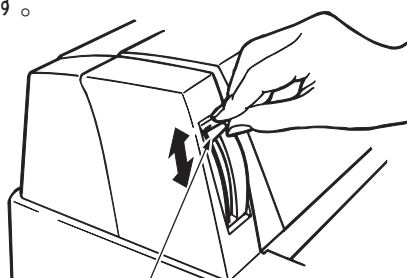
注 必ずアース線を接続してください。

リボンカートリッジを取り付ける

最初にリボンカートリッジを取り付けます。

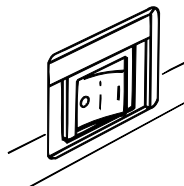
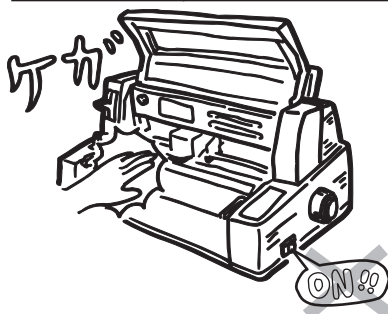
注 リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

●リボンカートリッジの取り付け

1 電源スイッチを「**OFF**」にし、用紙厚設定レバーを「**自動**」に移動します。

用紙厚設定レバー

2 電源スイッチを「**ON**」にします。印字ヘッドが上昇し左へ移動後、リボンセット位置（中央）に停止したことを確認して、電源スイッチを「**OFF**」にします。

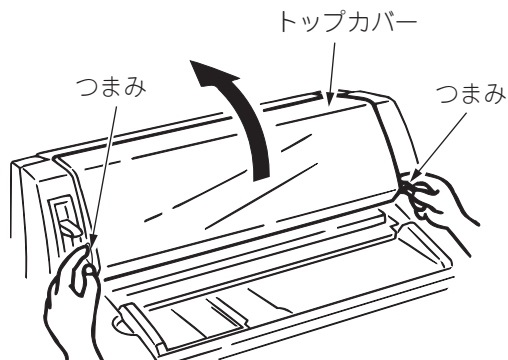
印字ヘッドが上昇することで、リボンがセットし易くなります。

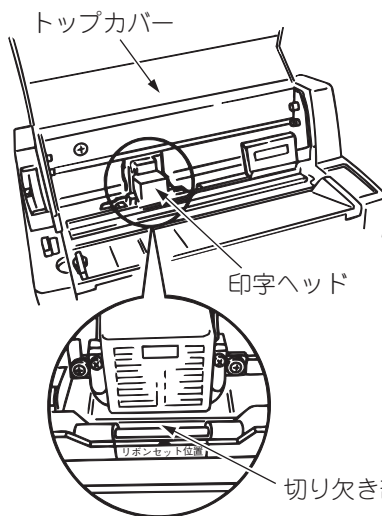
注 印字ヘッドがリボンセット位置にない場合は、手順4で印字ヘッドを手動でリボンセット位置に移動します。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

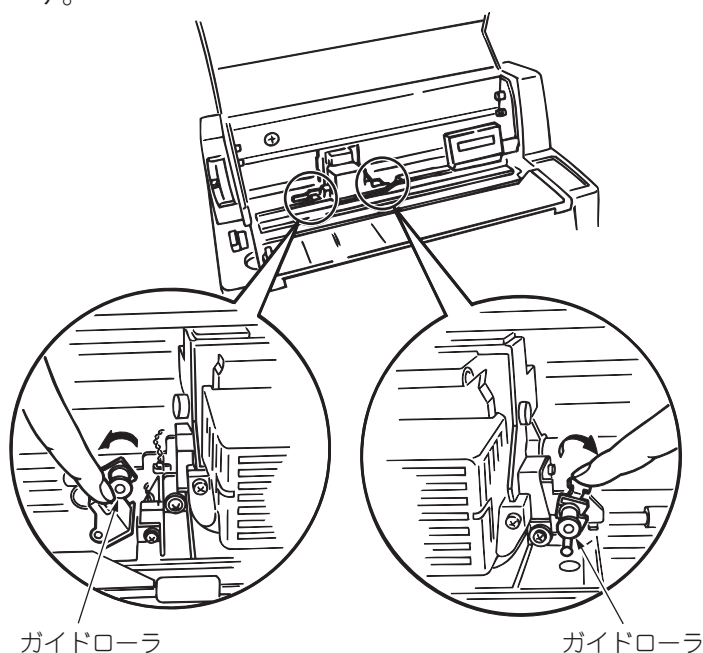
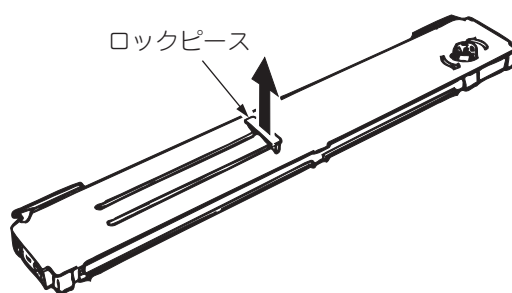
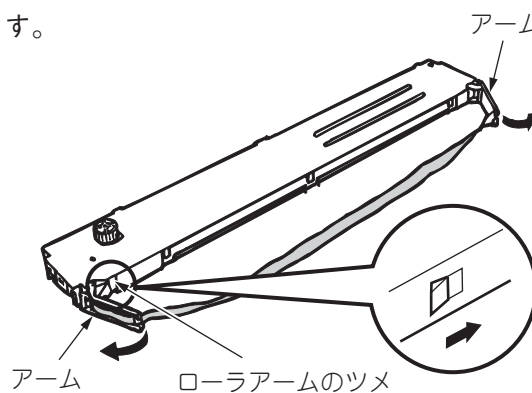
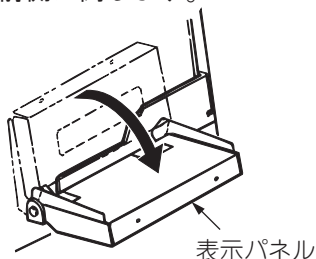
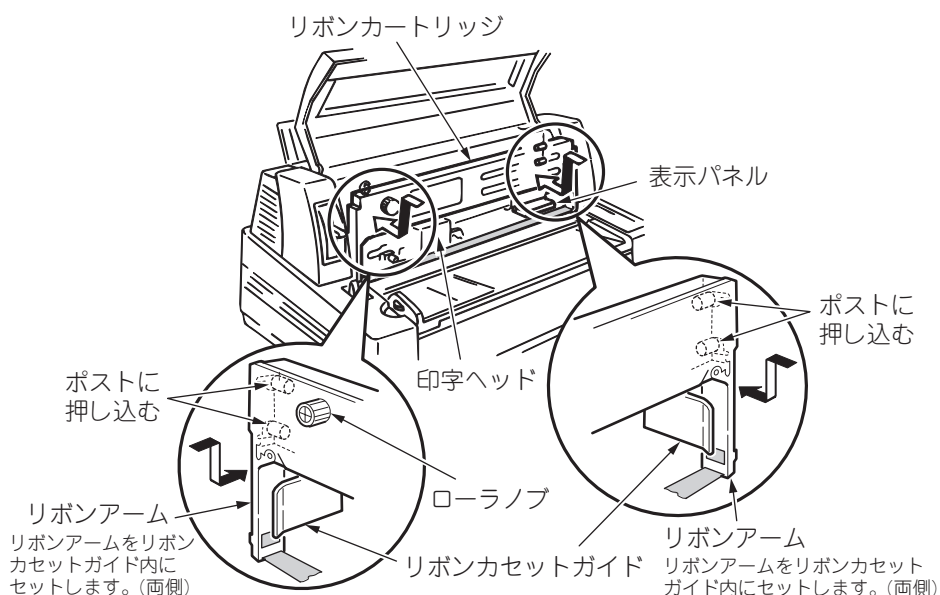
電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

2
章

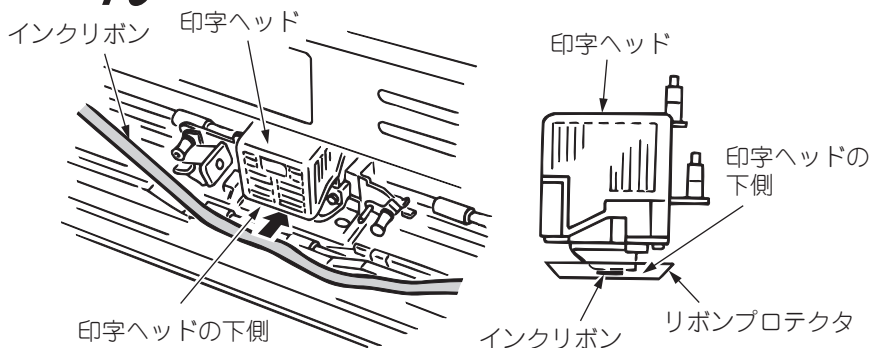
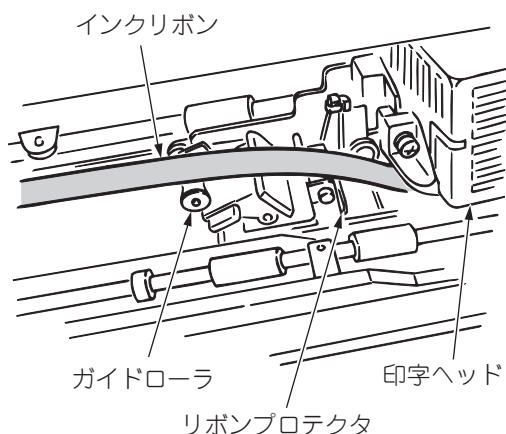
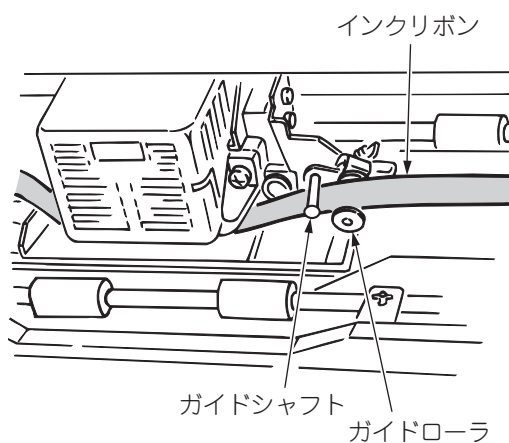
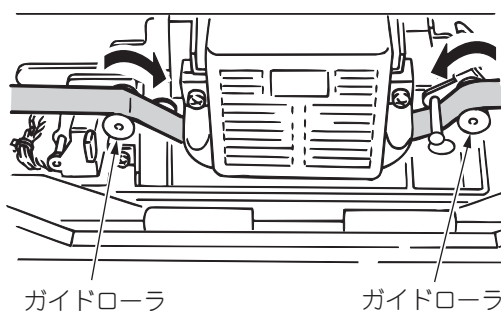
3 トップカバーを開きます。

トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

4 印字ヘッドが、「リボン▲セット位置」にあることを確認します。「リボン▲セット位置」にない場合は、印字ヘッドを、「リボン▲セット位置」へ移動させます。

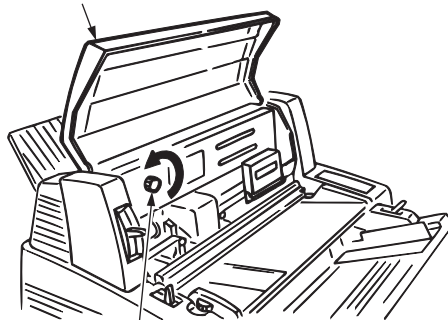
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。
リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 印字ヘッド左右のガイドローラをそれぞれ外側に倒します。

6 リボンカートリッジの包装紙を取り除き、ロックピースを引き抜きます。

7 左右のアームを止まるまで開き、ローラアームのつめを解除します。

8 表示パネルを手前側に倒します。

9 表示パネルの上方よりリボンカートリッジを入れて、印字ヘッドの上側にリボンカートリッジをセットし、リボンカートリッジの両端を止まるまで押し込みます。

リボンカセットガイドの上方（矢印部）を突き当てて押し込むと、容易にセットできます。

注 左右のリボンアームがリボンカセットガイド内に確実にセットされているか確認してください。

10 印字ヘッドの下側にインクリボンを通します。

11 左側のガイドローラの上にインクリボンをのせます。

12 右側のガイドローラとガイドシャフトの間にインクリボンを通します。

13 印字ヘッド左右のガイドローラを元に戻します。

注 ガイドローラは、必ず戻してください。リボン外れの原因になります。

2
章

14 ローラノブを矢印方向に回してインクリボンのたるみを取ります。

注
- 印字ヘッドとリボンプロテクタのすき間にインクリボンを通した際、よじれや折れ、カートリッジ左右のアームから外れがないことを確認してください。
- ローラノブを矢印の反対方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。

15 表示パネルを戻します。

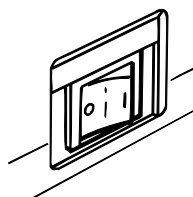
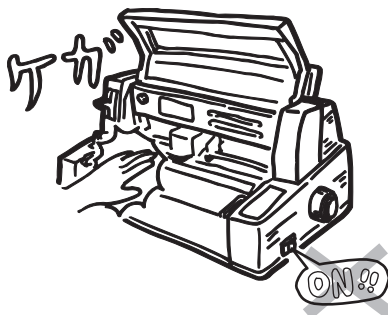
16 トップカバーを閉じます。

●リボンカートリッジの取り外し

1 用紙厚設定レバーを「**自動**」に移動します。

2 電源スイッチを「**ON**」にします。印字ヘッドが上昇し左へ移動後、リボンセット位置（中央）に停止したことを確認して、電源スイッチを「**OFF**」にします。

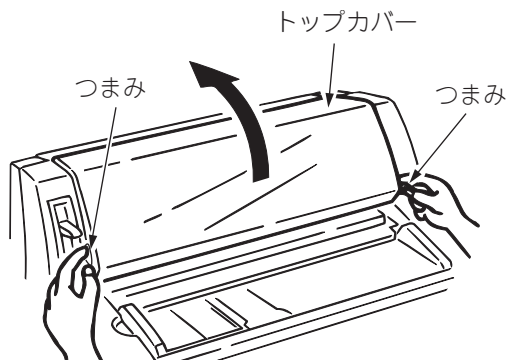
印字ヘッドが上昇することで、リボンが取り外し易くなります。

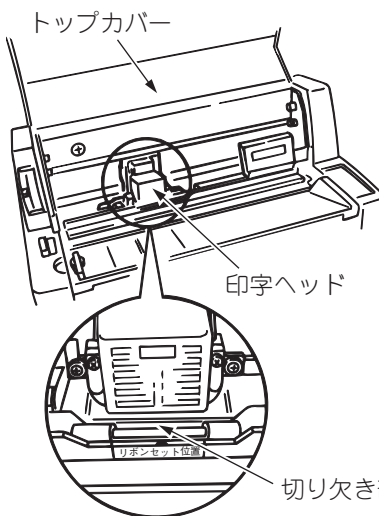
注 印字ヘッドがリボンセット位置にない場合は、手順4で印字ヘッドを手動でリボンセット位置に移動します。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

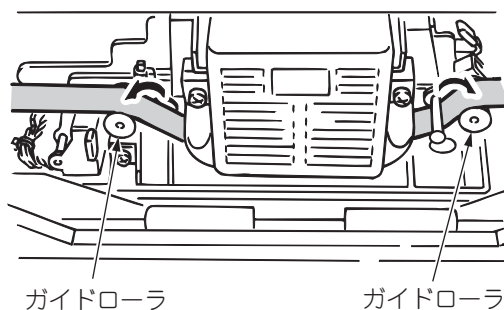
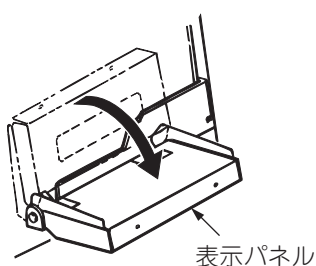
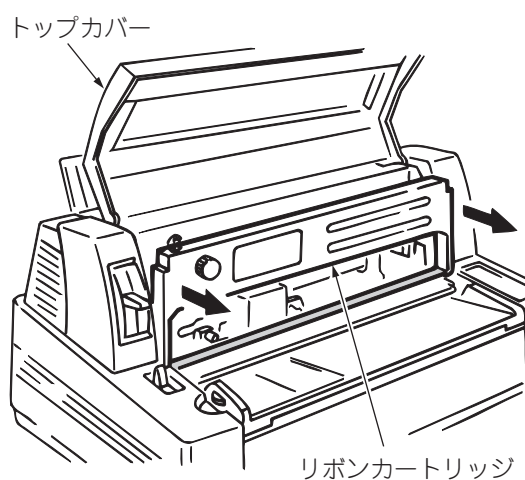
電源を入れたままでカバーを開けて、リボンカートリッジの交換をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

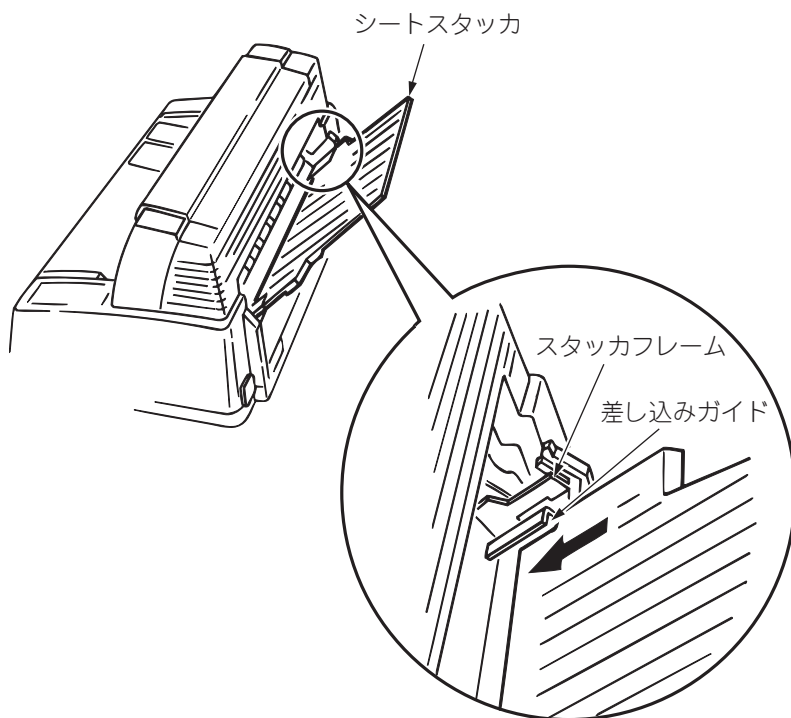
2
章

3 トップカバーを開きます。

トップカバーの左右のつまみを両手で持って開きます。

4 印字ヘッドが、「リボン▲セット位置」にあることを確認します。「リボン▲セット位置」にない場合は、印字ヘッドを、「リボン▲セット位置」へ移動させます。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。
リボンカートリッジの取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

5 印字ヘッド左右のガイドローラを外側に倒し、インクリボンを外します。

6 表示パネルを手前側に倒します。

7 リボンカートリッジの両側を手前に引いてロックを外し、そのまま全体を手前に引いて外します。

シートスタッカを取り付ける

1 シートスタッカをスタッカフレームの差し込みガイドに差し込みます。

テスト印字をする

プリンタが正確に動くことを確かめるために、テスト印字を行います。テスト印字には、A4サイズ以上の単票の縦置、または15インチ幅の連続紙を使用します。
ここでは、A4サイズの単票を使う場合を例にとって、テスト印字の手順を説明します。

1 電源スイッチを「**ON**」にします。

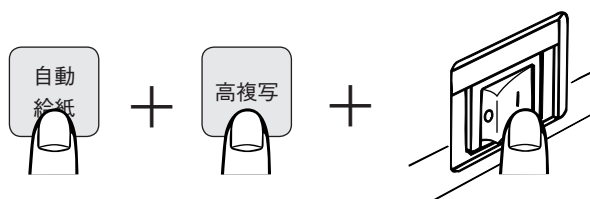
2 オフライン状態で「**単票／帳票**」スイッチまたは「**自動給紙**」スイッチを押して "テサシ" にします。

オ	フ	ラ	イ	ン					ツ	ウ	シ	゛	ョ	ウ	
テ	サ	シ													

3 電源を「**OFF**」にします。

4 用紙厚設定レバーを「**自動**」にします。

5 「**自動給紙**」＋「**高複写**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

印字ヘッドが動きはじめたら、スイッチを指から離します。

6 単票をセットします。

シートガイドに単票の左端を合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。
約2秒後、単票が自動的に吸入されます。

7 プリンタが印字を開始します。

「印字可」スイッチを押すと、印字を中断します。
もう一度「印字可」スイッチを押すと、印字を再開します。

「**改頁**」スイッチを押して、単票を排出します。

電源スイッチを「**OFF**」にします。

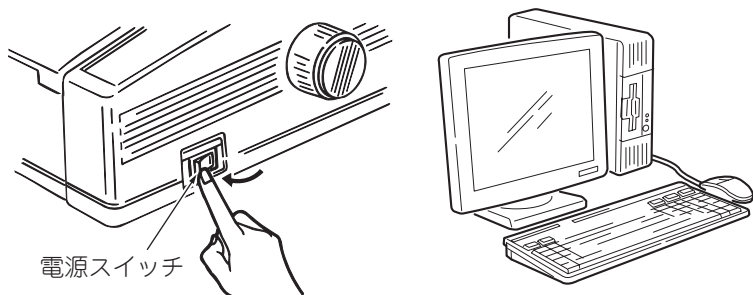
連続紙の場合は、100ページを参照して用紙をセットしてください。

注：テスト印字を行ってみて、動作が異常な場合には、「こんなときには」（187ページ）を参照してください。

3 ホストコンピュータに接続する

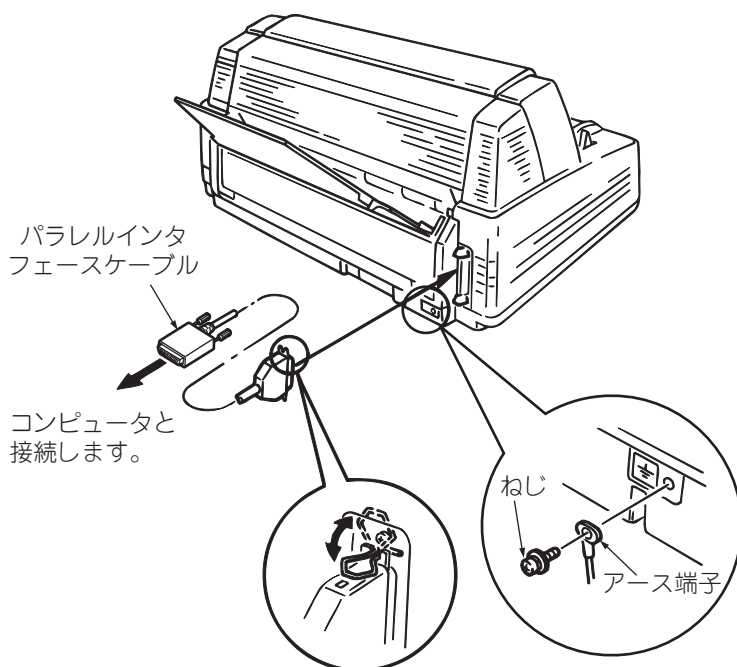
ホストコンピュータに接続する

このプリンタは、パラレルインタフェースと，イーサネットインタフェース（TCP/IP, IPX/SPX）を装備しています。
初めの設定では、パラレルインタフェースに接続できるようになっています。イーサネットインタフェースに切り替えるにはメニュー設定による変更が必要です。自動的には切り替わりません。
イーサネットインタフェースで接続する場合は､「第6章ネットワークに接続する」（165ページ）をご覧ください。
インタフェースケーブルは、ホストコンピュータによって異なります。それぞれのホストコンピュータに合ったIEEE std 1284-1994準拠の双方向パラレルケーブルをご用意ください。
プリンタのコネクタの信号線ピン配列は、「パラレルインタフェース」（217ページ）をご覧ください。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。コンピュータ側の電源スイッチも「**OFF**」にします。

2 パラレルインタフェースケーブルを接続します。

ケーブルが外れないようにプリンタ側の止め金具で固定します。

⚠注意	感電の恐れがあります。	

万一の危険防止のため、インタフェースケーブルにアース端子がある場合は、付属品の「アース線固定ねじ」を使用して、端子取り付け位置に必ず接続し、コンピュータ側もアースへ接続してください。

3 コンピュータにパラレルインタフェースケーブルを接続します。

詳しくは、コンピュータのマニュアルをご覧ください。

Windows Vista 環境で使用する

●プリンタの設定

Windows Vista から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（144 ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows Vista 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外の OS には対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注 セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

1. プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。
2. パラレルケーブルを接続します。
3. プリンタの電源を「ON」にします。
4. Windows Vista を起動します。
   すでに Windows Vista が起動している場合は、再起動してください。

   プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

3章

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1 『スタート』-『コントロールパネル』-『プリンタ』を開き、画面上で右クリック後、さらに、『管理者として実行』-『サーバのプロパティ』を選択します。

注 『管理者として実行』という項目が無い場合は、『サーバーのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

●高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

注 OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角(〔明朝〕の縦横 2 倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows Server 2008 環境で使用する

●プリンタの設定

Windows Server 2008 から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。「設定を初期化する」（144 ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows Server 2008 日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外の OS には対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注 セットアップを行う際には、必ず Administrator 権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。

1 プリンタとコンピュータの電源が OFF になっていることを確認します。

2 パラレルケーブルを接続します。

3 プリンタの電源を「ON」にします。

4 Windows Server 2008 を起動します。
すでに Windows Server 2008 が起動している場合は、再起動してください。

プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙 / 品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙 / 品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1 『スタート』-『コントロールパネル』-『プリンタ』を開き、画面上で右クリック後、『サーバのプロパティ』を選択します。

注 『管理者として実行』という項目がある場合は、『管理者として実行』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

●高さは 1/6 インチ単位で設定してください。

注 OS 側の設定が 1/6 インチ単位のため、1/6 インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズと OS 内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角(〔明朝〕の縦横 2 倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows Server 2003環境で使用する

●プリンタの設定

Windows Server 2003から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（144ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows Server 2003日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

- 通常はプリンタドライバCD-ROMの沖データ製プリンタドライバをご使用ください。
  Windows Server 2003付属のプリンタドライバもご使用になれますが、沖データ製のものに比べ機能が劣ります。
- パラレルインタフェースでWindows Server 2003と接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、Windows Server 2003を起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面(新しいハードウェアの検出ウィザード)が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限(コンピュータの管理者の権限)をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SEプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

3章

セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM(プリンタに添付されていたもの)

1 プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

2 パラレルケーブルを接続します。

3 プリンタの電源を「ON」にします。

4 Windows Server 2003を起動します。
すでにWindows Server 2003が起動している場合は、再起動してください。
プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。

5 『スタート』→『プリンタとFAX』を選択します。
『プリンタとFAX』フォルダに作成されたプリンタアイコンを選択し、『ファイル』メニューより『プロパティ』を選択します。

6

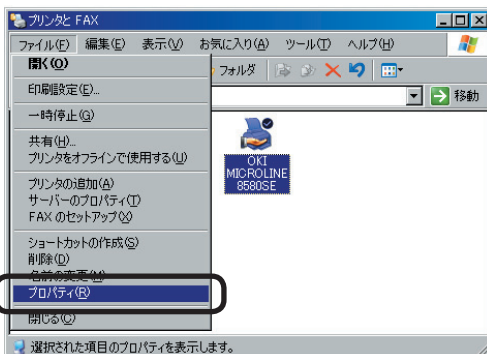
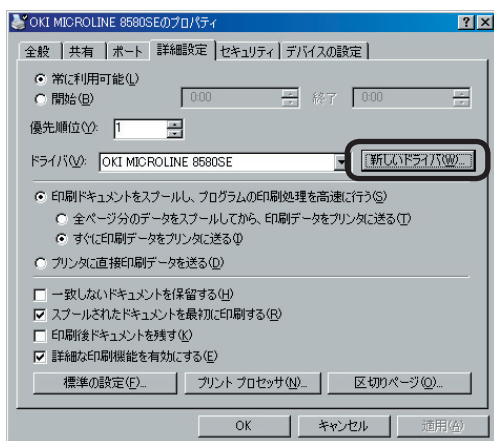
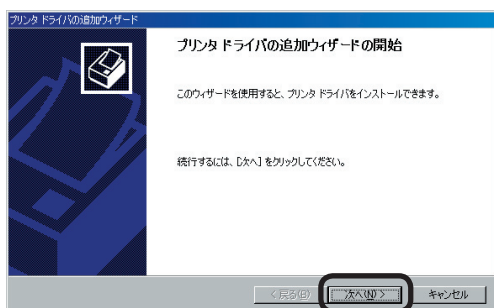
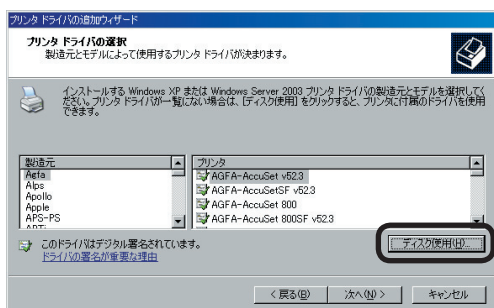
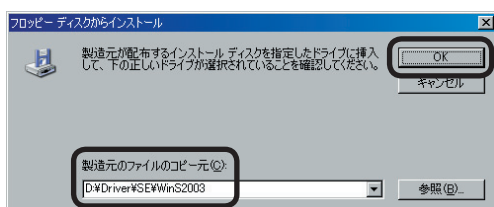
『詳細設定』タブを選択し、『新しいドライバ』をクリックします。

7

『プリンタドライバの追加ウィザードの開始』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

8

『プリンタドライバの選択』が表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

9

プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『製造元のファイルのコピー元：』に次のように入力して、『OK』をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥Driver¥SE¥WinS2003

10 『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

11 『プリンタドライバの追加ウィザードの完了』が表示されたら、『完了』をクリックします。

12 『ハードウェアのインストール』画面で『Windowsロゴテストに合格していません』と表示されたら、『続行』をクリックします。

13 『詳細設定』画面で、『OK』をクリックします。

これでセットアップは終了です。

3
章

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注　印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1 『マイコンピュータ』-『プリンタとFAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角(〔明朝〕の縦横 2 倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows XP環境で使用する

●プリンタの設定

Windows XPから印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（144ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows XP日本語版の動作するコンピュータ
IBM PC/AT互換機、PC98-NX（PC-9821を除く）で双方向パラレルインタフェースを搭載している機種

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- 通常はプリンタドライバ CD-ROM の沖データ製プリンタドライバをご使用ください。
  Windows XP 付属のプリンタドライバもご使用になれますが、沖データ製のものに比べ機能が劣ります。
- プリンタドライバのセットアップは『新しいハードウェアの検出ウィザード』から行います。パラレルインタフェースでWindows XPと接続する場合、『プリンタのインストール』では正しくセットアップできません。プリンタのインストールでセットアップすると、Windows XPを起動するたびにプラグアンドプレイでのセットアップ画面（新しいハードウェアの検出ウィザード）が表示されますので、必ずプラグアンドプレイでセットアップしてください。
- セットアップを行う際には、必ずAdministrator権限（コンピュータの管理者の権限）をもったアカウントでログオンしてください。
- すでにOKI MICROLINE SEプリンタドライバがセットアップされている場合は、削除してからセットアップしてください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

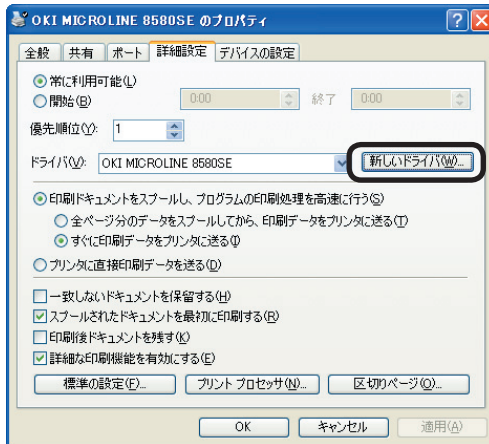
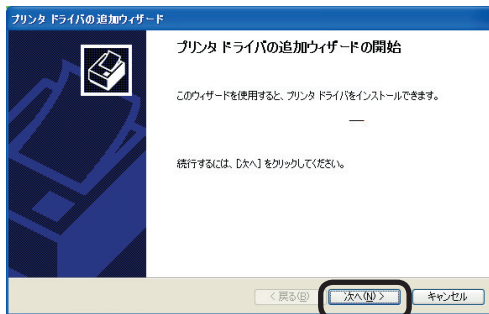
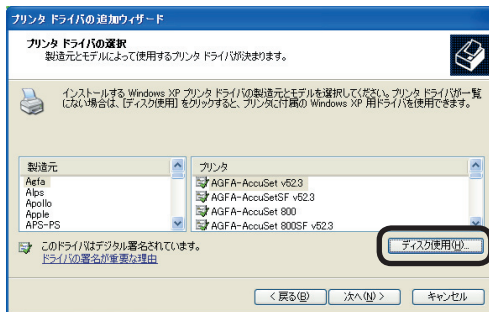
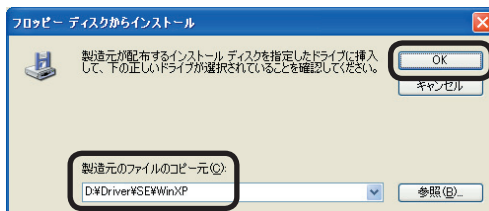
セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

1 プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

2 パラレルケーブルを接続します。

3 プリンタの電源を「ON」にします。

4 Windows XPを起動します。
すでにWindows XPが起動している場合は、再起動してください。
プラグアンドプレイで、自動的にプリンタドライバがセットアップされます。

5 『スタート』→『プリンタとFAX』を選択します。
『プリンタとFAX』フォルダに作成されたプリンタアイコンを選択し、『ファイル』メニューより『プロパティ』を選択します。

6　『詳細設定』タブを選択し、『新しいドライバ』をクリックします。

7　『プリンタドライバの追加ウィザードの開始』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

8　『プリンタドライバの選択』が表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

9　プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、『製造元のファイルのコピー元：』に次のように入力して、『OK』をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥Driver¥SE¥WinXP

3章

10 『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

11 『プリンタドライバの追加ウィザードの完了』が表示されたら、『完了』をクリックします。

12 『ハードウェアのインストール』画面で『Windowsロゴテストに合格していません』と表示されたら、『続行』をクリックします。

13 『詳細設定』画面で、『OK』をクリックします。

これでセットアップは終了です。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1 『マイコンピュータ』-『プリンタとFAX』-『ファイル』-『サーバのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。「用紙規格および印字範囲」の範囲外で用紙サイズを作成しても、プリンタドライバで選択することはできません。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕〔Courier（10cpi）〕、〔OCR-B（10cpi）〕、〔Roman（10cpi）〕、〔SanSerif（10cpi）〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角（〔明朝〕の縦横 2 倍）の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows 2000環境で使用する

●プリンタの設定

Windows 2000から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（144ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows 2000日本語版の動作するコンピュータ

- 日本語版以外のOSには対応していません。
- ARC互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®シリーズ、Alpha、PowerPC™など）のシステムには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

注
- 通常はプリンタドライバ CD-ROM の沖データ製プリンタドライバをご使用ください。
  Windows 2000 付属のプリンタドライバもご使用になれますが、沖データ製のものに比べ機能が劣ります。
- プリンタドライバのセットアップは「プリンタの追加」から行います。
- Administratorの権限が必要です。
- すでにMICROLINE SEシリーズのプリンタドライバがセットアップされている場合は、プリンタアイコンを削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。

　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

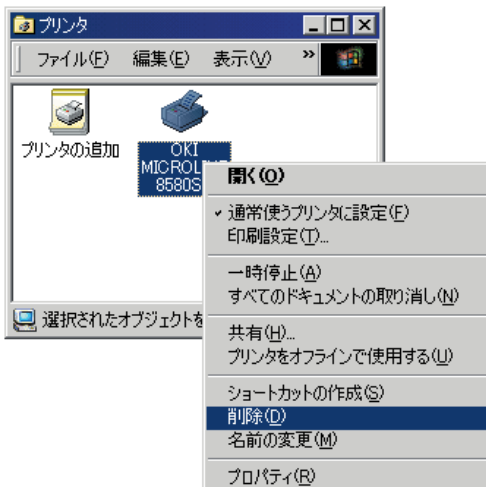
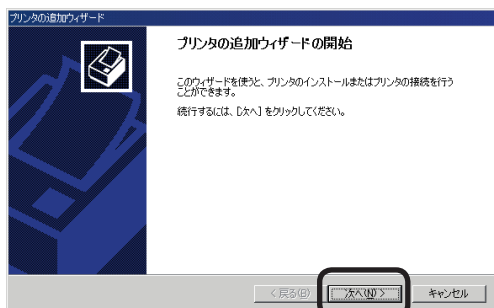
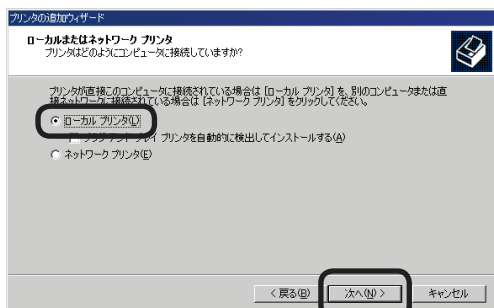
1 プリンタとコンピュータの電源がOFFになっていることを確認します。

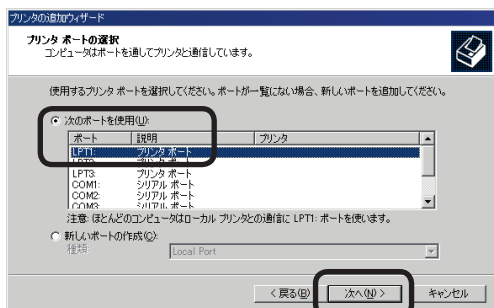
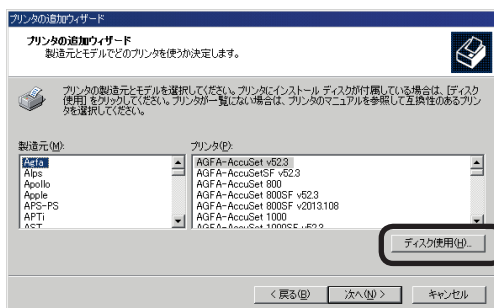
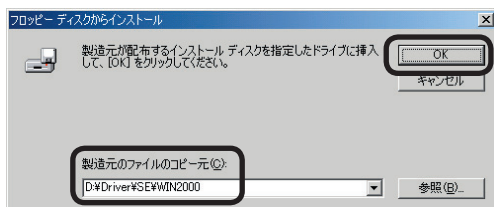
2 パラレルケーブルを接続します。

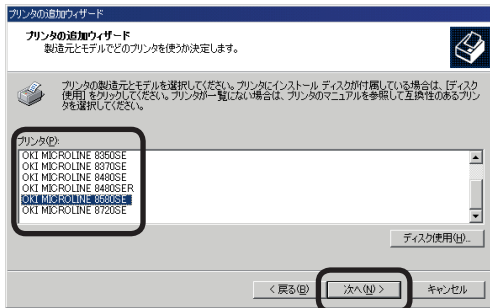
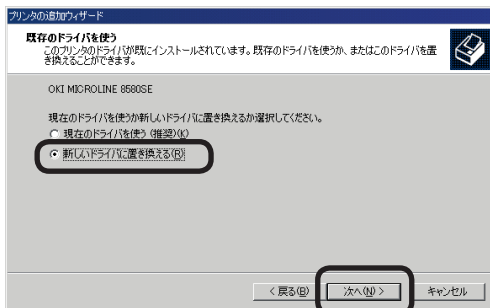
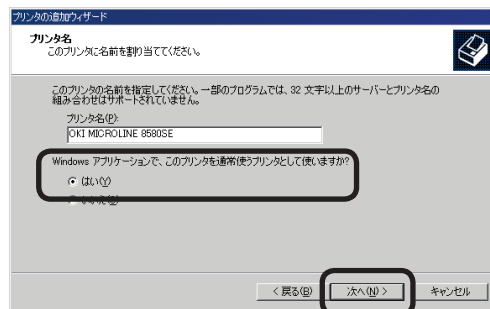
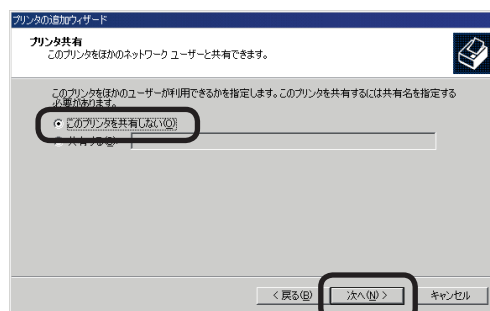
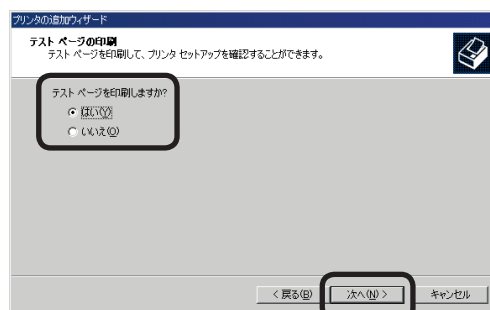
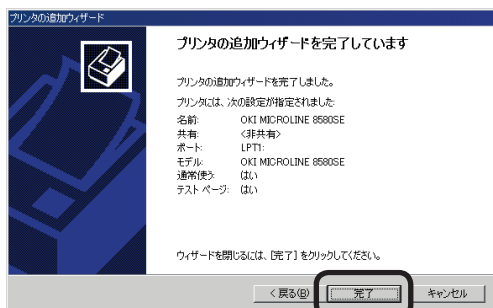
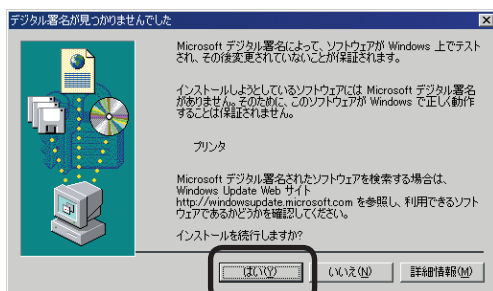
3 プリンタの電源を「ON」にします。

4 Windows 2000を起動します。
すでにWindows 2000が起動している場合は、再起動してください。
プラグアンドプレイで、自動的にWindows 2000付属のプリンタドライバがセットアップされます。

5 『スタート』→『設定』→『プリンタ』を選択します。
『プリンタ』フォルダ内のプリンタアイコンを確認し、自動的にインストールされたWindows 2000付属のプリンタドライバを右ボタンでクリックし、『削除』を選択します。

6 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

7 『プリンタの追加ウィザードの開始』画面で、『次へ』をクリックします。

8 『ローカルプリンタ』を選択し、『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外して、『次へ』をクリックします。

注 必ず『プラグアンドプレイプリンタを自動的に検出してインストールする』のチェックを外してください。

9 『次のポートを使用』を選択して、『LPT1:プリンタポート』を選択し、『次へ』をクリックします。

10 『ディスク使用』をクリックします。

11 『フロッピーディスクからインストール』画面が表示されたら、プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「製造元のファイルのコピー元：」に次のように入力して『OK』をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥Driver¥SE¥WIN2000

12 『プリンタ』でプリンタの機種名を選択し、『次へ』をクリックします。

13 『既存のドライバを使う』画面が表示された場合は、『新しいドライバに置き換える』を選択し、『次へ』をクリックします。

14 『プリンタ名』を確認し、『通常使うプリンタ』で『はい』を選択し、『次へ』をクリックします。

15 『このプリンタを共有しない』を選択し、『次へ』をクリックします。

16 テストページを印刷する場合は『はい』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

17　『プリンタの追加ウィザードを完了しています』画面で、『完了』をクリックします。

18　『デジタル署名が見つかりませんでした』画面で、『はい』をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。

19　『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップの完了となります。

●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

用紙/品質タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。

●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

3
章

詳細オプション画面での設定

この画面は、アプリケーションソフト内のプリンタのプロパティで表示される「用紙/品質」タブまたは「レイアウト」タブにおいて「詳細設定」ボタンを押すことにより表示されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- アプリケーションによっては、「詳細オプション」画面での設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

出力トレイ

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注 印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1 『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角(〔明朝〕の縦横2倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows Me環境で使用する

●プリンタの設定

Windows Meから印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、初期値に戻してください。
他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（144ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows Me日本語版が動作するコンピュータで、IBM PC/AT互換機, PC-9821シリーズ
（双方向パラレルインタフェース対応機のみ）

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

- 通常はプリンタドライバ CD-ROM の沖データ製プリンタドライバをご使用ください。
  Windows Me 付属のプリンタドライバもご使用になれますが、沖データ製のものに比べ機能が劣ります。
- すでにMICROLINE SEシリーズのプリンタドライバがセットアップされている場合は、プリンタアイコンを削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

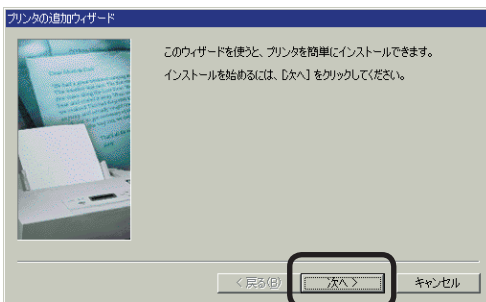
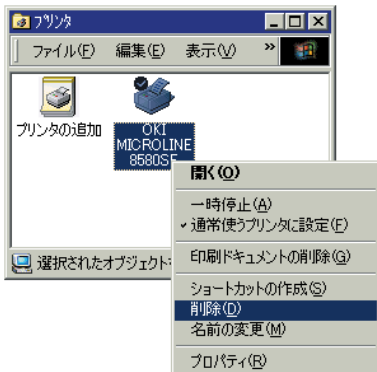
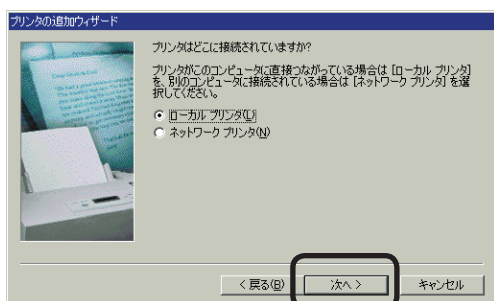
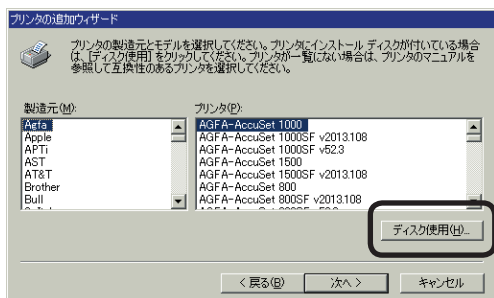
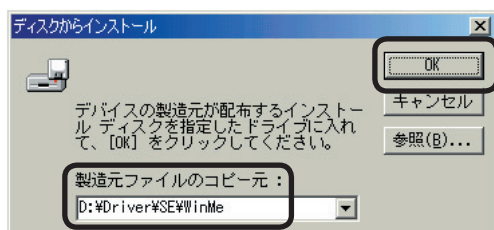
セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

1 プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。

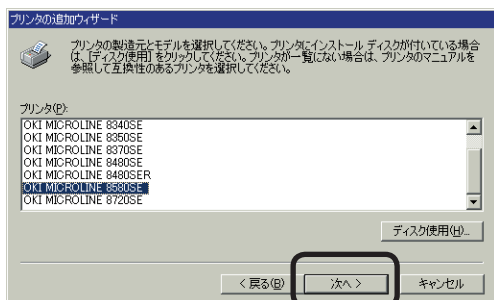
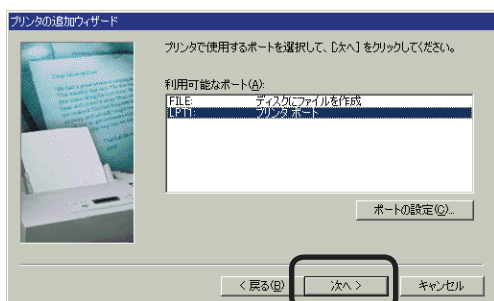
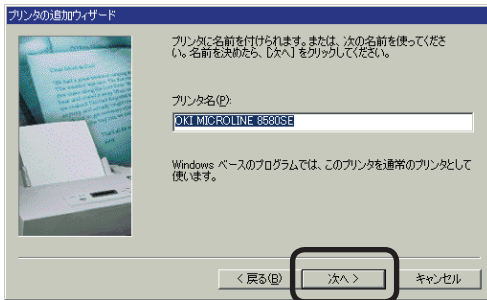
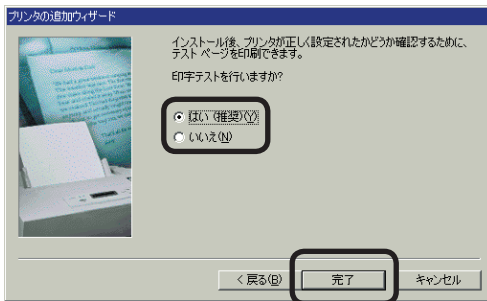
2 Windows Meを起動します。
すでにWindows Meが起動している場合は、再起動してください。
プラグアンドプレイで、自動的にWindows Me付属のプリンタドライバがセットアップされます。

3 『スタート』→『設定』→『プリンタ』を選択します。
『プリンタ』フォルダ内のプリンタアイコンを確認し、自動的にセットアップされたWindows Me付属のプリンタドライバを右ボタンでクリックし､『削除』を選択します。

4 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

5 『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されますので、『次へ』をクリックします。

6 『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

7 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

8 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、「製造元ファイルのコピー元」に次のように入力し、『OK』をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥SE¥WinMe

9 『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

10 『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

11 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

12 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

13 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●印刷条件の設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

- ●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
- ●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

- ●複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

【詳細オプションダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

デバイスオプションタブでの設定

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注 印字速度はプリンタ本体(操作パネル)の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角(〔明朝〕の縦横2倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows98環境で使用する

●プリンタの設定

Windows98から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、初期値に戻してください。
他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（144ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows98日本語版が動作するコンピュータで、IBM PC/AT互換機, PC-9821シリーズ（双方向パラレルインタフェース対応機のみ）

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

- 通常はプリンタドライバCD-ROMの沖データ製プリンタドライバをご使用ください。
  Windows98付属のプリンタドライバもご使用になれますが、沖データ製のものに比べ機能が劣ります。
- すでにMICROLINE SEシリーズのプリンタドライバがセットアップされている場合は、プリンタアイコンを削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。

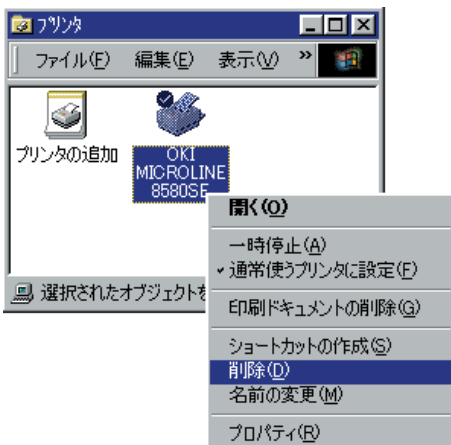
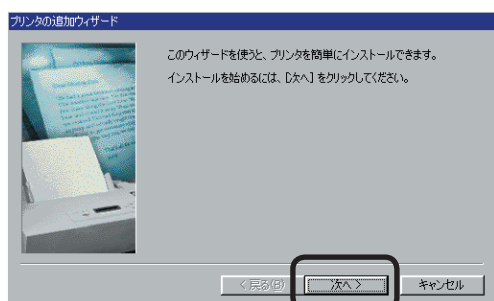
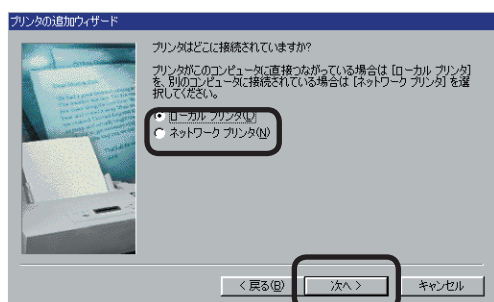
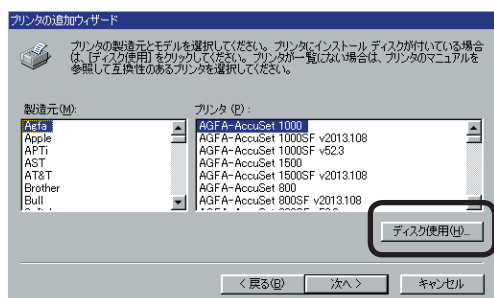
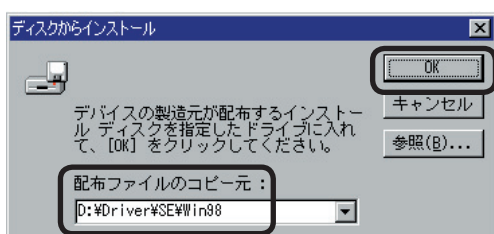
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　Windows98日本語版オペレーティングシステム（CD-ROM）

1 プリンタとコンピュータを接続し、プリンタの電源を入れます。

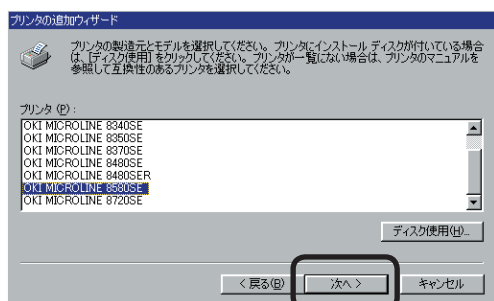
2 Windows98を起動します。
すでにWindows98が起動している場合は、再起動してください。
プラグアンドプレイで、自動的にWindows98付属のプリンタドライバがセットアップされます。

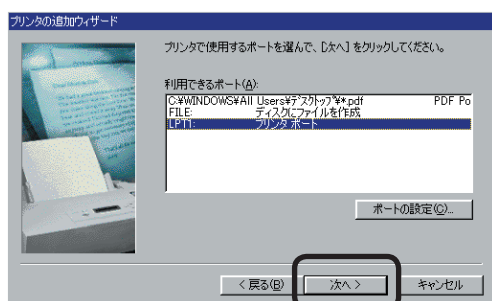
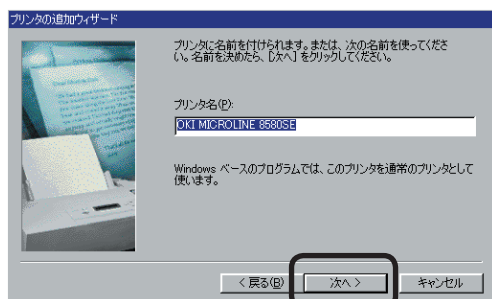
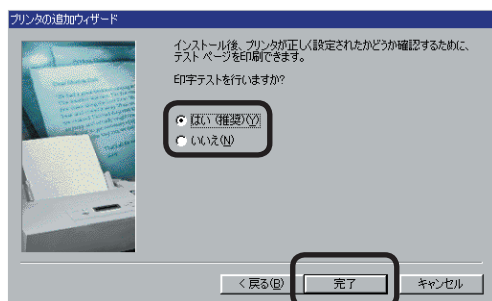
注　アップグレードしたWindows98では、『ディスクの挿入』が表示されます。『OK』をクリックし、「Windows98 CD-ROM」をセットします。
『ファイルのコピー元』に「D:¥ Win98」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、『OK』をクリックします。

3 『スタート』→『設定』→『プリンタ』を選択します。
『プリンタ』フォルダ内のプリンタアイコンを確認し、自動的にセットアップされたWindows98付属のプリンタドライバを右ボタンでクリックし、『削除』を選択します。

4 『プリンタの追加』をダブルクリックします。

5 『プリンタの追加ウィザード』画面が表示されたら、『次へ』をクリックします。

6 『ローカルプリンタ』を選択し、『次へ』をクリックします。

7 製造元のプリンタリストが表示されたら、『ディスク使用』をクリックします。

8 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、「製造元ファイルのコピー元」に次のように入力し、『OK』をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
D:¥Driver¥SE¥Win98

9 『プリンタ』リストボックスにプリンタ名が表示されますので、セットアップするプリンタを選択し、『次へ』をクリックします。

注 途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、『OK』をクリックします。(Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、『OK』をクリックします。)

10 『利用できるポート』から『LPT1:』を選択し、『次へ』をクリックします。

11 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

12 テストページを印刷する場合は『はい（推奨）』を、印刷しない場合は、『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows98のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win98」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、『OK』をクリックします。（Windows98がプリインストールされた環境においては、CD-ROMの内容がハードディスクに保存されていますので、「ファイルのコピー元」に、該当するハードディスクの場所を指定し、『OK』をクリックします。）

13 『プリンタ』フォルダにプリンタアイコンが作成され、セットアップは完了となります。

●プロパティの設定

使用する用紙サイズなどの設定は、『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。
●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

●複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

【詳細オプションダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

デバイスオプションタブでの設定

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。
- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。

注 印字速度はプリンタ本体(操作パネル)の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の8種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果がWindows画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横2倍となります。4倍角(〔明朝〕の縦横2倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントはTrueType等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめTrueType等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows95環境で使用する

●プリンタの設定

Windows95から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（144ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows95日本語版の動作するコンピュータで、IBM PC/AT互換機、PC-9821シリーズ（双方向パラレルインタフェース対応機のみ）

注 日本語版以外のOSには対応していません。

●プリンタドライバのセットアップ

- プリンタドライバのセットアップは「新しいハードウェア」から行います。「新しいハードウェア」を検出しない場合は「プリンタの追加」からセットアップを行ってください。
- Windows95のバージョンによってセットアップ手順、画面表示などが異なります。Windows95のバージョンは「マイコンピュータ」アイコンを右ボタンでクリックし、「プロパティ」を選択すると表示されます。バージョンを確認の上、セットアップを行ってください。
- すでにMICROLINE SEシリーズのプリンタドライバがセットアップされている場合は、プリンタアイコンを削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

セットアップには次のものを用意してください。

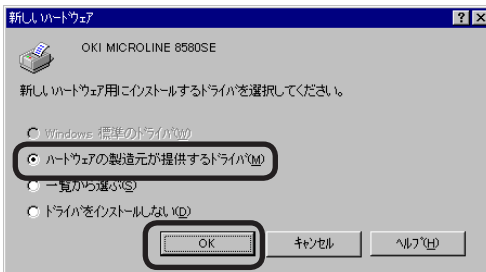
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）

　Windows95日本語版オペレーティングシステム（CD-ROMもしくはフロッピーディスク）

4.00.950または4.00.950 aの場合

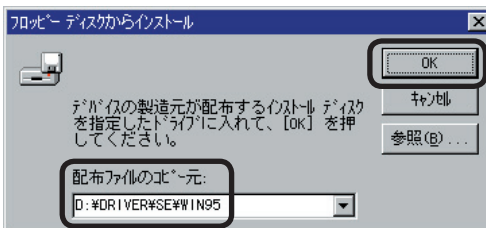
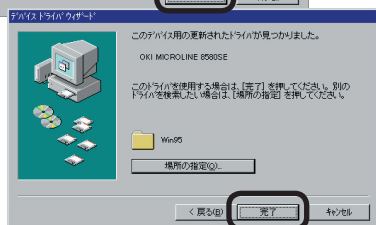
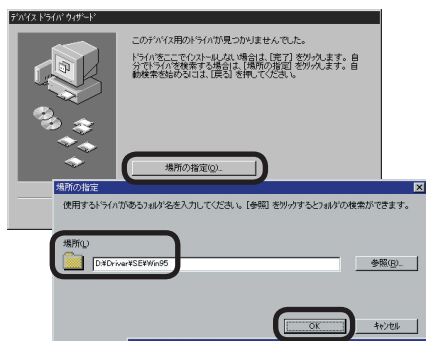
1 プリンタの電源を「ON」にします。

2 Windows95を起動します。
すでにWindows95が起動している場合は再起動してください。

3 『新しいハードウェア』画面が表示されたら、『ハードウェアの製造元が提供するドライバ』を選択し、『OK』をクリックします。

注 『デバイスドライバウィザード』が表示された場合は「4.00.950Bまたは4.00.950Cの場合」（78ページ）の手順にしたがってください。

4 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「配布ファイルのコピー元：」に次のように入力し、『OK』をクリックします。

> ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。
> D:¥Driver¥SE¥Win95

3
章

5 以後、画面の指示にしたがってセットアップを続けます。

 途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows95のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、『OK』をクリックします。（オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク(Disk XX)をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、『OK』をクリックします。）

6 追加したプリンタのアイコンが「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

4.00.950Bまたは4.00.950Cの場合

1 プリンタの電源を『ON』にします。

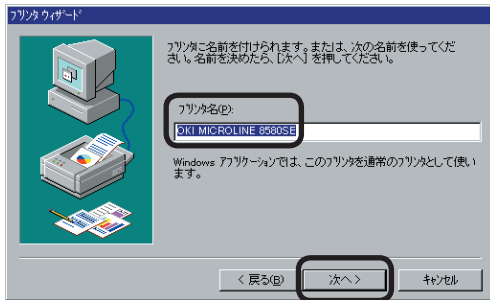
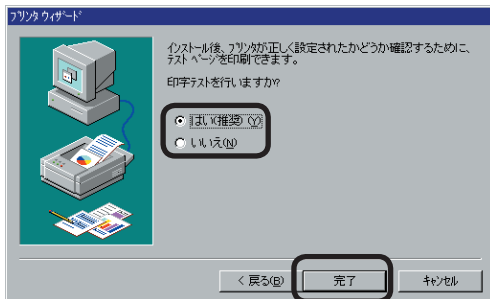
2 Windows95を起動します。
すでにWindows95が起動している場合は再起動してください。

3 『デバイスドライバウィザード』が表示されたら、『次へ』をクリックします。

4 『場所の指定』をクリックします。

5 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットして、「場所」に次のように入力して、『OK』をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。 D:¥Driver¥SE¥Win95

6 プリンタドライバが見つかったことを確認し、『完了』をクリックします。

7 『プリンタ名』に表示されるプリンタの名前を確認し、『次へ』をクリックします。

8 テストページを印刷する場合は『はい(推奨)』を、印刷しない場合は『いいえ』を選択し、『完了』をクリックします。

注 途中で『ディスクの挿入』ダイアログが表示された場合は、『OK』をクリックし、プリンタドライバCD-ROMがCD-ROMドライブへセットされていることを確認し、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Driver ¥SE¥Win95」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、『OK』をクリックします。
さらに『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindows95のCD-ROMをセットし、「ファイルのコピー元」に、「D:¥Win95」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し、『OK』をクリックします。(オペレーティングシステムがフロッピーディスクの場合は、指定されたディスク(Disk XX)をフロッピーディスクドライブへセットし、「ファイルのコピー元」に「A:¥」と入力し、『OK』をクリックします。)

9 追加したプリンタのアイコンが、「プリンタ」ウィンドウに表示されます。

3章

●プロパティの設定

使用する用紙サイズなどの設定は『プリンタ』ウィンドウからプリンタアイコンをクリックし、『プリンタ』メニューの『プロパティ』で設定します。

用紙タブでの設定

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

●特別な用紙サイズを使う場合、ユーザー定義サイズを選択し、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

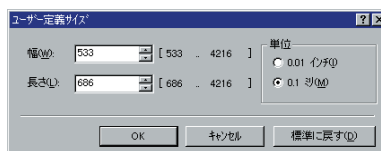
OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

●複数のユーザ定義サイズの用紙を使いたい場合、プリンタドライバをユーザ定義サイズごとにインストールしてください。ドライバの名前にサイズ名を指定すれば、ドライバの切り替えで使用できます。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

【詳細設定ダイアログ】

単票用紙の排出方法を指定します。

指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。

テーブル：テーブル側に排出します。

スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

デバイスオプションタブでの設定

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（両方向印字）: 両方向で高密度に印刷します。
- 高密度（片方向印字）: 片方向で高密度に印刷します。

注 印字速度はプリンタ本体(操作パネル)の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

3
章

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角(〔明朝〕の縦横 2 倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

WindowsNT4.0環境で使用する

●プリンタの設定

WindowsNT4.0から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（144ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

Windows NT Server4.0日本語版もしくはWindowsNT Workstation4.0日本語版の動作するコンピュータ

- 日本語版以外のOSには対応していません。
- ARC互換RISCベースのプロセッサ（MIPS®シリーズ、Alpha、PowePC™など）のシステムには対応していません。
- WindowsNT3.51用プリンタドライバはCD-ROMの「Driver¥SE¥NT351」ディレクトリに入っていますが、WindowsNT3.51についてのサポートは行っておりません。詳細はNT351ディレクトリ内にあるreadme.txtをご覧ください。

●プリンタドライバのセットアップ

WindowsNT4.0を起動した状態からのセットアップ手順を説明します。
セットアップには、次のものをご用意ください。
・プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
・WindowsNT Server 4.0日本語版もしくはWindowsNT Workstation4.0日本語版オペレーティングシステム（CD-ROM）

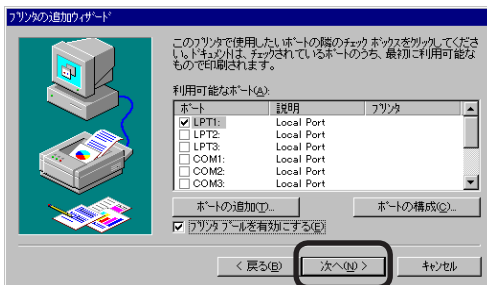
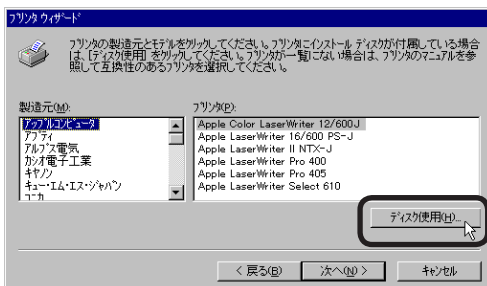
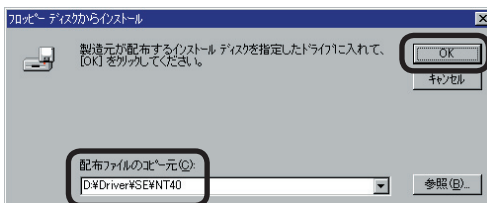
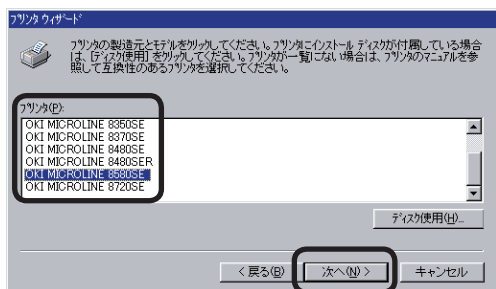
- Administratorの権限でログインしてからセットアップしてください。
- すでにMICROLINE SEシリーズのプリンタドライバがセットアップされている場合は、プリンタアイコンを削除してからセットアップを行ってください。
- プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

なお、説明の中では、DOS/V PCでWindowsNT Workstation4.0日本語版を使用します。

1 プリンタウィザードを起動させます。

『マイコンピュータ』→『プリンタ』→『プリンタの追加』で起動します。

2 『このコンピュータ』をチェックし、『次へ』をクリックします。

3 接続ポートを選び、『次へ』をクリックします。

4 『ディスク使用』をクリックします。

5 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、「配布ファイルのコピー元」に次のように入力し、『OK』をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。 D:¥Driver¥SE¥NT40

6 プリンタの機種名を選びます。

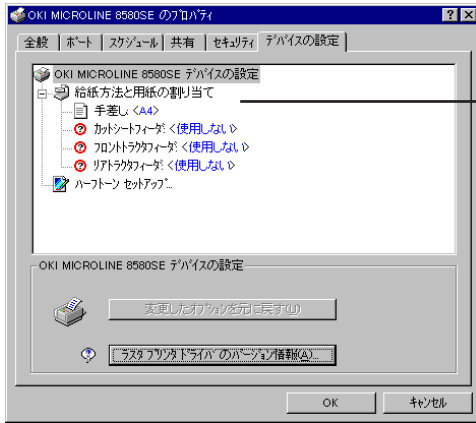
7 引き続き､画面に表示される指示にしたがって、適切な項目を選びます。
ファイルのコピーが開始されます。

注 途中で『ディスクの挿入』が表示された場合は、『OK』をクリックし、CD-ROMドライブにWindowsNT4.0のCD-ROMをセットし､「コピー元」に､「D:¥i386」(CD-ROMドライブがD:の場合)と入力し､『OK』をクリックします。

8 セットアップは終了です。

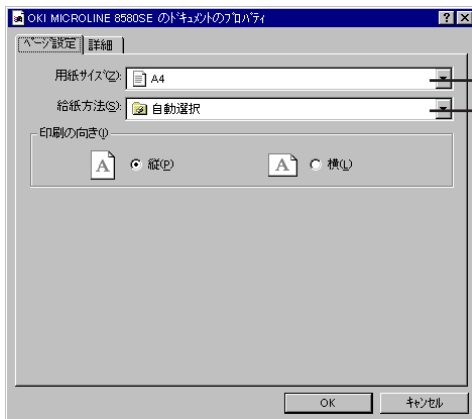
●印刷条件の設定

デバイスの設定タブでの設定

このタブは、プリンタのプロパティで表示されます。

給紙方法と用紙の割り当て

給紙方法に対して、用紙を割り当てます。給紙方法で「自動選択」を指定したとき、同一サイズの用紙を複数の給紙方法に割り当てないでください。

ページ設定タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタプロパティで表示されます。
アプリケーションによっては、「ページ設定」タブでの設定より、アプリケーションソフトの用紙設定での設定内容が優先されます。

用紙サイズ

用紙サイズを選択します。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ
- 自動選択

●「自動選択」のまま印刷すると、デバイスの設定タブで、同じ用紙サイズが割り当てられている給紙方法で印刷します。同じ用紙サイズがどの給紙方法にも割り当てられていない場合、手差しで印刷します。
●給紙方法を切り替えるときは、印刷済みの用紙を排出してください。

詳細タブでの設定

このタブは、アプリケーションソフト内のプリンタのプロパティで表示されます。

用紙/出力

単票用紙の排出方法を指定します。

- 指定なし：プリンタの操作パネルで設定した排出方法になります。
- テーブル：テーブル側に排出します。
- スタッカ：シートスタッカ側に排出します。

印刷品質

印刷の品位を選択します。

- 高密度（両方向印字）：両方向で高密度に印刷します。
- 高密度（片方向印字）：片方向で高密度に印刷します。

印字速度はプリンタ本体（操作パネル）の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。
各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

カスタム用紙サイズの設定

任意のサイズの用紙を使用するには、次の手順で用紙を作成します。

1 『マイコンピュータ』-『プリンタ』-『ファイル』-『サーバーのプロパティ』を選択します。

2 『用紙』タブで『新しい用紙を作成する』をチェックし、寸法を入力します。入力後、『用紙の保存』をクリックします。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

●高さは1/6インチ単位で設定してください。

OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

3 作成した用紙が『用紙』一覧に表示されます。

●フォントの指定

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕〔Courier(10cpi)〕、〔OCR-B(10cpi)〕、〔Roman(10cpi)〕、〔SanSerif(10cpi)〕の８種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝(内蔵)〕、〔明朝倍角〕と〔明朝(内蔵)倍角〕は、それぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝(内蔵)倍角〕は、〔明朝〕の横２倍となります。４倍角(〔明朝〕の縦横２倍)の指定はできません。
- レイアウトタブの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

Windows3.1環境で使用する

●プリンタの設定

Windows3.1から印刷する場合、プリンタのメニュー設定内容は、工場出荷時の値に戻してください。他の値を使用していると、思いどおりの印字結果を得られません。
「設定を初期化する」（144ページ）を参照してください。

●プリンタドライバの動作環境

MS-DOS上で動作するWindows3.1日本語版の動作するコンピュータ

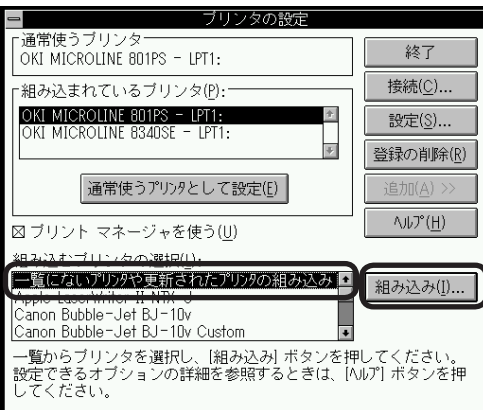
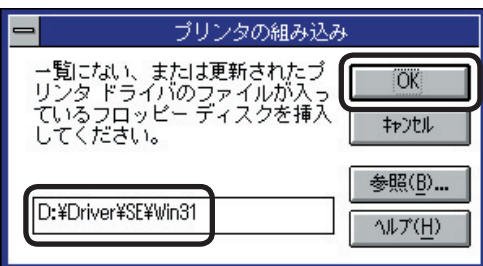
Windows3.1日本語版より前のバージョンについては、動作の保証は致しかねます。
また、日本語版以外のOSには対応していません。

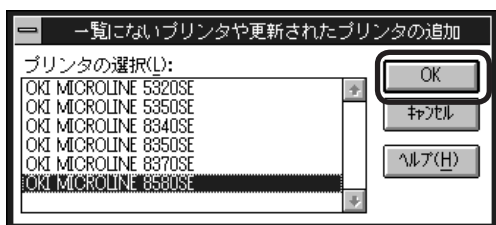
●プリンタドライバのインストール

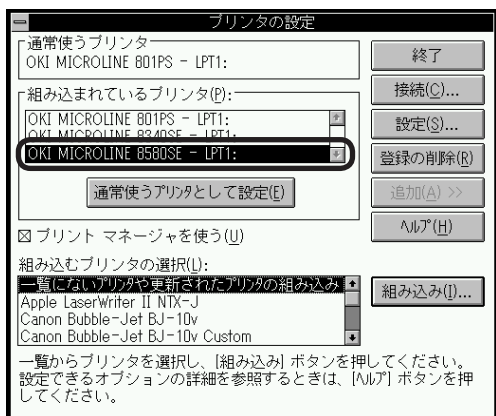
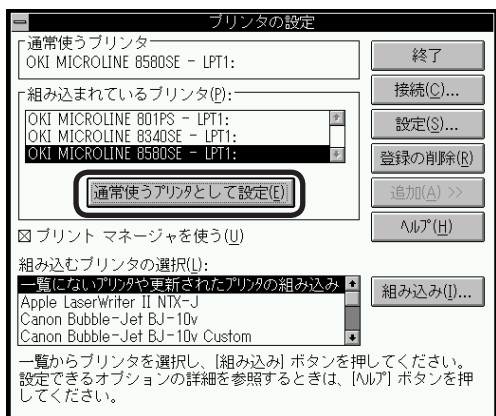
Windows3.1を起動した状態からのインストール手順を説明します。
セットアップには次のものを用意してください。
　プリンタドライバCD-ROM（プリンタに添付されていたもの）
　Windows3.1日本語版オペレーティングシステム（フロッピーディスク）

注 プリンタドライバCD-ROMのReadme.htm/txtには、プリンタドライバに関する補足情報および最新情報が記載されていますので、必ずお読みください。

1 『コントロールパネル』の『プリンタ』をダブルクリックします。

2 『追加(A) >>』をクリックします。

3 『一覧にないﾌﾟﾘﾝﾀや更新されたﾌﾟﾘﾝﾀの組み込み』を選択し､『組み込み(I)...』をクリックします。

4 プリンタドライバCD-ROMをCD-ROMドライブへセットし、次のように入力して『OK』をクリックします。

ここではCD-ROMドライブがD:の場合を例にしています。 D:¥Driver¥SE ¥Win31

5 プリンタの機種名を選択し、『OK』をクリックします。

注 途中で『プリンタの組み込み』が表示された場合は、要求されたファイルが格納されているWindows3.1セットアップディスクをフロッピーディスクドライブへセットし、「A:¥」を指定して『OK』をクリックします。

6 インストールが終了すると『組み込まれているプリンタ(P)：』にプリンタの名称が追加されています。

7 更に、通常使うプリンタとして設定する場合は、『通常使うプリンタとして設定(E)』をクリックします。

8 『終了』をクリックします。

これでプリンタドライバのインストールは終了です。

●印刷条件の選択

使用する用紙サイズなどの設定は『コントロールパネル』の『プリンタ』を選択し、『設定(S)...』をクリックして設定します。

給紙方法

給紙方法を選択します。

- 手差し
- カットシートフィーダ
- フロントトラクタフィーダ
- リアトラクタフィーダ

● 給紙方法を切り替えるときは印刷済みの用紙を排出してください。

用紙サイズ

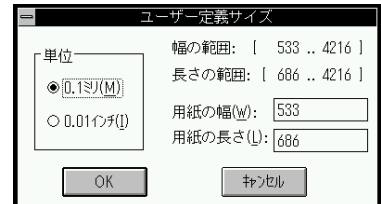
用紙サイズを選びます。

●〔ユーザー定義サイズ〕を選択した場合は、用紙の幅と長さを設定します。「用紙規格および印字範囲」の範囲で使用してください。

●用紙の長さは1/6インチ単位で設定してください。

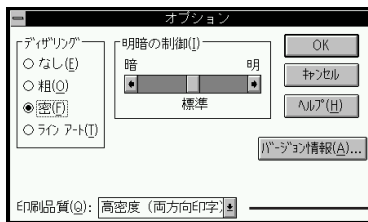
注 OS側の設定が1/6インチ単位のため、1/6インチ単位以外に設定した場合には実際の用紙サイズとOS内部で管理している用紙サイズに差が生じます。そのため、思い通りの印刷結果が得られない場合があります。

●〔ユーザー定義サイズ〕は単票を使う場合に有効です。連続紙を使う時は、「連続紙　縦＊inch」を選んでください。

【ユーザー定義サイズダイアログ】

印刷の向き

印刷の方向を選びます。

●横を選択した場合、90度回転した状態で印刷されます。用紙を横置きにした場合と、同じイメージになります。この場合、プリンタの用紙のセットは縦置きにします。

【オプションダイアログ】

印刷品質

印刷の品位を選択します。

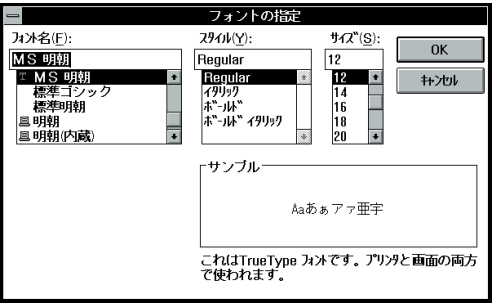
- 高密度（両方向印字）　：両方向で高密度に印刷します。
- 高密度（片方向印字）　：片方向で高密度に印刷します。

印字速度はプリンタ本体(操作パネル)の設定が優先されます。そのため、確実に印字速度を指定したい場合はプリンタ本体の設定を変更してください。

各設定項目を組み合わせた場合の印字速度は以下の表の通りとなります。

		印字データの種類	プリンタ本体の設定	
			通常印字	高速印字
印刷品質	高密度	内蔵フォント	通常印字	高速印字
		イメージデータ	通常印字	高速印字

●フォントの指定

ほとんどのアプリケーションソフトウェアで、フォントを指定できます。

高速に印刷させたい場合は、マークのついたプリンタフォントを指定してください。
ほぼ画面表示どおりに印刷させたい場合は、マークのついたTrueTypeフォントを指定してください。ただし、ビットマップイメージで転送しますので、時間がかかります。

- 本機種においては、〔明朝〕、〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕、〔クーリエ〕、〔OCR-B 相当〕、〔ローマン〕、〔サンセリフ〕の 8 種類のプリンタフォントを搭載しています。
- プリンタフォントを指定した場合、Windows 画面上にはプリンタフォントに近いフォントが表示されます。そのため、印刷結果が Windows 画面と一致しないことがあります。
- 〔明朝〕と〔明朝（内蔵）〕、〔明朝倍角〕と〔明朝（内蔵）倍角〕はそれぞれ同じ字体となります。通常は、〔明朝〕または〔明朝倍角〕を指定してください。
- 〔明朝倍角〕、〔明朝（内蔵）倍角〕は〔明朝〕の横 2 倍となります。4 倍角（〔明朝〕の縦横 2 倍）の指定はできません。
- プリンタ設定ダイアログの印刷の向きで『横』を指定すると、プリンタフォントは TrueType 等のフォントに変換されて印刷されます。
  横向きでお使いの場合は、あらかじめ TrueType 等のフォントを指定することをお勧めします。

DOS環境で使用する

市販のアプリケーションソフトウェアのほとんどのものに、使用するプリンタを選択する項目があります。
印刷する前に、以下の優先順位に従って選択します。

優先順位	プリンタ名
1	MICROLINE 8580SE
2	ESC/P 24-J84
3	VP-1000/3000
4	ESC/P 24-J83
5	VP135K/130K

注

- プリンタの選択方法は、それぞれのアプリケーションソフトウェアにより異なります。具体的な選択方法は、アプリケーションソフトウェアのマニュアルを参照してください。
- アプリケーションソフトウェアによっては、正常に印字が行えない場合や、印字結果が異なる場合があります。
- アプリケーションソフトウェアによっては、本プリンタの機能の一部がサポートされていない場合があります。

封筒のご使用について

封筒はカットシートフィーダに対応しておりません。そのため、カットシートフィーダを使用して封筒を印刷させることはできません。
プリンタドライバにおいても封筒とカットシートフィーダの組み合わせは指定できないように開発を行っておりますが、各OSの仕様により以下の動作となります。

- Windows95/98/Meのプリンタドライバ設定においては、カットシートフィーダと封筒を組み合わせて設定すると仕様外である旨の警告画面が表示されますので、封筒で印刷する場合は手差しに設定し直してください。
  警告を無視してカットシートフィーダと封筒を組み合わせて設定することも可能ですが、プリンタの仕様範囲外の印刷となりますので正常な印刷は保証できません。
- WindowsNT4.0のプリンタドライバ設定においては、カットシートフィーダと封筒を組み合わせて指定することが可能ですが、プリンタの仕様範囲外の印刷となりますので正常な印刷は保証できません。
- Windows2000/XP/Server2003/Vistaのプリンタドライバ設定においては、カットシートフィーダと封筒を組み合わせて指定することはできません。

4　用紙の取り扱い

～いろいろな用紙をプリンタにセットします～

単票をセットする

●単票のセット

1 電源スイッチを「**ON**」にします。

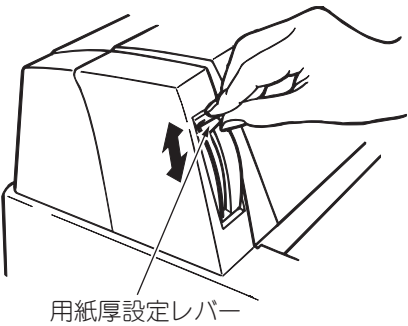
連続紙がセットされているときは、排出してください。
詳細は、「連続紙の排出方法」（121ページ）を参照してください。

2 オフライン状態で「**単票／帳票**」スイッチまたは「**自動給紙**」スイッチを押して、"テサシ"にします。

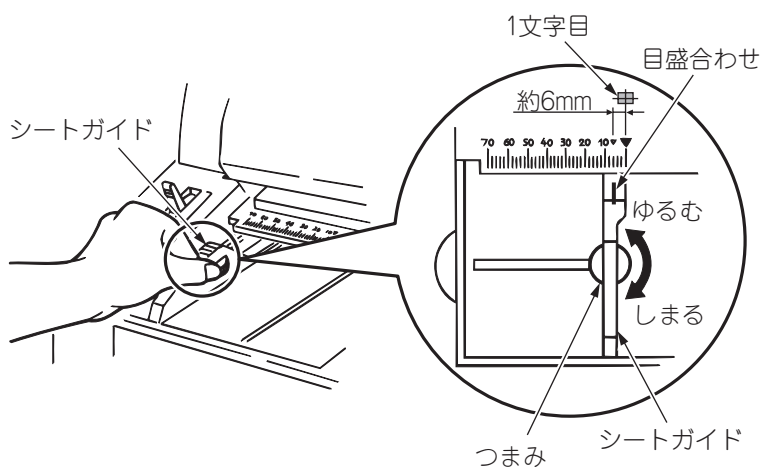
オ	フ	ラ	イ	ン					ツ	ウ	シ	゛	ョ	ウ	
テ	サ	シ													

3 用紙厚設定レバーを「**自動**」にします。

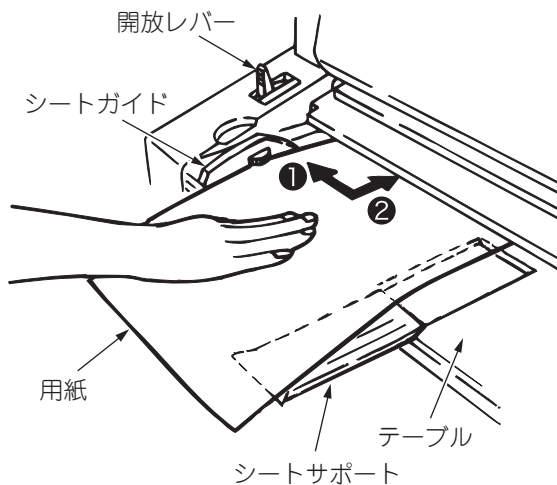
用紙の厚さが一様でない特殊用紙を使う場合は、用紙厚設定レバーの調整が必要です。「用紙の厚さに応じた調整方法」（126ページ）を参照してください。

注 封筒を使用する場合、用紙厚の調整は必ずマニュアルギャップ調整で行ってください。「用紙の厚さに応じた調整方法」（126ページ）を参照してください。

4 シートガイドのつまみを左に回してゆるめ、用紙の左端位置に移動し、つまみを右に回して固定します。

- 目盛の「」マークは1文字目の中心になります。
- 目盛上の「▽」の位置にすれば、用紙左端より約6mmの位置から印字を開始します。
- 封筒を使用する場合、シートガイドの移動範囲は目盛26からシートガイドが左に突き当たるまでの間です。この範囲内で、封筒の用紙規格を満足する位置に調整してください。
- 書式の印刷をする場合は、シートガイドを右に突き当てて固定してください。

注 「▽」マークより左へ移動して使用すると、はがきが斜めに吸入される場合があります。

5 用紙は印字する面を表にして、左端をシートガイド合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

単票が自動的に吸入されます。

注
- 複写紙など厚い紙の場合は、自動的に吸入されるまで奥に軽く突き当ててください。複写紙のテーブル排出も可能ですが、印字により用紙下端がカールし、排出時、折れやジャムが発生する場合があります。このような場合は、シートスタッカへ排出してください。
- テーブル中央部にシートサポートが装着されています。用紙長がA4縦(297mm)を超える用紙を使用するときは、シートサポートを引き出してご使用ください。
- 用紙が曲がってセットされたり、印字位置まで送られなかった場合には、開放レバーを「開放」にして用紙を抜き取り、開放レバーを「自動」に戻して再度セットし直してください。
- 封筒はフラップ部を折り返さずに使用してください。

- プリンタ後部のシートスタッカ容量は用紙厚にして16mm程度（連量55kg紙で200枚程度）です。印刷済みの用紙をシートスタッカにためすぎないでください。総紙厚が16mm程度になったら、たまった用紙を取り除いてください。用紙ジャムの原因になります。

4章

●単票の排出方法

単票がプリンタ内部に残っている場合は、次の手順で単票を排出します。

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

2 「**改頁**」スイッチまたは「**用紙ロード**」スイッチを押します。

用紙が自動的に排出されます。

●単票排出方向の切り替え

単票の排出方向を、テーブル側またはシートスタッカ側に切り替えられます。
単票手差しモード, 自動給紙モードで別々に指定できます。

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

2 「**機能切替**」＋「**用紙ロード**」スイッチを押します。

排出方向ランプが点灯している場合はテーブル側へ、消灯している場合はシートスタッカ側へ排出します。

注

- 電源スイッチを「OFF」にするとメニュー設定の排出方向の値に戻ります。恒久的に設定する場合は、メニュー設定を変更してください。
- 複写紙の場合は、シートスタッカ側へ排出してください。テーブル側への排出も可能ですが、印字により用紙下端がカールし、排出時折れやジャムが発生する場合があります。
- プリンタドライバで排出方向を指定した場合には、プリンタドライバの指定が優先されます。

連続紙をセットする

連続紙の紙送り方式には、リア引っ張りトラクタ方式, リア押し込みトラクタ方式とフロント押し込みトラクタ方式があります。方式ごとの特長は以下の通りです。

リア引っ張りトラクタ方式
- 連続紙をセットしたまま、単票用紙をセットして印字(コンカレント印字)することができます。

リア押し込みトラクタ方式
- 用紙のオートローディングができます。
- 用紙カット機能が使えます。
- フロント押し込みトラクタと合わせて、2種類の連続紙を使い分けられます。
- 用紙の種類が単一で、頻繁に用紙をカットする場合におすすめします。

フロント押し込みトラクタ方式
- 用紙のオートローディングができます。
- 用紙カット機能が使えます。
- リア押し込みトラクタと合わせて、2種類の連続紙を使い分けられます。
- 用紙の種類を頻繁に交換する場合におすすめします。

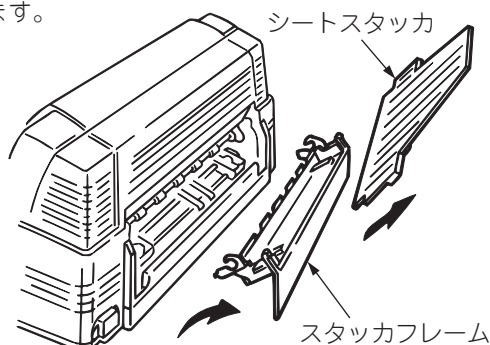
紙送り方式は使用形態に応じて自由に選択できます。

4
章

●リア引っ張りトラクタでの用紙セット

1 電源スイッチを「**ON**」にします。

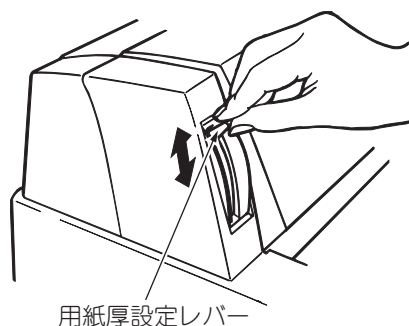
2 シートスタッカおよびスタッカフレームを外します。

スタッカフレームは、少し上に持ち上げるようにして手前に引いて外します。

3 オンライン状態で「**単票／帳票**」スイッチを押して連続紙モードにし、「**機能切替**」＋「**単票／帳票**」スイッチを押して、"リアPULL"を選択します。

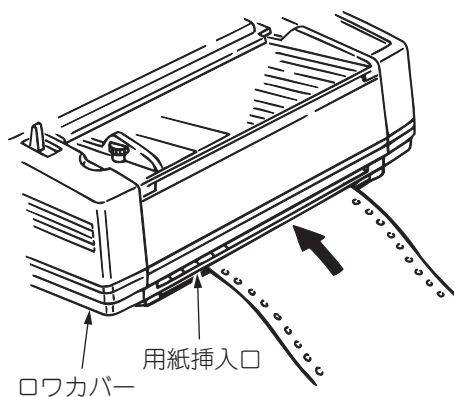
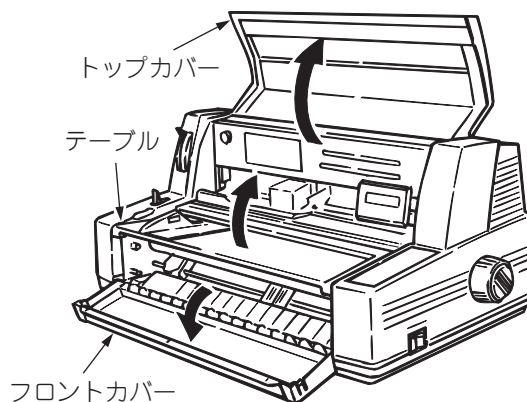
ヨ	ウ	シ		ナ	シ		リ	ア	P	U	L	L		
ヨ	ウ	シ	ヲ		セ	ッ	ト	シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ

注
- "リアPUSH"と表示される場合は、リアトラクタの切り替えが必要です。切り替え方法は「リア押し込みトラクタからリア引っ張りトラクタへの切り替え」(111ページ)を参照してください。
- "リアPULL"を選択する前に連続紙をセットした場合、媒体アラームになります。

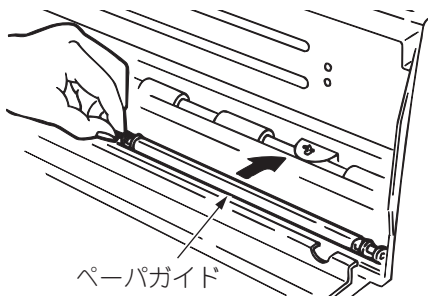
4 用紙厚設定レバーを「自動」に合わせます。

用紙の厚さが一様でない特殊用紙を使う場合は、用紙厚設定レバーの調整が必要です。「用紙の厚さに応じた調整方法」(126ページ)を参照してください。

5 電源スイッチを「**OFF**」にします。

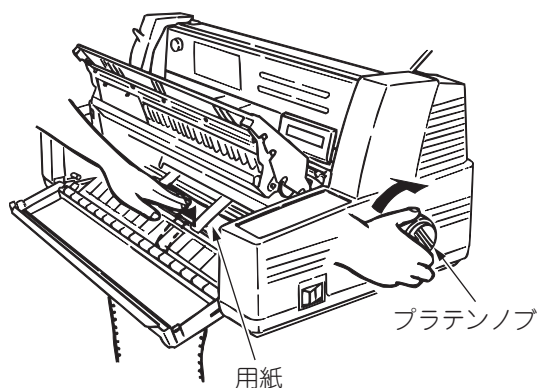
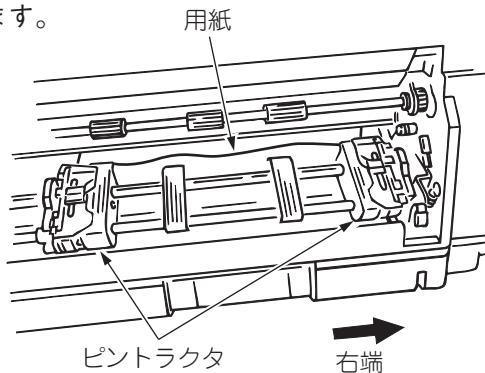
6 用紙の印字する面を表にして、ロワカバー下側の用紙挿入口から軽く突き当たるまで差し込みます。

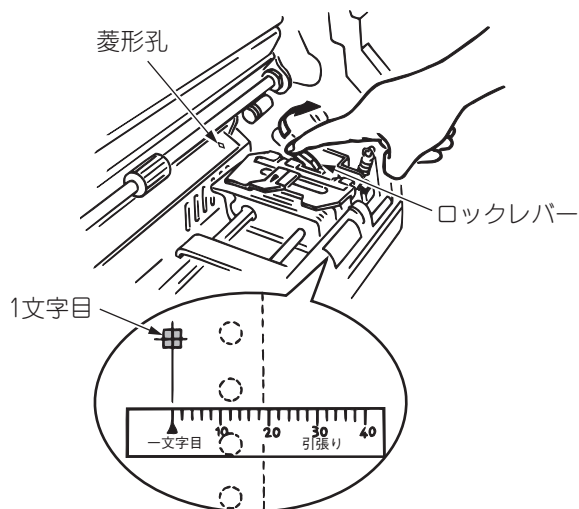
注 用紙は用紙挿入口の右端から差し込んでください。

7 トップカバー,テーブルおよびフロントカバーを開きます。

8 ペーパガイドをプラテン側に静かに倒します。

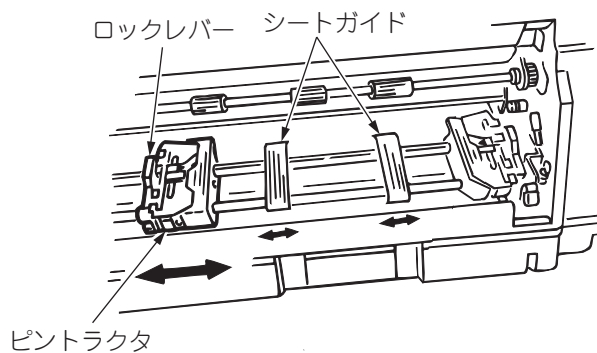
注 印字ヘッドがペーパーガイドの前にあるときは左に移動させます。

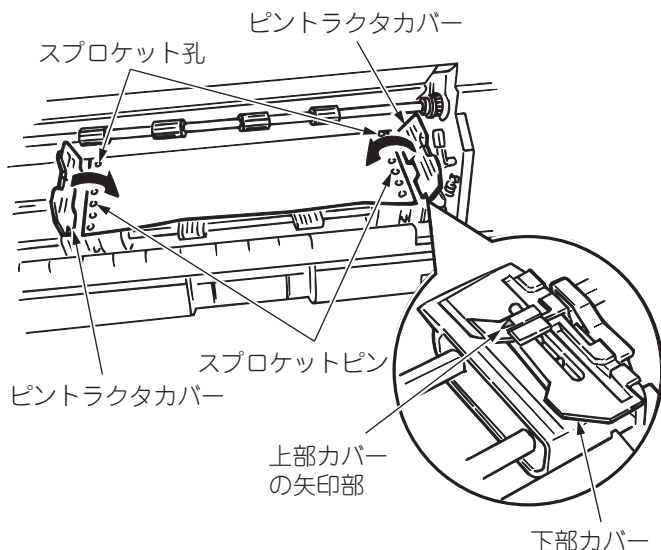
⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにさわらないでください。

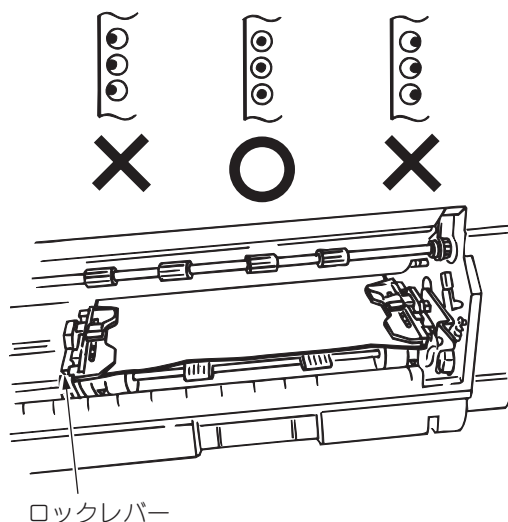
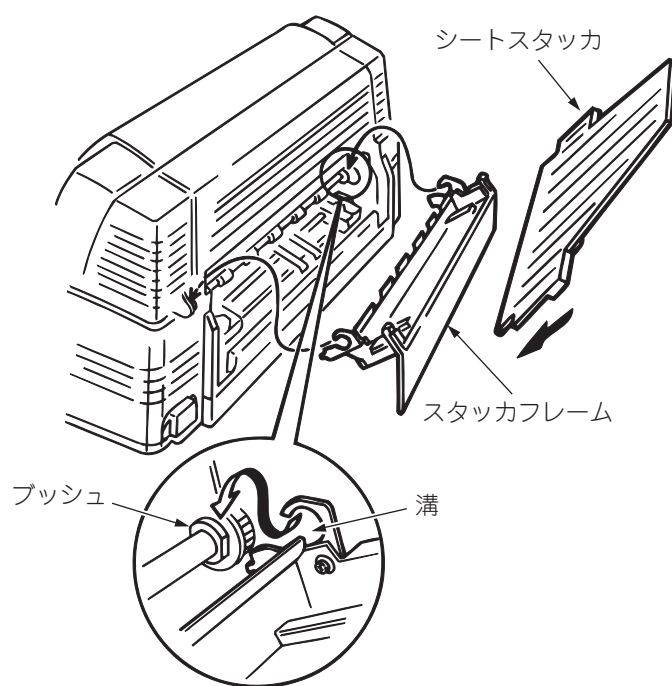
注 ペーパガイドは、用紙をリアトラクタへのルートに正しく導くためのガイドですので、必ずこの操作を行ってください。

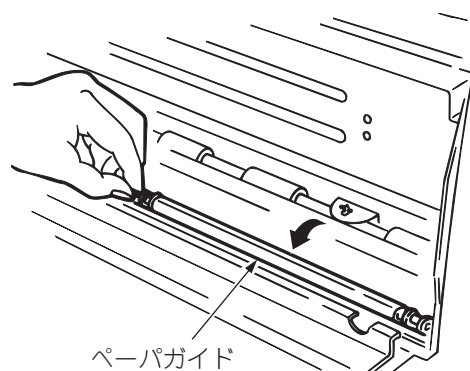
9 用紙を手で押し込みながらプラテンノブを回して、用紙を後方に繰り出します。

10 リアのピントラクタの手前まで用紙を繰り出したら、用紙を挿入側と排出側で持ち、プリンタの後方から見て右端にずらします。

11 後方から見て右端のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを押し下げて固定します。

- カバー上の「▲一文字目」は1文字目の中心を示しています。また、菱形孔も1文字目の中心を示しています。

12 後方から見て、左側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動させます。

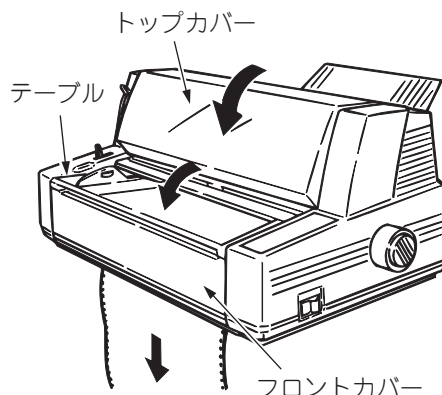
シートガイドは、左右のピントラクタの中央に移動させます。

13 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注
- ピントラクタカバーは、上部カバー・下部カバー共に開きます。
  上部カバーは、矢印部を開くと容易に開きます。
- 下部カバーを閉じると、上部カバーも一緒に閉じます。
- 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないように注意してください。

14 後方から見て左側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定します。
その際に、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。

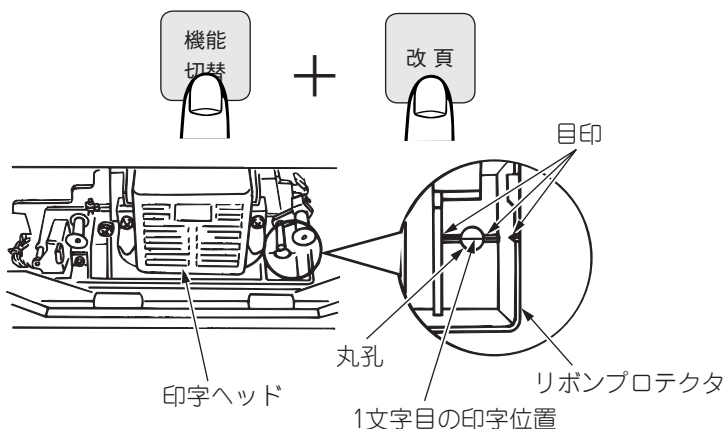
用紙のスプロケット孔に対する
スプロケットピンの位置

15 スタッカフレームの溝をスタッカシャフトのブッシュに引っ掛けて取り付けます。
シートスタッカをスタッカフレームに差し込みます。

注 スタッカフレームは、ブッシュに確実にはめ込んでください。単票排出時、印字汚れや破れの原因になります。

16 ペーパガイドを手前に戻します。

注 ペーパガイドの戻し忘れは「ペーパガイドアラーム」(197ページ）になりますので必ず戻してください。

4章

17 フロントカバー, テーブルおよびトップカバーを閉じます。
挿入側の用紙を引っ張り、たるみや曲がりをなくします。

注 テーブルを閉じるときは、テーブルを上に持ち上げ、左の支柱の青いつまみを押すと自動的に閉じます。
このときに、テーブルを手で押し下げるなどの無理な操作をしないでください。故障の原因になります。

18 電源スイッチを「**ON**」にします。

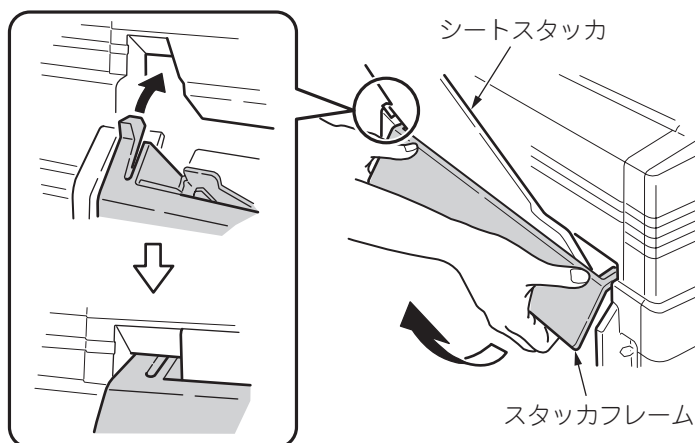
19 一文字目印字位置を合わせます。
「**機能切替**」スイッチを押しながら「**改頁**」スイッチを押し、用紙を微少送りして合わせます。

20 一旦電源スイッチを「**OFF**」にし、もう一度「**ON**」にします。

注
- 用紙の位置合わせは「微少」の▲（順方向）で行ってください。プラテンノブ操作で行うと、改行ずれが発生します。
- セットした用紙の1ページ目は印刷できません。2ページ目で一文字目印字位置を合わせてください。
- コンカレントモード（125ページ）から"リア PULL"にした場合も、再度一文字目印字位置を合わせてください。

●リア押し込みトラクタでの用紙セット

※説明をわかりやすくするため、スタッカフレームとシートスタッカをイラストから省いています。

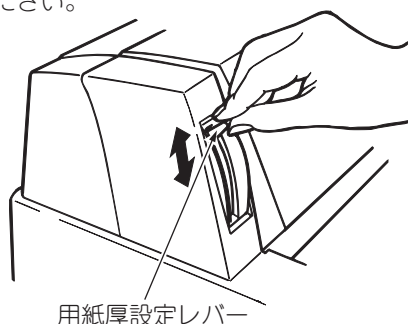
1 電源スイッチを「**ON**」にします。

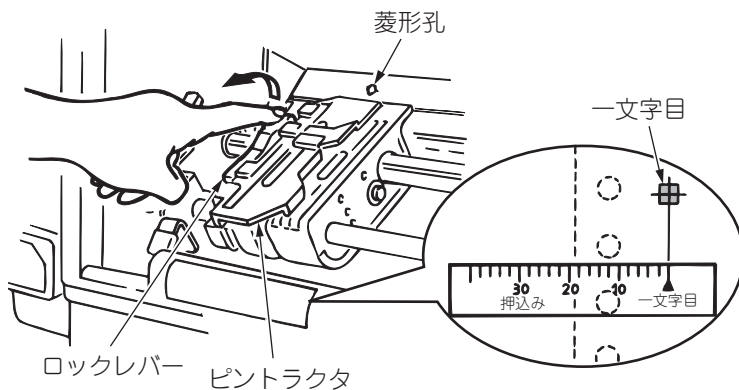
2 シートスタッカを上に持ち上げてロックします。

3 オフライン状態で「**単票／帳票**」スイッチを押して連続紙モードにし、「**機能切替**」＋「**単票／帳票**」スイッチを押して"リアPUSH"を選択します。

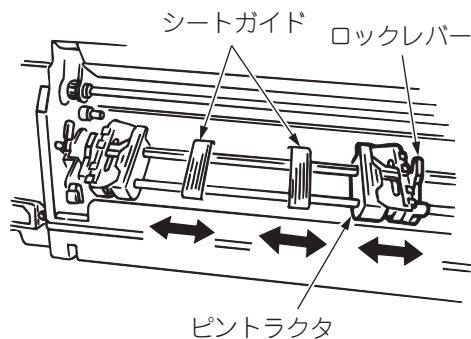
ヨ	ウ	シ		ナ	シ		リ	ア	P	U	S	H			
ヨ	ウ	シ	ヲ		セ	ッ	ト	シ	テ	ク	タ	゛		サ	イ

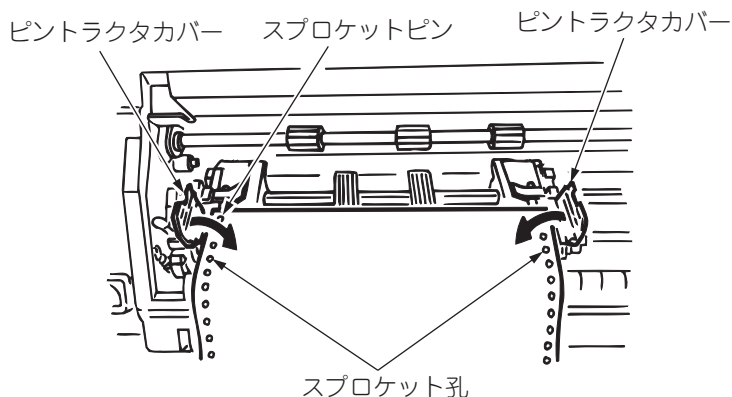
注 "リア　PULL"と表示される場合は、リアトラクタの切り替えが必要です。切り替え方法は「リア引っ張りトラクタからリア押し込みトラクタへの切り替え」(114ページ)を参照してください。

4 用紙厚設定レバーを「**自動**」に合わせます。

用紙の厚さが一様でない特殊用紙を使う場合は、用紙厚設定レバーの調整が必要です。「用紙の厚さに応じた調整方法」(126ページ)を参照ください。

5 後方から見て左端のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。
位置を合わせたら、ロックレバーを押し下げて固定します。

カバー上の「▲一文字目」は1文字目の中心を示しています。また、菱形孔も1文字目の中心を示しています。

6 後方から見て右側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動させます。

シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動させます。

7 左右のピントラクタカバーを開いて連続紙をセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注 • 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないように注意してください。
• ピントラクタカバーは下部カバーのみ開いてください。

8 後方からみて右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定します。
その際に、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎのないように注意してください。

9 シートスタッカを元に戻し、「**用紙ロード**」スイッチを押します。

1行目位置まで連続紙が自動的に送られ、「印字可」ランプが点灯します。

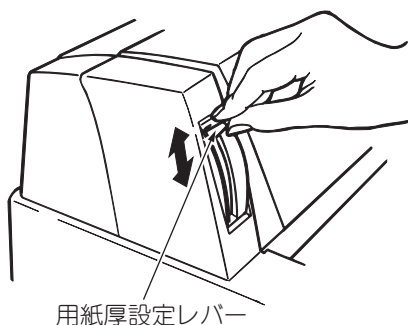
●フロント押し込みトラクタでの用紙セット

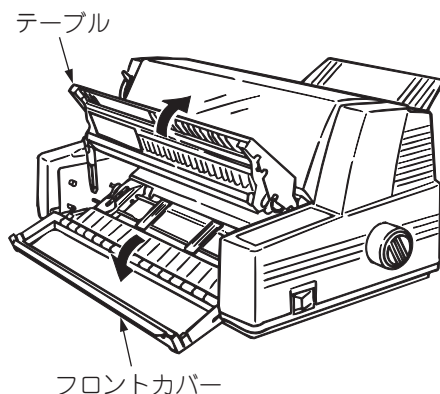
1 電源スイッチを「**ON**」にします。

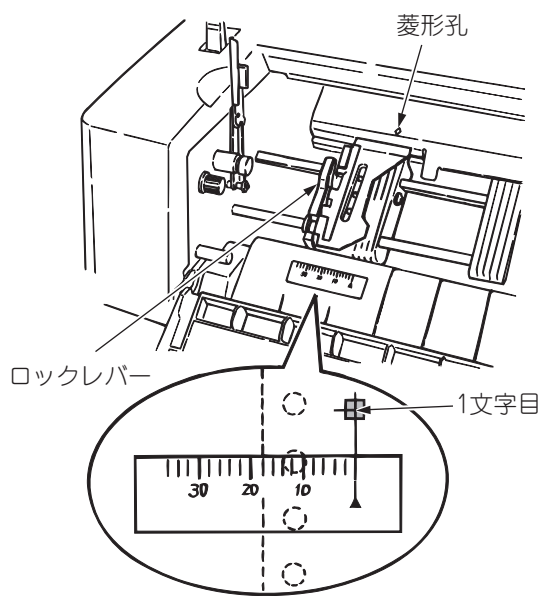
2 オフライン状態で「**単票／帳票**」スイッチを押して連続紙モードにし、「**機能切替**」＋「**単票／帳票**」スイッチを押して"フロントPUSH"を選択します。

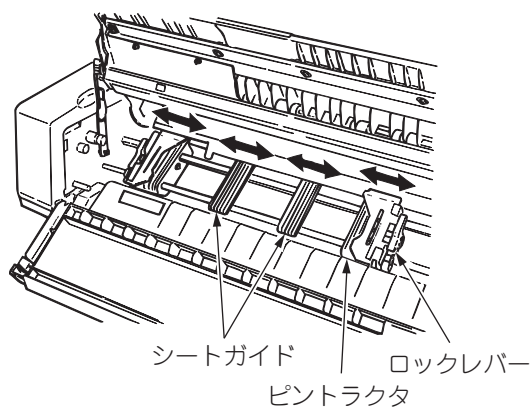
ヨ	ウ	シ		ナ	シ		フ	ロ	ン	ト	P	U	S	H	
ヨ	ウ	シ	ヲ		セ	ッ	ト	シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ	

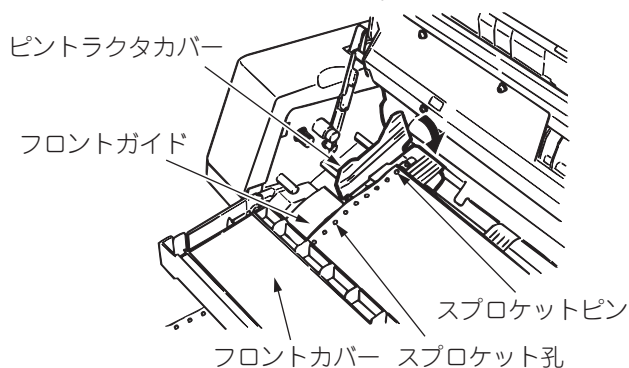
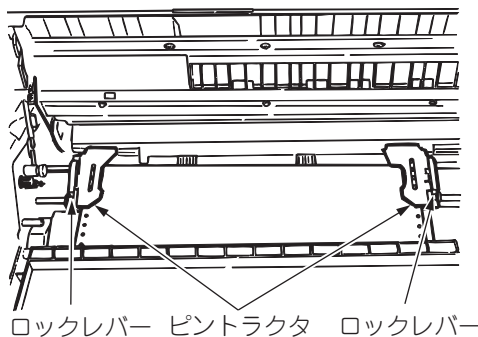
3 用紙厚設定レバーを「**自動**」に合わせます。

用紙の厚さが一様でない特殊用紙を使う場合は、用紙厚設定レバーの調整が必要です。「用紙の厚さに応じた調整方法」(126ページ)を参照してください。

4 電源スイッチを「**OFF**」にします。

5 テーブルおよびフロントカバーを開きます。

6 前方から見て左端のピントラクタのロックレバーを引き上げ、横方向の印字位置を合わせます。位置を合わせたら、ロックレバーを押し下げて固定します。

フロントガイド上の「▲」は1文字目の中心を示しています。また、菱形孔も1文字目の中心を示しています。

7 右側のピントラクタのロックレバーを引き上げ、連続紙の幅に合わせて移動させます。

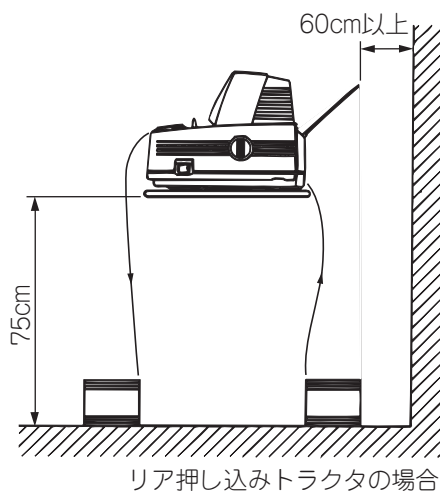
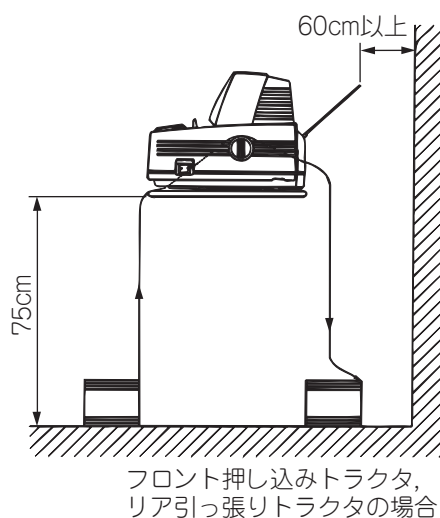
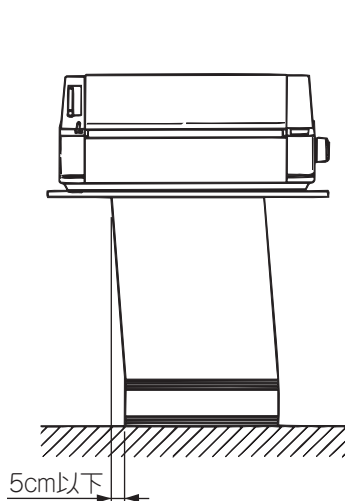
シートガイドは左右のピントラクタの中央に移動させます。

8 左右のピントラクタカバーを開いて、連続紙をフロントガイドとフロントカバーの間から入れてセットし、ピントラクタカバーを閉じます。

注 左右のスプロケット孔とスプロケットピンとの位置がずれないように注意してください。

9 右側のピントラクタを連続紙の幅に合わせ、ロックレバーを押し下げて固定します。その際に、連続紙の張り過ぎやたるみ過ぎがないように注意してください。

10 フロントカバーおよびテーブルを閉じ、電源スイッチを「**ON**」にします。

1行目位置まで連続紙が自動的に送られ、「印字可」ランプが点灯します。

注 テーブルを閉じるときは、テーブルを上に持ち上げ左の支柱の青いつまみを押すと自動的に閉じます。
このとき、手で押し下げる等の無理な操作を行わないでください。故障の原因となります。

注 連続紙の置きかた
- プリンタを置く机の高さは、75cmを目安にしてください。
- 連続紙は、用紙走行経路に沿って、プリンタと平行に置いてください。左右方向のずれは、5cm以下にしてください。
- リア押し込みトラクタの場合、プリンタの後部と机の縁を合わせてください。
- リア引っ張りトラクタ，フロント押し込みトラクタの場合、プリンタの前部と机の縁を合わせてください。
- プリンタの後部は印字後の用紙スペース確保のため、壁から60cm以上離してください。
- インタフェースケーブルが用紙と干渉しないようにしてください。

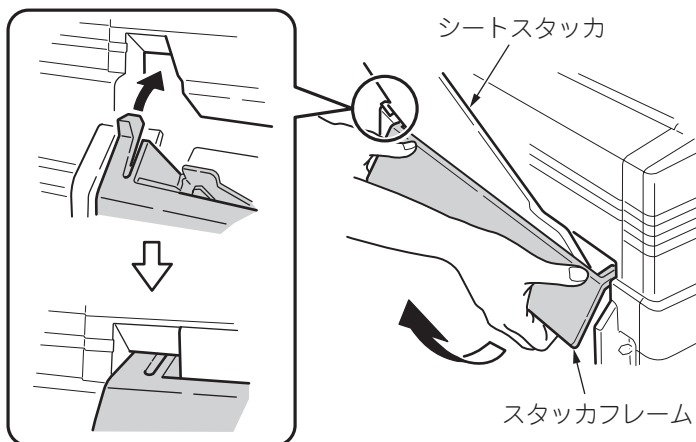
フロント押し込みトラクタ，
リア引っ張りトラクタの場合

リア押し込みトラクタの場合

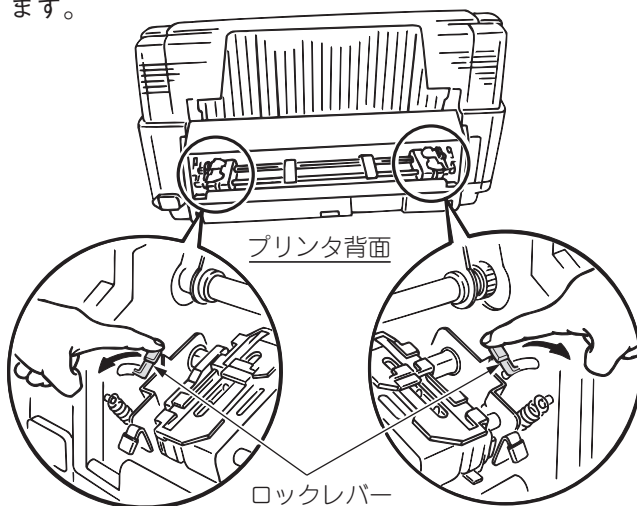
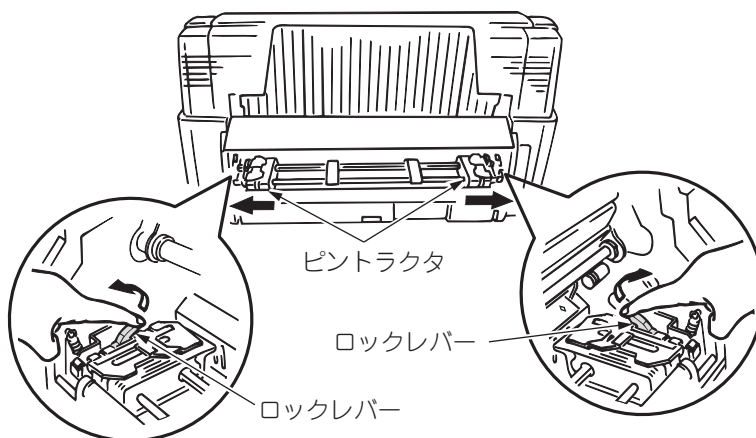
●リア引っ張りトラクタからリア押し込みトラクタへの切り替え

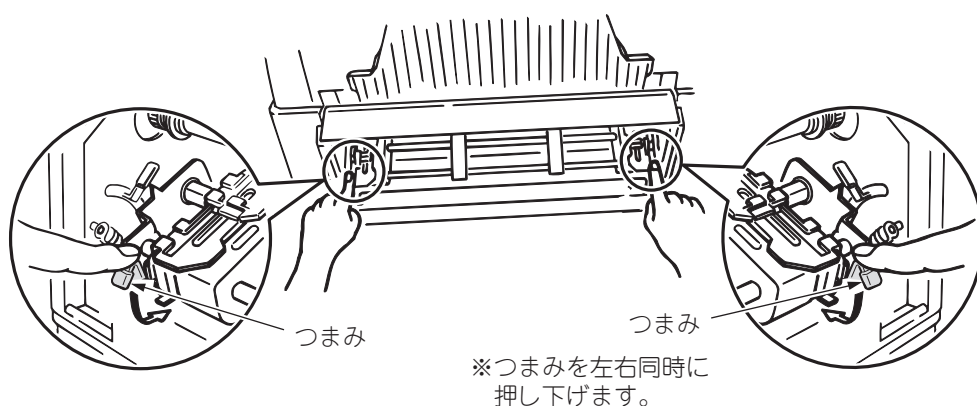
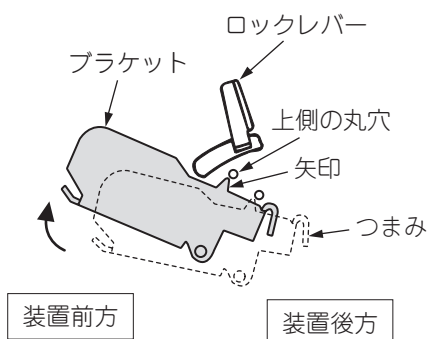
このプリンタには、リアトラクタの紙送り方法として、引っ張りトラクタ方式と押し込みトラクタ方式があります。
リアトラクタの紙送り方式は、プリンタの使用形態に応じて、引っ張りトラクタ方式にするか、押し込みトラクタ方式にするかを選択することができます。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

プリンタが突然動作することがあります。必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 シートスタッカを上に持ち上げてロックします。

3 左右の青色のロックレバーを手前に倒してロックを解除します。

4 左右のピントラクタのロックレバーを引き上げ、ピントラクタを両端に移動させます。

5 左右の青色のつまみを同時に矢印方向に押し下げます。

注 左右のピントラクタを両端に移動させないと、つまみを押し下げられません。

注 押し込んだ後、ブラケットの矢印が上側の丸穴と一致していることを確認してください。

押し込みトラクタになったときのブラケットの矢印と丸穴の位置

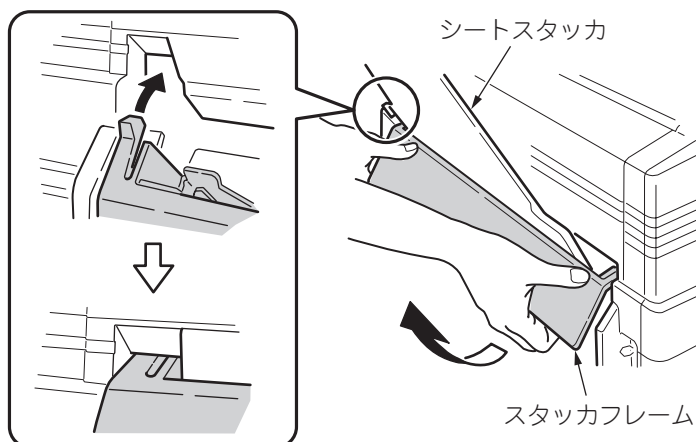
左右の青色のロックレバーを奥側に倒してロックします。

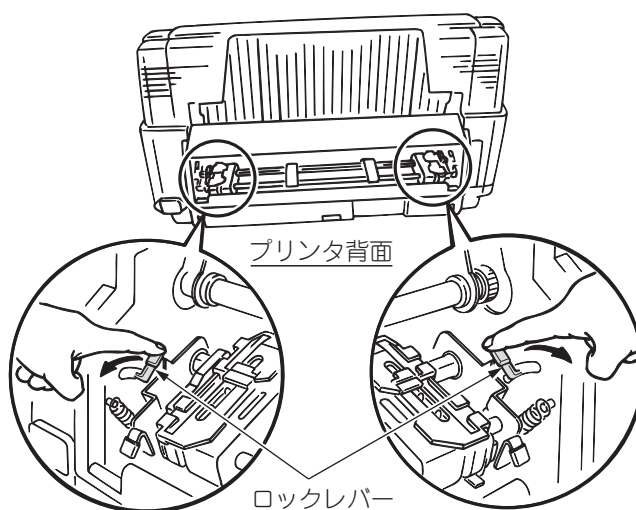
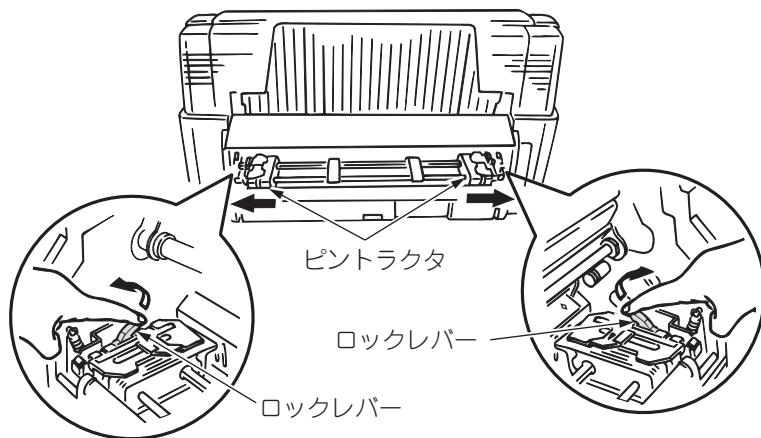
7 シートスタッカを元に戻します。

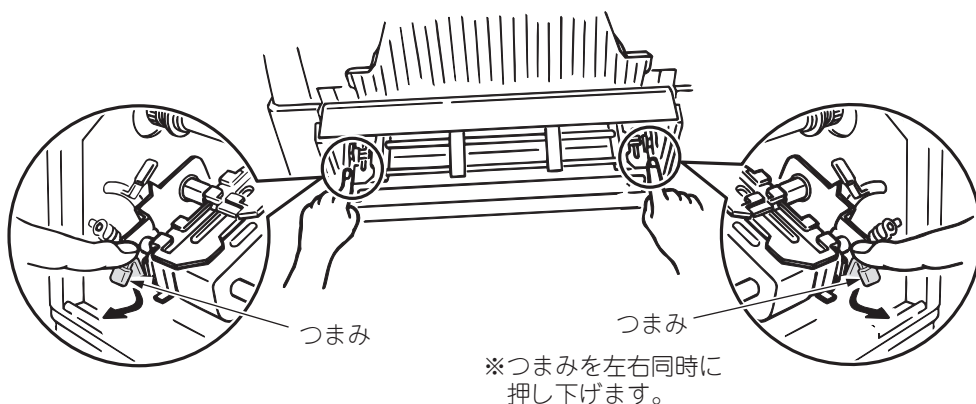
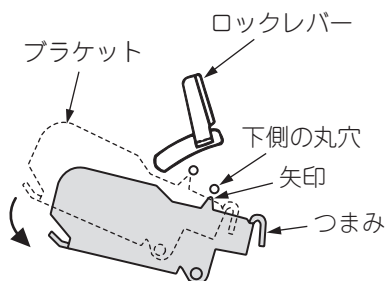
8 電源スイッチを「**ON**」にし、表示パネルに"リアPUSH"と表示していることを確認してください。

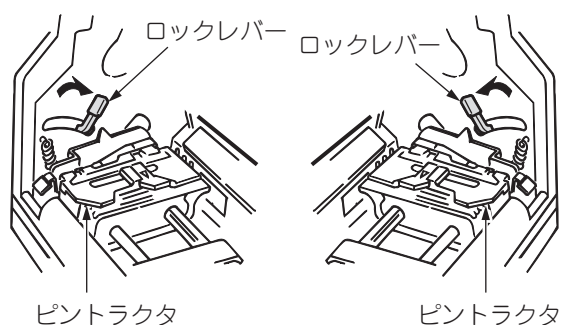
ヨ	ウ	シ		ナ	シ		リ	ア	P	U	S	H			
ヨ	ウ	シ	ヲ		セ	ッ	ト	シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ	

●リア押し込みトラクタからリア引っ張りトラクタへの切り替え

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 シートスタッカを上に持ち上げてロックします。

3 左右の青色のロックレバーを手前に倒してロックを解除します。

4 左右のピントラクタのロックレバーを引き上げ、ピントラクタを両端に移動させます。

5 左右の青色のつまみを同時に押し下げます。

注 左右のピントラクタを両端に移動させないと、つまみを押し下げられません。

注 押し下げた後、ブラケットの矢印が下側の丸穴と一致していることを確認してください。

引っ張りトラクタになったときのブラケットの矢印と丸穴の位置

6 左右の青色のロックレバーを奥側に倒してロックします。

7 シートスタッカを元に戻します。

8 電源スイッチを「ON」にし、表示パネルに"リアPULL"と表示していることを確認してください。

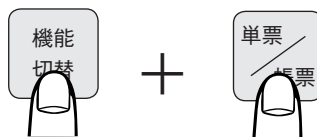
ヨ	ウ	シ		ナ	シ		リ	ア	P	U	L	L			
ヨ	ウ	シ	ヲ		セ	ッ	ト	シ	テ	ク	タ	゙	サ	イ	

●リア／フロントトラクタの切り替え

リアトラクタとフロントトラクタは、以下の手順で切り替えます。

1 電源スイッチを「**ON**」にします。

2 オフライン状態で「**機能切替**」＋「**単票／帳票**」スイッチを押してピントラクタを選択します。

スイッチを押すたびに、リアトラクタとフロントトラクタを切り替えます。

注
- 単票モードで電源スイッチを「OFF」にすると、次に連続紙モードにしたときは、リアトラクタになります。
- リア／フロント押し込みトラクタで連続紙がセットされている場合は、連続紙をトラクタまで退避します。
  プリンタハードウェア設定モードの「バイタイ　キリカエドウサ」を「カットオクリ　アリ」にすると、印刷済みの用紙がプリンタに残っている場合は用紙をカット位置まで送ります。連続紙をミシン目から切り取ったあと「ロード退避」スイッチを押して、連続紙をトラクタに退避させます。

●連続紙の排出方法

印刷が終わった連続紙は、次の手順で排出します。

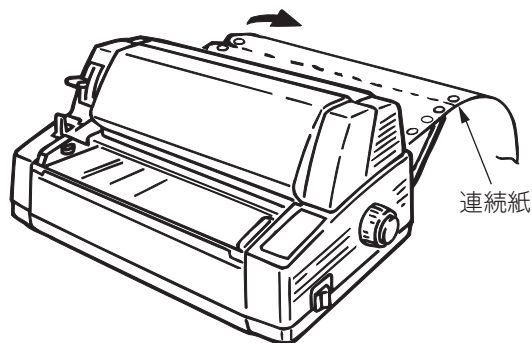
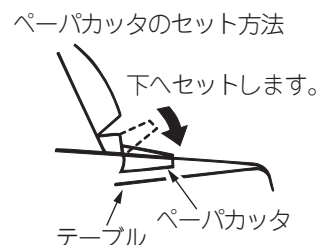
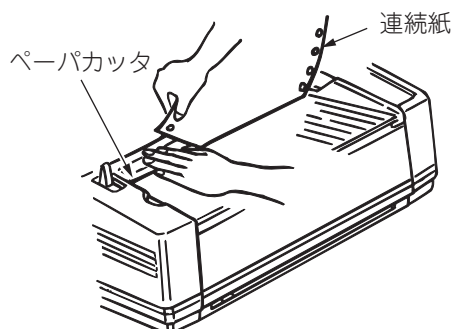
◆リア/フロント押し込みトラクタの場合

1 「印字可」ランプが点灯している状態で、「**用紙ロード**」スイッチを押します。

連続紙が繰り出されます。

注 リア引っ張りトラクタの場合は無効です。

2 連続紙をミシン目から切り取ります。

フロント押し込みトラクタの場合

リア押し込みトラクタの場合

ペーパカッタを手で押さえて用紙を斜め上方向へ引いてカットしてください。

ミシン目位置がペーパカッタと合わない場合は、「用紙のカット位置を補正する」（147ページ）の手順で補正してください。

注 いきおいよくカットすると、ミシン目以外から破れる場合があります

3 もう一度「**用紙ロード**」スイッチを押します。

連続紙が元の位置に戻ります。

注 リア引っ張りトラクタの場合は無効です。

4 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

印字可ランプが消灯します。

5 「**用紙ロード**」スイッチを押します。

連続紙の先端がピントラクタまで後退します。

注
- 連続紙の後退量は最高22インチです。22インチ後退しても連続紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
- 連続紙の後退動作は、2回以上連続して行わないでください。連続して行うとジャムが発生する場合があります。

6 ピントラクタカバーを開き、連続紙を外します。

フロント押し込みトラクタの場合、電源スイッチを「OFF」にし、テーブルおよびフロントカバーを開いてから、ピントラクタカバーを開きます。

7 ピントラクタカバーおよびテーブル，フロントカバーを元に戻します。

ピントラクタの手前で連続紙のミシン目を切り取った場合は、残りの連続紙はオフライン状態で「改頁」または「用紙ロード」スイッチを押して排出してください。

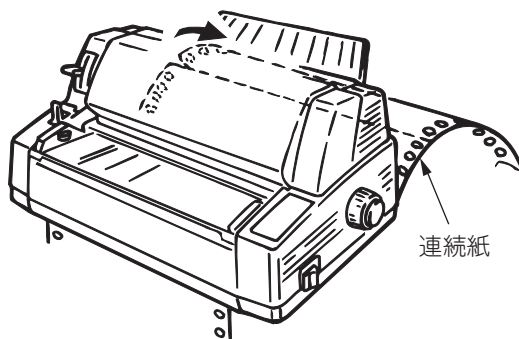
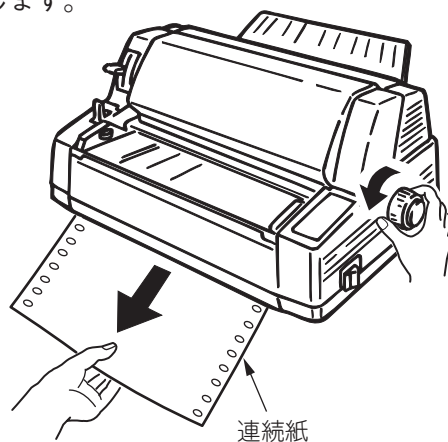
◆リア引っ張りトラクタの場合

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

印字可ランプが消灯します。

2 「**改頁**」スイッチを押します。

連続紙がシートスッタカ側に繰り出されます。

3 印刷済の連続紙をミシン目から切り取ります。

4 連続紙を手で引っ張りながらプラテンノブを回して、連続紙を外します。

参考　プラテンノブを操作するときは、プラテンノブをプリンタ内部へ押し込みながら回してください。プラテンノブを押し込まないと連続紙が送れません。

4
章

単票と連続紙の切り替え

●単票から連続紙への切り替え

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

2 「**単票／帳票**」スイッチを押します。

単票がセットされている場合は、排出します。

フロント/リア押し込みトラクタで、連続紙がピントラクタにセットされている場合は、1行目印字位置まで自動的に送られます。

●連続紙から単票への切り替え

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

2 「**単票／帳票**」スイッチを押します。

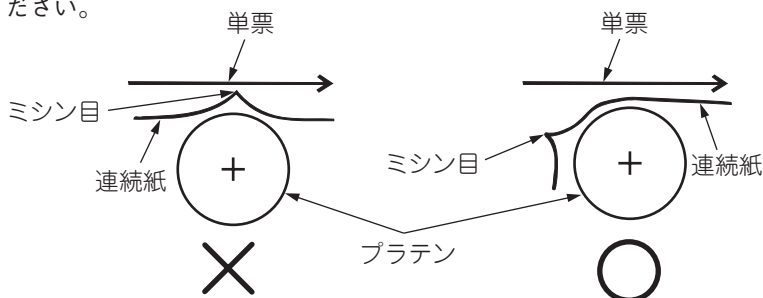
- リア／フロント押し込みトラクタで連続紙がセットされている場合は、トラクタまで退避します。
  プリンタハードウェア設定モードの「バイタイ　キリカエドウサ」を「カットオクリ　アリ」にすると、印刷済みの用紙がプリンタに残っている場合は用紙をカット位置まで送ります。連続紙をミシン目から切り取ったあと「ロード退避」スイッチを押して、連続紙をトラクタに退避させせます。
- リア引っ張りトラクタの場合は、コンカレントモードに切り替わります。

●コンカレントモード

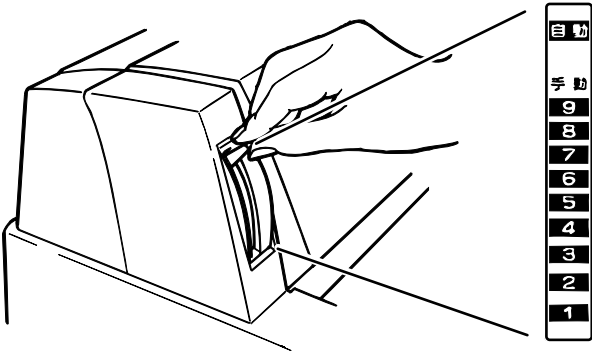
リア引っ張りトラクタで連続紙を使用しているとき､オフライン状態で｢単票／帳票｣スイッチを押すとコンカレントモードに切り替わります。コンカレントモード時は、表示パネルに "コンカレント" と表示されます。連続紙を印字位置にセットしたまま、その上に単票を重ねてセットし、印字させることができます。

コンカレントモードを使用して単票に印字させるときの操作方法は、単票を普通にセットする場合と変わりません。
単票に印字すると連続紙も同時に紙送りされます。

注

- 単票セット時に、連続紙のミシン目が単票走行ルート上に停止しないようにしてください。

- コンカレントモードを使用して、連続紙と単票に別々に印字することはできません。
- コンカレントモードで使用できる連続紙は単紙のみです。
- コンカレントモードで使用できる用紙については､｢付録　用紙規格および印字範囲｣ (224ページ)を参照してください。
- 単票の用紙幅は連続紙の用紙幅よりも小さくしてください。
- マニュアルギャップ調整を行う場合は、単票の適正レンジ+1（連続紙の紙厚分）の位置に用紙厚設定レバーを合わせてください。
- フロント/リア押し込みトラクタでは、コンカレントモードは使用できません。

用紙の厚さに応じた調整方法

このプリンタは、セットされた用紙の厚さを自動的に測定して最適な印字圧に調整するオートギャップ調整機能（自動紙厚調整）を備えていますが、用紙の厚さが一様でない特殊な用紙を使用する場合、この機能が十分働きません。
特殊な用紙を使用する場合は、下表に従って、用紙厚設定レバーの位置を用紙の厚さに応じてセットしてください。

用紙種類			用紙厚設定レバーのレンジ位置								
			1	2	3	4	5	6	7	8	9
単紙	連量 45〜70kg(52〜81g/m²)未満		○								
	連量 70〜110kg(81〜128g/m²)未満			○							
	連量 110〜135kg(128〜156g/m²)				○						
	はがき					○					
複写紙	連量 34kg(40g/m²)の感圧紙	2枚		○							
		3枚			○						
		4枚				○					
		5枚					○	○			
		6枚							○		
		7枚								○	
		8枚									○
用紙全体の厚さ(mm)			0.06〜0.1	0.1〜0.15	0.15〜0.2	0.2〜0.25	0.25〜0.3	0.3〜0.35	0.35〜0.4	0.4〜0.45	0.45〜0.48

一般的なコピー紙（連量55kgの場合）の用紙厚さは約0.08mmです。官製はがき（連量163kg相当の場合）の用紙厚さは約0.23mmです。

高複写印字モード以外でレンジ位置8, 9を使用した場合、および用紙の厚さと異なったレンジ位置で使用した場合、用紙送りおよび印字ヘッドに不具合を生じる恐れがあります。

5　プリンタをより活用するために

～便利な機能及びプリンタ設定の変更方法～

操作パネルの使い方

電　源
用　紙
書　式
高速印字
高複写
排出方向
印字可
印字可
改頁
改行
用紙ロード
高速印字
通常印字
用紙カット
用紙位置設定
▲微少
微少▼
排出方向
単票／帳票
自動給紙
高複写
機能切替
リア／フロント
はがき
書式メニュー

●スイッチの機能

印字可スイッチ

印字可

◆オンラインのとき
- オフラインにします。

◆オフラインのとき
- オンラインにします。
- アラームを解除します。
- 連続紙の用紙終了を検出したとき、そのままの状態で押すとペーパオーバライド機能が働きます。

参考
ペーパオーバライド機能
連続紙の用紙終了を検出しても、このスイッチを押すと一行分データを印刷します。この機能を使うと、連続紙を最後まで有効に活用できます。

改頁スイッチ

改 頁

◆オンラインのとき
- 高速印字モードに設定します。

高速印字では、文字パターンのドットを間引き、高速で印字を行うため、通常印字に比べ文字が薄く見えます。

◆オフラインのとき
- 連続紙モードのとき
  次のページの1行目まで連続紙を送ります。
- 単票モードのとき
  単票を排出します。
- コンカレントモードのとき
  単票を排出し、連続紙を次のページの1行目まで送ります。

改行スイッチ

改 行

◆オンラインのとき
- 通常印字モードに設定します。

◆オフラインのとき
- 1行改行します。押し続けると連続で改行します。

用紙ロードスイッチ

◆オンラインのとき

- 連続紙モード(リア/フロント押し込みトラクタ)のとき
  連続紙を用紙カット位置まで送ります。再押下またはデータを受信すると、元の位置に戻ります。
- 連続紙モード(リア引っ張りトラクタ)のとき
  無効です。
- 単票手差しモード, 自動給紙モードのとき
  無効です。

◆オフラインのとき

- 連続紙モード(リア/フロント押し込みトラクタ)のとき
  ピントラクタに連続紙をセットしてから押すと、1行目印字位置まで連続紙が自動的に送られます。
  連続紙がセットされているときは、ピントラクタの位置まで連続紙を後退させます。
- 連続紙モード(リア引っ張りトラクタ)のとき
  無効です。

注 連続紙の後退量は、最大22インチです。22インチ後退しても用紙先端を検出しない場合は、その時点で後退動作を終了します。
連続紙の後退動作は、2回以上連続で行わないでください。連続で行うと用紙ジャムになる場合があります。

- 単票手差しモードのとき
  単票がセットされていないときに押すと、無効です。
  単票がセットされているときに押すと、用紙を排出し、単票抜き取り待ち状態になります。
- 自動給紙モードのとき
  単票がセットされていないときに押すと、自動的に次の用紙がセットされます。
  単票がセットされているときに押すと、単票が排出されます。
- メニューモードのとき
  現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

注 設定終了後、プリンタはイニシャル動作を行います。イニシャル動作中は電源OFFしないでください。

単票／帳票スイッチ

◆オンラインのとき

- 無効です。

◆オフラインのとき

- 単票モードと連続紙モードを切り替えます。

自動給紙スイッチ

自動
給紙

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- カットシートフィーダが装着されている場合に、スイッチを押すごとに単票手差しモード / 自動給紙モードに切り替わります。

高複写スイッチ

高複写

◆オンラインのとき
- 高複写印字モードに設定します。

◆オフラインのとき
- 無効です。

機能切替スイッチ

機能
切替

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- このスイッチを押しながら他のスイッチを押すことにより､スイッチの機能を変えることができます。

機能切替　＋　印字可スイッチ

機能
切替　＋　印字可

〔用紙位置設定〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされていないときに押すと、1文字目印字位置設定モードになります。

注
- 書式モード中は無効です。
- リア引っ張りトラクタでは無効です。

機能切替　＋　改頁スイッチ

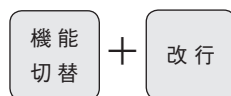
機能
切替　＋　改頁

〔微少送り〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされているときに、順方向に微少送りを行います。

5
章

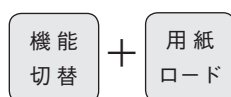
機能切替 ＋ 改行スイッチ

〔微少逆送り〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 用紙がセットされているときに、逆方向に微少送りを行います。

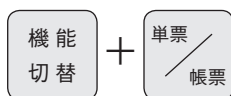
注 用紙の逆送り量は累計で1/3インチ以内にしてください。印字ズレの原因となります。

参考 微少送り，微少逆送りのピッチは、1/180インチです。
また、スイッチを押し続けると、連続的に送ります。

機能切替 ＋ 用紙ロードスイッチ

〔排出方向〕

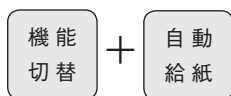
◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 単票モードのときの排出方向を切り替えます。
  排出方向は、単票手差しモードと自動給紙モードで別々に設定できます。

機能切替 ＋ 単票／帳票スイッチ

〔リア/フロント
トラクタ切替〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

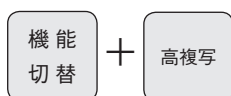
◆オフラインのとき
- リアトラクタとフロントトラクタを切り替えます。

機能切替 ＋ 自動給紙スイッチ

〔はがき〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 単票モードのとき、はがきモードの設定／解除を切り替えます。
  はがきモード時は、1行目印字位置の中心がはがき先端から11.5mmに設定されます。
  はがきモード時は、表示パネル下段に「××× ハガキ」(×××はテサシ または CSF)と表示されます。

注 書式モード中は無効です。

機能切替 ＋ 高複写スイッチ

〔書式メニュー〕

◆オンラインのとき
- 無効です。

◆オフラインのとき
- 書式設定モードになります。

●ランプの表示機能

■電　源　（緑）　点灯　：　電源が入っている
消灯　：　電源が切れている

■用　紙　（赤）　点灯　：
- ペーパエンド状態
- 用紙カット位置の補正の限界状態時
- 用紙頭出し位置の補正の限界状態時
- 用紙ジャムアラーム状態

消灯　：　給紙済み状態
点滅　：
- 単票抜き取り待ち状態
- 媒体アラーム状態
- 用紙レバーアラーム状態
- 復旧不可能アラーム状態（「書式」ランプと共に点滅）
- 用紙カット位置補正中
- 用紙頭出し位置補正中
- カバーオープンアラーム／テーブルオープンアラーム／ペーパガイドアラーム状態（「印字可」ランプと共に点滅）

■書　式　（緑）　点灯　：　書式モード
消灯　：　書式モード解除
点滅　：　復旧不可能アラーム状態（「用紙」ランプと共に点滅）

■高速印字（緑）　点灯　：　高速印字モード
消灯　：　通常印字モードまたは高複写印字モード

■高複写　（緑）　点灯　：　高複写印字モード
消灯　：　通常印字モードまたは高速印字モード

▼排出方向（緑）　点灯　：　テーブルへ単票を排出する
消灯　：　スタッカへ単票を排出する

■印字可　（緑）　点灯　：　オンライン（印字可）
消灯　：　オフライン（印字不可）
点滅　：
- メニュー設定中
- カバーオープンアラーム／テーブルオープンアラーム／ペーパガイドアラーム状態（「用紙」ランプと共に点滅）
- 単票給紙待ち状態

5章

●表示パネル

表示パネルには、プリンタの状態やアラーム時の解除方法およびプリンタのメニュー設定時の項目などが表示されます。
アラームの表示については「アラーム表示がでたときは」（197ページ）その他の表示については、プリンタの操作の中で必要に応じて説明しています。

●ブザー

ブザーはプリンタがアラーム状態のときに鳴ります。
ブザーが鳴ったときは、操作パネルのスイッチのどれかを押すと止まります。

プリンタのメニュー設定

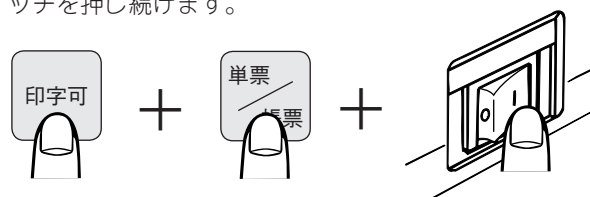
プリンタで変更できる設定内容と変更方法について説明します。

●現在の設定を確認する

メニューの内容の印字には、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10インチ幅以上の連続紙を使用します。
ここでは、A4サイズの単票を使用する場合を例にとって、現在の設定の確認方法を説明します。プリンタはあらかじめ単票手差しモードにしておきます。
詳細は「単票と連続紙の切り替え」（124ページ）を参照してください。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 「**印字可**」＋「**単票／帳票**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

表示パネルの「イニシャル　ショリチュウ」の表示が消えるまでスイッチを押し続けます。

3 テーブルに単票をセットします。

単票を自動的に吸入し、プリンタのメニューで設定されている全ての項目と設定値が印字されます。

メニューの機能設定メニューには以下の4モードがあります。

1. 用紙選択モード
2. コマンド機能設定
3. 印字モード設定
4. プリンタハードウェア設定

●用紙選択モード

使用する用紙サイズや用紙の頭出し位置などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [機能切替]と[高複写]を同時に押しながら、電源を「ON」にします。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
2. [高複写]を押して、「ヨウシ　センタク　モード」を表示させます。
3. [改頁]または[改行]を押して、項目を選びます。
4. [印字可]または[機能切替]を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は3へ、別のモードをセットする場合は2に戻ります。
5. 設定を終了する場合は、[用紙ロード]を押します。
   現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	設定値	機　能
1	ページチョウ	279.4mm　(11") 304.8mm　(12")	ページ長を選択します。 CSF自動給紙モード時は558.8mm (22ｲﾝﾁ)固定となります。
2	ミシンメ　スキップ	ナシ 25.4mm　(1")	連続紙のミシン目スキップ幅を選択します。
3	テサシ　TOF　イチ	2.12mm　(1/12") 6.35mm　(1/4") 7.62mm　(3/10") 8.47mm　(1/3") 10.58mm　(5/12") 23.28mm　(11/12") 25.4mm　(1") 27.52mm　(13/12") ユーザーシテイ　イチ	単票手差し給紙時の用紙の頭出し位置を選択します。 (第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字先端まで。) 「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。
4	CSF　TOF　イチ	2.12mm　(1/12") 6.35mm　(1/4") 7.62mm　(3/10") 8.47mm　(1/3") 10.58mm　(5/12") 23.28mm　(11/12") 25.4mm　(1") 27.52mm　(13/12") ユーザーシテイ　イチ	カットシートフィーダを取り付けたときの用紙の頭出し位置を選択します。 (第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字先端まで。) 「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。

2.12mm(1/12")に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ, 折れや紙づまりが発生する場合があります。

- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。設定値［初期値6.35mm（1/4インチ）］に合わせる場合は、頭出し位置補正（145ページ）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に55kg紙媒体にて適正値に調整してあります。

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	設定値	機　能
5	フロント　オートロード　イチ	2.12mm （1/12"） ✎ 6.35mm （1/4"） 8.47mm （1/3"） 10.58mm （5/12"） 19.05mm （9/12"） 23.28mm （11/12"） 25.4mm （1"） 27.52mm （13/12"） ユーザーシテイ　イチ	連続紙フロント押し込みトラクタ給紙時の頭出し位置を選択します。 （第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字先端まで。） 「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。
6	リア　オートロード　イチ	2.12mm （1/12"） ✎ 6.35mm （1/4"） 8.47mm （1/3"） 10.58mm （5/12"） 19.05mm （9/12"） 23.28mm （11/12"） 25.4mm （1"） 27.52mm （13/12"） ユーザーシテイ　イチ	連続紙リア押し込みトラクタ給紙時の頭出し位置を選択します。 （第1行目の文字中心まで。ただし、8.47mmは第1行目文字先端まで。） 「ユーザーシテイ　イチ」は1文字目印字位置の設定を行った場合に表示されます。
7	チョウヒョウカット　フロント	シュドウ ジドウ	連続紙フロント押し込みトラクタ給紙時のミシン目カット位置への移動方法を選択します。
8	チョウヒョウカット　リア	シュドウ ジドウ	連続紙リア押し込みトラクタ給紙時のミシン目カット位置への移動方法を選択します。
9	PowOnヨウシイチ　フロント	インジイチ カットイチ	連続紙フロント押し込みトラクタ給紙時において、電源投入時に吸紙済の用紙位置を選択します。
10	PowOnヨウシイチ　リア	インジイチ カットイチ	連続紙リア押し込みトラクタ給紙時において、電源投入時に吸紙済の用紙位置を選択します。
11	ジドウハイシュツ　イチ	3.18mm （1/8"） 6.35mm （1/4"） 14.82mm （7/12"）	単票の排出検出位置(用紙下端からの位置)を選択します。
12	チョウヒョウ　PE　イチ	センサ　イチ 6.35mm （1/4"）	連続紙のペーパエンド位置を選択します。（用紙下端から文字中心までの距離） 「センサ　イチ」選択時には次のようになります。 フロント押しこみトラクタ：約120mm リア押し込みトラクタ：約92mm リア引っ張りトラクタ：約52mm
13	インジ　ハバ	80ケタ 106ケタ 132ケタ 136ケタ	1行の最大印字桁を選択します。

✎ 2.12mm（1/12"）に設定はできますが、印字品質は保証されません。また、用紙幅全域に印字した場合、用紙の角めくれ, 折れや紙づまりが発生する場合があります。

- 頭出し位置は用紙の種類によって±2mm程度の誤差が生じることがあります。設定値［初期値6.35mm（1/4インチ）］に合わせる場合は、頭出し位置補正（145ページ）で修正してください。
- 頭出し位置補正については工場出荷時に55kg紙媒体にて適正値に調整してあります。

●コマンド機能設定モード

コントロールコマンドの機能や対応コード表などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [機能切替]と[高複写]を同時に押しながら、電源を「ON」にします。
表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。

2. [改頁]または[改行]を押して、項目を選びます。

3. [印字可]または[機能切替]を押して、設定値を選びます。
引き続き別の項目をセットする場合は2へ、別のモードをセットする場合は[高複写]を押します。

4. 設定を終了する場合は、[用紙ロード]を押します。
現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	設定値	機　能
1	ANK　コードヒョウ ✎	グラフィック　コード カタカナ　コード	ANK文字コード表の拡張グラフィックス/カタカナコードを設定します。
2	ANK　モジヒンイ	LQ　ANK ドラフト　ANK	ANK文字の文字品位を選択します。
3	CR　キノウ	フッキ　ノミ フッキ+カイギョウ	CRコードの機能を、復帰のみか復帰改行するか選択します。
4	ゼロフォント	0 Ø	30H ANKコード受信時の印字フォントパターンを選択します。
5	ANKフォント	クーリエ ローマン サンセリフ OCR-B	ANK書体を選択します。
6	DC1/DC3	ムコウ ユウコウ	DC1とDC3コードの有効／無効を選択します。
7	FF　キノウ	ハイシュツ カイページ	単票手差しモード時のFFコード機能を選択します。
8	タンピョウ　ボトム	ジドウ　ハイシュツ FFコード	単票手差しモードおよび自動給紙モードでのボトム検出時の排出条件を選択します。

●印字モード設定モード

プリンタの印字動作を選択できます。
以下の手順で設定します。

1. 機能切替 と 高複写 を同時に押しながら、電源を「ON」にします。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
2. 高複写 を押して、「インジ　モード　セッテイ」を表示させます。
3. 改頁 または 改行 を押して、項目を選びます。
4. 印字可 または 機能切替 を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は3へ、別のモードをセットする場合は2に戻ります。
5. 設定を終了する場合は、用紙ロード を押します。
   現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

5章

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	設定値	機　能
1	タテカクダイ　インジ	リョウホウコウ　インジ カタホウコウ　インジ	縦拡大印字時の、印字方向を選択します。
2	イメージ　インジ　ホウコウ ✎	リョウホウコウ　インジ カタホウコウ　インジ	イメージ印字時の印字方向を選択します。
3	テイシンドウ　モード	ムコウ ユウコウ	印字の振動を抑える低振動モードの有効／無効を選択します。
4	PowOnカンジモード	セッテイ カイジョ	電源投入時の漢字モード設定／解除を選択します。
5	コウフクシャ　モード	ムコウ ユウコウ	電源投入時の高複写印字モードの有効／無効を選択します。

✎ 両方向印字の場合、縦罫線のずれが0.3mm程度発生することがあります。

●プリンタハードウェア設定モード

用紙の排出方向などが選択できます。
以下の手順で設定します。

1. [機能切替] と [高複写] を同時に押しながら、電源を「ON」にします。
   表示パネルに「コマンド　キノウ　セッテイ」と表示されます。
2. [高複写] を押して、「ハードウェア　セッテイ」を表示させます。
3. [改頁] または [改行] を押して、項目を選びます。
4. [印字可] または [機能切替] を押して、設定値を選びます。
   引き続き別の項目をセットする場合は3へ、別のモードをセットする場合は2に戻ります。
5. 設定を終了する場合は、[用紙ロード] を押します。
   現在の設定値をメモリに記憶し、メニューモードを終了します。

5章

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	設定値	機　能
1	ジュシン　バッファ	シヨウ　スル シヨウ　シナイ	受信バッファ(2K)を使用するか、しないか選択します。
2	バイタイ　キリカエドウサ	カットオクリ　ナシ カットオクリ　アリ	リア／フロント押し込みトラクタで連続紙がセットされているときに用紙モードを切り替えた場合、連続紙をカット位置まで送る動作(カットオクリ)を行うか、行わないか選択します。
3	テサシ　PAPER　END	PE　シュツリョク　ナシ PE　シュツリョク　アリ	単票手差しモード時、用紙終了を検出したとき、ペーパエンド(未給紙状態)出力を行うか、行わないか選択します。
4	ハイシュツ　ホウコウ	テーブル スタッカ	単票手差しモード時の用紙の排出方向を選択します。
5	CSF　ハイシュツ　ホウコウ	スタッカ テーブル	自動給紙モード時の用紙の排出方向を選択します。
6	キュウシ　WAIT TIME	0.5　s 1.0　s 2.0　s	単票をテーブルにセットしてから吸入するまでの時間を選択します。
7	テサシ　キュウシ　ソクド	ツウジョウ テイソク	単票手差しモード時の給紙速度を選択します。
8	カール　ナラシドウサ	ムコウ ユウコウ	単票吸入時、または改行時の単票先端ならし動作の実行を選択します。

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	設定値	機　能
9	CSF　ギャップドウサ	ツウジョウ マイカイ	自動給紙モードの用紙吸入時のオートギャップ動作を選択します。「ツウジョウ」は用紙吸入1回目のみ行います。
10	チョウヒョウ　オクリソクド	ツウジョウ テイソク	連続紙モード時の改行速度を選択します。
11	チョウヒョウ　ナラシドウサ	ハバヒロ ハバセマ	連続紙のならし動作の幅を選択します。
12	ソウホウコウI/F	ムコウ ユウコウ	双方向インタフェースの有効／無効を選択します。
13	AUTO　FEED　XT	ムコウ ユウコウ	AUTO FEED XT信号の有効／無効を設定します。
14	インタフェース　センタク	パラレル イーサネット	使用するインタフェースをパラレルにするかイーサネットにするかを選択します。
15	ブザー	ユウコウ ムコウ	ブザー鳴動の有効/無効を設定します。

●調整モード

プリンタの機械的なずれを調整します。

注 調整モードの調整値は、工場出荷時に適正値に調整してあります。
むやみに調整値を変更しないでください。

1. [印字可]と[改頁], [高複写]を同時に押しながら、電源を「ON」にします。

   表示パネルに「チョウセイ　モード」と表示されます。

   連続紙モード, 自動給紙モードで用紙がセットされている場合は用紙を吸入して「#チョウセイ　モード」と印字します。

   単票手差しモードのときは、テーブルに用紙をセットすると、用紙を吸入して「#チョウセイ　モード」と印字します。

2. [改頁]または[改行]を押して、項目を選びます。

   No.1～4　用紙がセットされている場合に[自動給紙]を押すと、調整値を印字します。

3. [印字可]または[機能切替]を押して、調整値を選びます。

4. 設定を終了する場合は、[用紙ロード]を押します。

   現在の設定値をメモリに記憶し、調整モードを終了します。

項番	項　目	設定値	機　能
1 ～ 4	PRINT REG **** (****は速度表示であり、LOWまたはNORMまたはHIGH1またはHIGH2)	(PRREG=**) **は±5まで補正可能 出荷時、適正値に調整されます。	低速印字速度（LOW）, 通常印字速度（NORM）, 高速印字速度（HIGH1, HIGH2）の、横方向の印字ずれを調整します。 （例） (0) (-1) (-2)
5	タンピョウ　LF　ピッチ	(TLFP=***) ***は±10まで補正可能 出荷時、適正値に調整されます。	単票給紙後の改行量を補正します。
6	ボトム　イチ（フロント）	(BOTTOM=***) ***は±20まで補正可能 出荷時、適正値に調整されます。	連続紙フロント押し込みトラクタ時のペーパエンド位置を補正します。
7	ボトム　イチ（リアPUSH）	(BOTTOM=***) ***は±20まで補正可能 出荷時、適正値に調整されます。	連続紙リア押し込みトラクタ時のペーパエンド位置を補正します。
8	ボトム　イチ（リアPULL）	(BOTTOM=***) ***は±20まで補正可能 出荷時、適正値に調整されます。	連続紙リア引っ張りトラクタ時のペーパエンド位置を補正します。

✎ LFピッチ補正は、あらかじめ枠線等がプレプリント印刷されている単票を使用するときに、改行ピッチが合わない場合に補正する機能です。設定値に対する補正量は以下のとおりです。

設定値	100mmあたりの補正値
±1	±0.07mm
±2	±0.21mm
±3	±0.35mm
±4	±0.42mm
±5	±0.56mm
±6	±0.70mm
±7	±0.84mm
±8	±0.92mm
±9	±1.06mm
±10	±1.20mm

✎✎ 設定値は1ステップあたり0.21mm（1/120インチ）単位で、＋側は用紙下端方向へ、－側は用紙上端方向へ移動します。

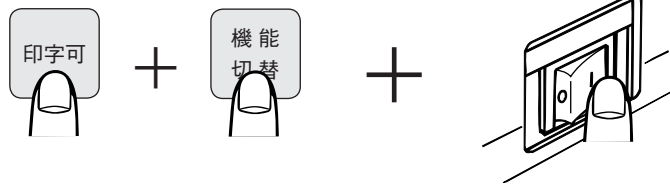
●設定を初期化する

全てのメニューの設定値を、初期の状態に戻すことができます。

- 調整モードの調整値は初期化されません。
- 登録した書式は消えません。

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 「**印字可**」＋「**機能切替**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

表示パネルに「メニュー　デフォルトセット」と表示されたら、スイッチから指を離します。

●用紙の頭出し位置を補正する

用紙の頭出し位置を基準位置［6.35mm（1/4インチ)］に合わせることができます。
基準位置とは、用紙の先頭行のことで、用紙が自動給紙されて停止する位置です。

注
- リア引っ張りトラクタモードでは無効です。
- 補正する場合は、6.35mm（1/4インチ）に合わせてください。
- 用紙の頭出し位置を任意の位置に設定する場合は、「1文字目の印字位置を設定する」（151ページ）を参照してください。

参考

頭出し位置の補正は、用紙モード（単票手差しモード, 自動給紙モード, フロント押し込みトラクタモード, リア押し込みトラクタモード）でそれぞれ別々に設定できます。

1 プリンタのメニュー設定印刷を行い、補正を行う用紙モードの「TOF　イチ」または「オートロード　イチ」が「6.35mm（1/4″）」になっていることを確認します。

詳細は「現在の設定を確認する」（135ページ）を参照してください。

2 補正を行う用紙モードを選択します。

詳細は「4章」を参照してください。

3 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

4 カットシートフィーダの場合は用紙ガイドに、連続紙の場合はピントラクタに用紙をセットします。

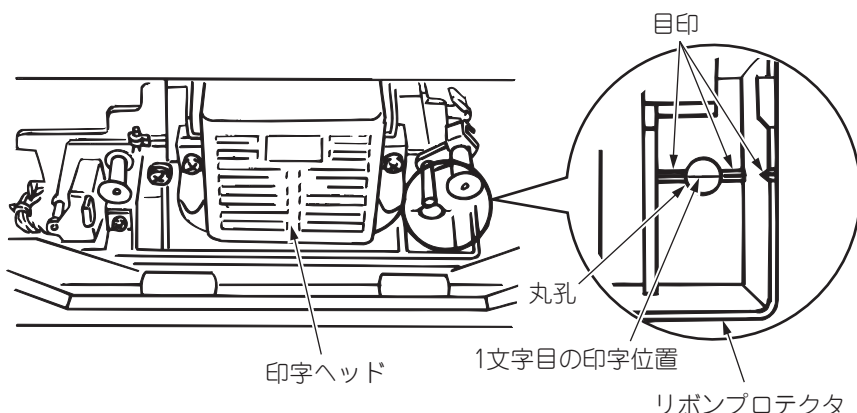
注 単票手差しの場合は、まだ用紙をセットしないでください。

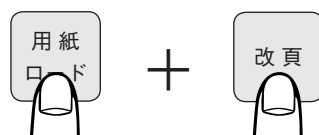
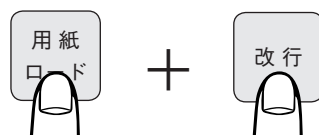
5 「**用紙ロード**」スイッチを押します。単票手差しの場合は、スイッチを押したままテーブルに用紙をセットします。

注 用紙吸入後も「用紙ロード」スイッチを押したままにしてください。

用紙上端より6.35mm（1/4インチ）の位置まで用紙を吸入し、表示パネルに「アタマダシ　イチ　ホセイ」と表示されます。

縦方向の1文字目印字位置を合わせます。

① 1文字目の中心位置がどこになるか確認します。

② 以下のスイッチを操作して、1文字目を合わせます。

順方向に微少送り：「用紙ロード」スイッチを押したまま、「改頁」スイッチを押します。

逆方向に微少送り：「用紙ロード」スイッチを押したまま、「改行」スイッチを押します。

注 カバーオープン状態ではスイッチ操作できません。

参考 順方向, 逆方向の微少送りピッチは0.21mm (1/120インチ) です。

7 用紙頭出し位置が基準位置［1文字目の中心で6.35mm (1/4インチ)］になったら、スイッチから指を離します。

指を離した位置が、新しい頭出し位置として記憶されます。

注
- プリンタに電源が投入されていて、用紙がセットされているときにプラテンノブを手で回すと、縦方向の印字の位置がずれますので回さないようにしてください。
- 微少逆送りで調整する場合は、印字ずれが発生することがありますので、必ず2〜3mm余分に用紙を戻し、順方向に送って印字位置を合わせてください。

●用紙のカット位置を補正する

リア押し込みトラクタ使用時の用紙のカット位置を調整することができます。

注
- フロント押し込みトラクタ、リア引っ張りトラクタでは無効です。
- プリンタのページ長設定が、実際の用紙と合っていないと、正常に調整できません。

1 「連続紙をセットする」（100ページ）を参照して、用紙をセットしてください。

参考
用紙を1ページ余分に紙送りしておくと、調整がしやすくなります。
用紙セット後、「印字可」スイッチを押してオフライン状態にします。
その後「改頁」スイッチを押して1ページ分紙送りを実行します。

2 「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

「印字可」ランプが消灯している場合には、「印字可」スイッチ押し、オンライン状態にします。

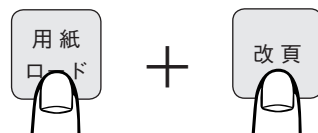
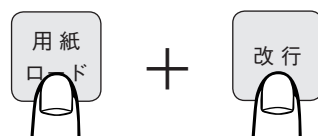
3 「**用紙ロード**」スイッチを押します。

注
カット送り動作後も「用紙ロード」スイッチを押したままにしてください。

ミシン目をペーパカッタ位置まで送り出し、「カット　イチ　ホセイ」と表示します。

ミシン目の位置を調整します。

ミシン目の位置がペーパカッタに合うように、以下の操作を行います。

順方向に微少送り：「用紙ロード」スイッチを押したまま、「改頁」スイッチを押します。

逆方向に微少送り：「用紙ロード」スイッチを押したまま、「改行」スイッチを押します。

順方向, 逆方向の微少送りピッチは0.21mm（1/120インチ）です。

5 ミシン目の位置がペーパカッタに合ったところで、スイッチから指を離します。

指を離した位置が、新しいカット位置として記憶されます。

- プリンタに電源が投入されていて、用紙がセットされているときにプラテンノブを手で回すと、縦方向の印字の位置がずれますので回さないようにしてください。
- 微少逆送りで調整する場合は、位置ずれが発生することがありますので、必ず2〜3mm余分に用紙を戻し、順方向に送って印字位置を合わせてください。

5
章

プリンタの便利な機能

●通常印字／高速印字／高複写印字の設定

このプリンタには、通常印字モードと高速印字モードと高複写印字モードがあります。
通常印字は、文章を清書するときに使用します。
高速印字は、テスト印字やプログラムリストの印字などを速く行うのに便利です。
高複写印字は、宅配の送り状など、複写枚数が多い用紙に印刷するときに使います。
電源投入時は、通常印字になります。

◆通常印字の設定

1 「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

2 「**改行**」スイッチを押します。

「高速印字」ランプまたは「高複写」ランプが消灯します。

印字中に「改行」スイッチを押すと、高速印字または高複写印字から通常印字となります。

◆高速印字の設定

1 「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

2 「**改頁**」スイッチを押します。

「高速印字」ランプが点灯します。

印字中に「改頁」スイッチを押すと、通常印字または高複写印字から高速印字となります。

注

高速印字では、文字パターンのドットを間引き高速で印字を行うため、通常印字に比べ文字が薄く見えます。

5章

◆高複写印字の設定

1 「印字可」ランプが点灯していることを確認します。

2 「**高複写**」スイッチを押します。

「高複写」ランプが点灯します。

参考　印字中に「高複写」スイッチを押すと、通常印字または高速印字から高複写印字となります。

- この印字モード中は、高速印字に設定できません。
- この印字モードのリボン寿命は、通常印字に比べ、約半分になります。
- 用紙の厚さは、0.36～0.48mm（126ページ参照）の用紙をお使いください。
- 印字速度は通常印字に比べ約50％低下します。
- 1枚目が厚く2枚目に複写できないような場合に高複写印字に設定してください。
- 薄紙で横罫線印字をすると用紙が破れる場合がありますので、高複写印字にしないでください。
- インクリボンが新しいときに印字Dutyの高い文字やグラフィックを印字すると、汚れが発生する場合があります。

●1文字目の印字位置を設定する

1文字目の印字位置を、任意の位置に設定することができます。
1文字目印字位置とは、用紙の先頭行のことで、用紙が自動給紙されて停止する位置をいいます。メニュー設定値以外の値を使いたいときに、使用します。
用紙の種類によっては、1文字目印字位置が異なる場合がありますので、本機能で設定してください。

1文字目印字位置には、次のものがあります。
- プリンタが本来から持っている値（初期値）
- 電源を投入している間のみ記憶している値（一時的な設定）
- 新たに設定され、電源を切ってもメモリ内に記憶し続ける値（恒久的な設定）

参考

1文字目印字位置の設定は、単票手差し, カットシートフィーダ, 連続紙（フロント押し込みトラクタ）, 連続紙（リア押し込みトラクタ）で、それぞれ別々に設定できます。

1 プリンタの電源スイッチを「ON」にします。

用紙が給紙されていた場合は、排出させます。

2 「単票／帳票」スイッチまたは「機能切替」＋「単票／帳票」スイッチにより、給紙方法を選択します。

3 横方向の1文字目の位置を合わせます。

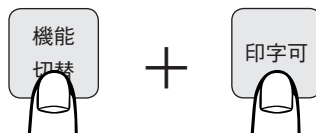
単票手差しの場合は、シートガイドを調整します。
カットシートフィーダの場合は、用紙ガイドを調整します。
連続紙の場合は、ピントラクタを調整します。

4 カットシートフィーダの場合は用紙ガイドに、連続紙の場合はピントラクタに、用紙をセットします。

注
- 単票手差しの場合は、用紙を入れません。
まだ、給紙しないでください。
- 連続紙の場合、表示パネルに「ヨウシ　ナシ」と表示されていることを確認してください。「オフライン」と表示されている場合には、「ヨウシ　ナシ」と表示するまで、プラテンノブを回して、連続紙を後退させてください。

5 「印字可」ランプが消灯していることを確認します。

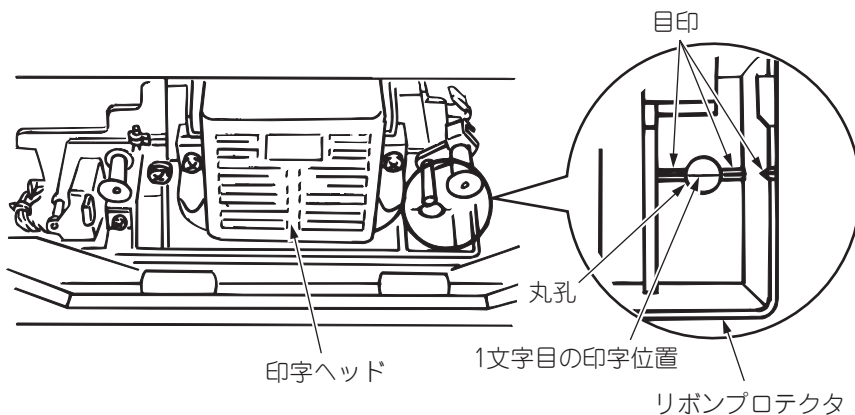
単票手差しおよびカットシートフィーダの場合、「印字可」スイッチを押してオフラインにします。

「**機能切替**」スイッチを押しながら「**印字可**」スイッチを押します。

1文字目印字位置設定モードになります。

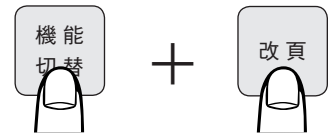
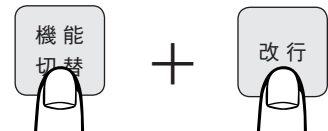
- 単票手差しモードの場合
  単票をプリンタにセットしてください。自動的に用紙上端より6.35mm（1/4インチ）の位置に用紙を送ります。
- カットシートフィーダ、連続紙の場合
  用紙を用紙上端より6.35mm（1/4インチ）の位置まで吸入します。

5
章

7 縦方向の1文字目印字位置を合わせます。

① 1文字目の中心位置がどこになるか、確認します。

② 以下のスイッチを操作して、1文字目を合わせます。

順方向に1改行　　：「改行」スイッチを押します。

順方向に微少送り：「機能切替」スイッチを押しながら、「改頁」スイッチを押します。

逆方向に微少送り：「機能切替」スイッチを押しながら、「改行」スイッチを押します。

注 カバーオープン状態ではスイッチ操作はできません。

参考 順方向, 逆方向の微少送りピッチは0.14mm（1/180インチ）です。

8 1文字目印字位置が決まったら、恒久的な設定または、一時的な設定をします。

〔恒久的に設定する場合〕

「**印字可**」スイッチを押します。

スイッチを押した時点の位置がメモリに記憶されます。以後この位置が1文字目印字位置になります。
設定した値は、次に変更するまで継続されます。

イ	ン	シ	゛	カ	イ	シ	イ	チ		セ	ッ	テ	イ		
セ	ッ	テ	イ	サ	レ	マ	シ	タ	（	コ	ウ	キ	ュ	ウ	）

（約2秒間表示）

〔一時的に設定する場合〕

「**用紙ロード**」スイッチを押します。

スイッチを押した時点の位置が一時的に記憶されます。
設定した値は、電源を投入している間と、I-PRIME受信まで継続されます。

イ	ン	シ	゛	カ	イ	シ	イ	チ		セ	ッ	テ	イ		
セ	ッ	テ	イ	サ	レ	マ	シ	タ	（	イ	チ	シ	゛	）	

（約2秒間表示）

- プリンタに電源が投入されていて、用紙がセットされているときにプラテンノブを手で回すと、縦方向の印字の位置がずれますので回さないようにしてください。
- 微少逆送りで調整する場合は、印字ずれが発生することがありますので、必ず2～3mm余分に用紙を戻し、順方向に送って印字位置を合わせてください。

5章

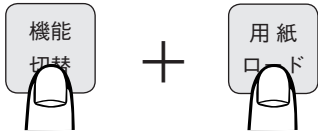
●1文字目印字位置をリセットする

〔恒久的な設定のリセット〕

「恒久的な設定」でセットした、1文字目印字位置をリセットします。
リセット後は、6.35mm（1/4インチ）（工場出荷時設定）になります。

メニュー設定内容を初期化した場合も、リセットされます。
（144ページ）

1 151, 152ページの1～6の手順を行い、1文字目印字位置設定モードにします。

2 「**機能切替**」スイッチを押しながら、「**用紙ロード**」スイッチを押します。

イ	ン	シ	゛	カ	イ	シ	イ	チ		セ	ッ	テ	イ		
セ	ッ	テ	イ	サ	レ	マ	シ	タ	（	シ	ョ	キ	チ	）	

（約2秒間表示）

〔一時的な設定のリセット〕

「一時的な設定」でセットした、1文字目印字位置をリセットします。
リセット後は、メニューで現在セットされている値になります。

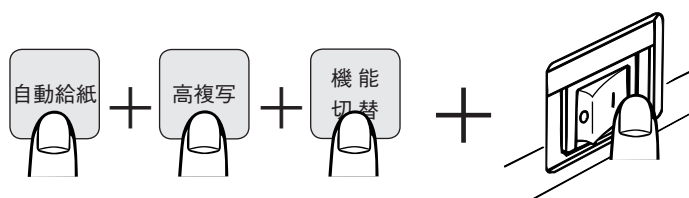
1 電源を入れ直します。

●HEXダンプをとる

HEXダンプモードでは、受信したデータをすべて16進数で印字します。
ホストコンピュータからプリンタに正しいデータが送られているか、確認できます。

1 電源を「**OFF**」にします。

2 「**自動給紙**」＋「**高複写**」＋「**機能切替**」スイッチを押しながら、電源スイッチを「**ON**」にします。

印字ヘッドが動き始めたら、スイッチから指を離します。

3 プリンタに用紙をセットして、印字データを送ります。

用紙を吸入した後、「Hex Dump Mode」と印字されます。
受信したデータが全て16進数で印字されます。

プリンタの電源を「**OFF**」にすると、HEXダンプモードは解除されます。

注 HEXダンプ印字を行う場合には、A4サイズ以上の単票の縦置き、または10インチ幅以上の連続紙を使用してください。

●バーコードの印字

このプリンタには、バーコードを印字する機能があります。
ここでは、概要を説明します。コントロールコマンドについては、「拡張コントロールコマンドの仕様」を参照してください。
拡張コントロールコマンドの仕様については、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。

注 Windows環境では使用できません。

◆バーコードの種類

このプリンタで印字できるバーコードの種類は、下表のとおりです。

バーコードの名称	文字種	桁数
NW-7	データ　:　数字0〜9 記号 - $. / : + ¥ スタート/ストップ :　a b c d e t n *	可変(20)
JAN標準	データ　:　数字0〜9	12+CD(13)
JAN短縮	データ　:　数字0〜9	7+CD(8)
Code_39	データ　:　数字0〜9 英字A〜Z 記号 - $. / + % (SP) スタート/ストップ :　*	可変(20)
Interleaved 2 of 5	データ　:　数字0〜9	可変(20)
カスタマバーコード	データ　:　数字0〜9、英字A〜Z 記号ー	可変 (Min 7、Max 23)

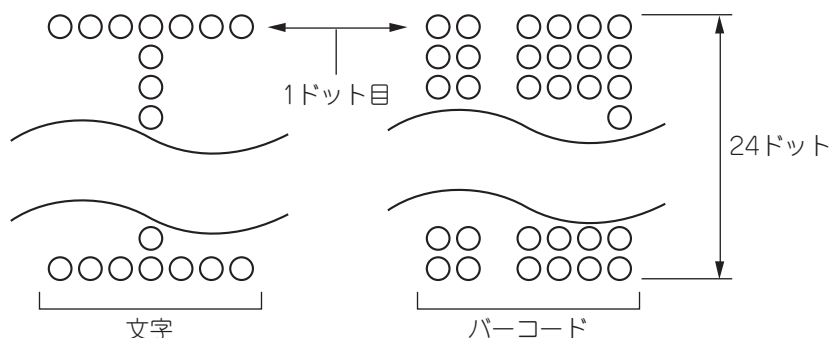
• CD : チェックディジットを示します。
• 桁数の（　）内は最大桁数を示します。

参考

カスタマバーコードとは、あらかじめ郵便物にバーコードを印刷し、料金割引を受けようとするものです。
詳しくは、日本郵便のホームページをご覧ください。

〔NW-7, JAN標準/ 短縮, Code 39, Interleaved 2 of 5〕

◆バーコードの印字位置

バーコードの印字位置は、文字およびイメージデータと同様に、縦1ドット目をバーコードの1ドット目とし、縦24ドットで印字します。

- バーコードと文字が同一行に混在する次のような場合、改行量を調整しながら印字させる必要があります。

亜唖
亜唖
亜唖

亜唖
亜唖
亜唖

【文字の改行ピッチが1/6インチの場合】

① バーコード前の文字データ（亜, 唖）とスペース, バーコード印字コマンド（バーエレメント指定）および、バーコード後のスペースと文字データ（亜, 唖）を送信。
（バーコード印字コマンド受信後、印字起動となる。）
② 印字復帰コマンド、および24/180インチの改行コマンドを送信。
③ 手順①〜②を繰り返します。

◆バーコードご使用時のご注意

- バーコード印字コマンドで印字するバーコードは、ドットを組み合わせて印字するため、本来の規格と多少異なる場合があります。このプリンタで印字されたバーコードの読み取りに関しては、お客様が読み取り確認された上で、ご使用ください。
- 印字が薄くなったインクリボンでバーコードを印字すると、読み取れない場合があります。バーコードを印字する場合は、新しいインクリボンを使用してください。

〔カスタマバーコード〕

◆カスタマバーコードの生成

カスタマバーコードに必要な文字情報は、新郵便番号と住所表示番号です。

新郵便番号 .... 町域名までの住所に設定された新郵便番号です。
住所表示番号............... 町域名以降の住所からバーコードに必要な文字情報を ハイフンで結んだものです。
ビル,マンション等の棟・室番号も含みます。

例） 東京都千代田区霞が関1丁目3番2号　郵便プラザ503室

↓ 100-0013（新郵便番号）

↓ 1-3-2-503（住所表示番号）

① 住所 : 〒100-0013
東京都千代田区霞が関1丁目3番2号　郵便プラザ503室
② 新郵便番号＋住所表示番号変換 : 100-0013　1-3-2-503
③ 新郵便番号の3〜4数桁目のﾊｲﾌﾝを省く : 10000131-3-2-503
④ カスタマバコード桁調整 : 10000131-3-2-503　CC4 CC4 CC4 CC4
⑤ ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄ(CD) 算出 : 1+0+0+0+0+1+3+1+10+3+10+2+10+5+0+3+14+14+14+14
=105+CD=19の倍数
→CD=114(19の倍数)-105=9
⑥ ｽﾀｰﾄｺｰﾄﾞ,ｽﾄｯﾌﾟｺｰﾄﾞ,ﾁｪｯｸﾃﾞｼﾞｯﾄを付加 : STC 1 0 0 0 0 1 3 1 - 3 - 2 - 5 0 3 CC4 CC4 CC4 CC4 9 SPC
⑦ ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ印字ｺﾏﾝﾄﾞ送信

注 スタートコード,ストップコードおよびチェックディジットはプリンタが付加します。送信するバーコードデータは"1 0 0 0 0 1 3 1 - 3 - 2 - 5 0 3"となります。

参考 スタートコード, ストップコードおよびCC1〜CC8を付加する場合は、下表（表1）の数字に置き換えて送信してください。
本コードは本プリンタで独自に割り当てたもので、日本郵便のカスタマバーコードの仕様にはありません。また､本コードはバーコード印字コマンド(カスタマバーコード指定)のときのみ有効です。

［表1］

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ	STC	SPC	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
ﾃﾞｰﾀ送信用数字	02	03	11	12	13	14	15	16	17	18

（16進）

◆チェックディジットの計算方法

チェックディジットは、新郵便番号と住所表示番号の各バーコード用キャラクタをチェックディジット計算対応表(表2)からチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。

［表2］

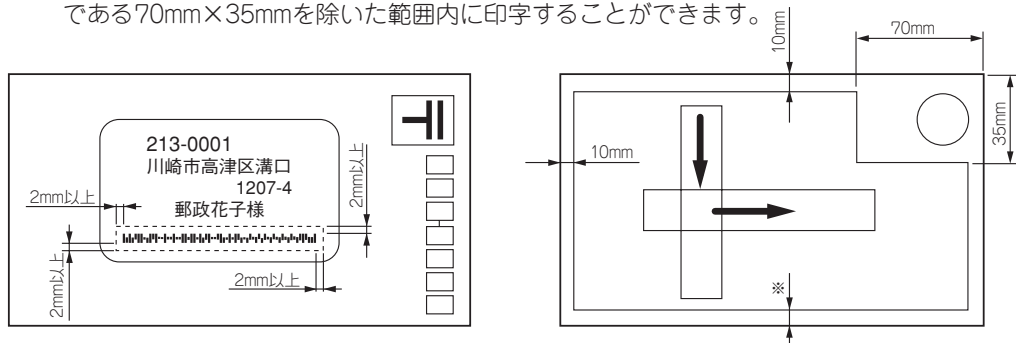
ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
ﾁｪｯｸ用数字	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9

ﾊﾞｰｺｰﾄﾞ用ｷｬﾗｸﾀ	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
ﾁｪｯｸ用数字	10	11	12	13	14	15	16	17	18

◆カスタマバーコードの印字位置

カスタマバーコードの上下左右には、2mm以上の空白を設けるものとします。ただし、窓枠とカスタマバーコードの間の空白は、封筒と内容物のズレにかかわらず、常に上下左右とも2mm以上を確保するものとします。

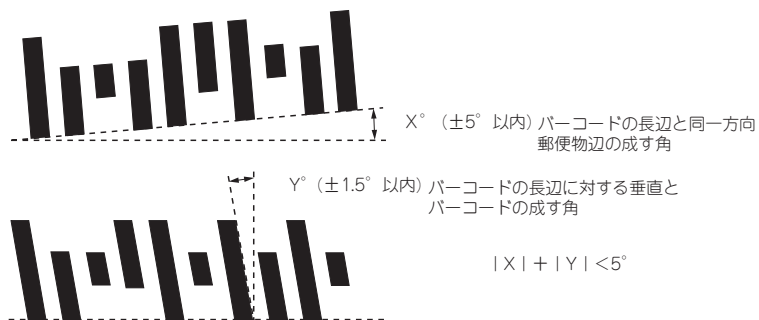
宛名を横書きする場合は、最下行(宛名氏名の直下)にカスタマバーコードを単独で印字することとし、宛名を縦書きするには、左右または下部に単独で印字することとします。

なお、カスタマバーコードは、下図のように郵便物の表面の縁から10mmおよび消印領域である70mm×35mmを除いた範囲内に印字することができます。

※部は、できる限り縁から15mm以上

◆カスタマバーコードが印字される下地

カスタマバーコードが印字される下地は、白色または地模様のない淡い色とします。

◆カスタマバーコードの傾き

カスタマバーコードの傾きは、バーコードの長辺と同一方向の郵便物辺が成す角が5度以内になるようにします。またバーコードの長辺に対する垂線とバーコードとの成す角は1.5度以内になるようにするものとし、上記2つが混在する場合には、2つの傾きの絶対値を加えたものが5度以内になるようにします。

◆使用するインクリボン

印刷色黒色のインクリボンを使用してください。 印字が薄くなったインクリボンを使用すると、読み取りができなくなる場合があります。

◆印字品質

カスタマバーコード印字面には、反射率50%以上の紙を使用し、印字面とカスタマバーコードとの反射率PCS(Print Contrast Signal)は、0.6以上とします。

また、カスタマバーコードには、インクのにじみやかすれなどが極力ないものとします。インクリボンが新品の場合、インクのにじみが生じることがあります。

●書式を使って印刷する

このプリンタには、書式を利用した印刷方法があります。
書式とは、いろいろな伝票やオリジナル用紙などのフォーマット形式に合わせて、印字開始位置や文字間、字形情報をあらかじめプリンタのメモリに登録しておくものです。書式を利用すれば、コンピュータからテキスト形式のファイルを送るだけで、用紙のフォーマット形式に合った印刷が可能です。

注 Windows環境では使用できません。

書式で印刷する手順は、次のようになります。
1. 書式の作成と登録
2. 印刷データの作成
3. 使用する書式の指定
4. 用紙のセット
5. 印刷

各手順について、説明します。

◆書式の作成と登録

印刷するフォーマットに合わせて、コントロールコマンドで書式を作成します。

詳細は、拡張コントロールコマンドの仕様の「STX D（書式フォーマット転送）」を参照してください。
拡張コントロールコマンドの仕様については、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。

◆印刷データの作成

印刷するデータは、印字開始位置ごとに、LFコードで区切って作成します。また、書式で指定した印字開始位置数と同じ数の印字データの集まりを1ブロックとし、1ページは1ブロックで印字されます。印字データ中にFFコードがあると、ブロックの終わりとみなします。

〈データ作成上の注意点〉
- 印字データは、文字コードと文字指定コマンドで作成してください。
- 文字の拡大, 縮小は書式の字形で指定してください。
  印字データ中には文字の拡大, 縮小コマンドを含めないでください。
- 1行の文字数に制限はありませんが、プリンタの最大印字桁（メニューの設定値）を超えないようにしてください。
- 空白行をデータにするときは、LFコードのみ送ります。
- 文字の間隔は、パイカ文字（1/10インチ）を基準として文字間スペースを登録していますが、文字の大きさを変えると文字間隔も変わります。

〈データの区切り文字について〉

印字データの中に余分なLFコードが含まれていると、印字データが誤って区切られ、印字位置がずれてしまいます。このような場合、印字データに区切り文字をつけることにより、正しく印字することができます。

区切り文字には、次の種類があります。

ページ区切り文字	?、@	1ブロックの印字データの始まりを示します。この文字に続く、書式で指定した印字開始位置数と同じ数の印字データの集まりを1ブロックのデータとします。 ページ区切り文字は、必ずブロックの先頭につけてください。
行区切り文字	!、″、&、;	1つの印字開始位置分のデータの始まりと終わりを示します。行区切り文字に囲まれた印字データのみが有効になります。 4種類の中から1種類だけ選択できます。 行区切り文字を使用する場合は、LF コードはすべて無効になります。

印字データの区切り文字の指定は、書式メニュー設定で行います。詳細は、「書式メニューの設定を変更する」（164ページ）を参照してください。

•印字データ中にFFコードがあると、ブロックの終わりとみなします。

◆使用する書式の指定

使用する書式をコントロールコマンドか、プリンタの操作パネルで指定します。

コントロールコマンドの詳細は、拡張コントロールコマンド仕様の「STX Q（書式指定）」を参照してください。
拡張コントロールコマンドの仕様については、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。
プリンタの操作パネルでの指定方法は、「書式メニューの設定を変更する」（164ページ）を参照してください。

◆用紙のセット

単票の場合は、シートガイドを右端に突き当てます。
連続紙（リア引っ張り）の場合は､後方から見て右側のピントラクタを左端に突き当てます。
連続紙（リア押し込み）の場合は､後方から見て左側のピントラクタを右端に突き当てます。
連続紙（フロント押し込み）の場合は、左側のピントラクタを右端に突き当てます。
カットシートフィーダ（オプション）を使用する場合、用紙ガイド（左）を右端に突き当てます。
詳細は、「4　用紙の取り扱い」（95ページ）を参照してください。

◆印刷

コンピュータから印刷データを送ると、指定した書式に従い印刷を開始します。書式モード中は、「書式」ランプが点灯します。

ML8340SEなど他の機種用に作成した書式を、このプリンタで印刷した場合、印字位置が異なる場合があります。

書式モードを解除するには、コントロールコマンドで指定するか、書式メニューで「カヘンショシキセンタク」の設定値を「ショシキ　ナシ」にします。
コントロールコマンドの詳細は、拡張コントロールコマンドの仕様の「STX Q（書式指定）」を参照してください。
拡張コントロールコマンドの仕様については、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。
プリンタの操作パネルの操作方法は、「書式メニューの設定を変更する」(164ページ)を参照してください。

◆書式メニューの設定を変更する

登録した可変書式の選択や削除などをプリンタの操作パネルから設定できます。

1. オフライン状態で［機能切替］と［高複写］を押して、「ショシキ　セッテイ　モード」を表示させます。
2. ［改頁］または［改行］を押して、項目を選びます。
3. ［印字可］または［機能切替］を押して、設定値を選びます。
4. ［自動給紙］と［用紙ロード］を押して、設定値をセットします。

   引き続き別の項目をセットする場合は2に戻ります。
5. 設定を終了する場合は、［用紙ロード］を押します。

網かけ部は工場出荷時の設定

項番	項　目	設定値	機　能
1	カヘン　ショシキ　センタク	トウロク　ショシキ　ナシ （ショシキ　ナシ） （デバイス名：書式名）	プリンタ内蔵メモリに記憶している書式の中から、印字する書式を選択します。 （　）は、書式が登録されている場合に表示されます。書式モードを解除して通常モードにするには、「ショシキ　ナシ」を選択します。
2	カヘン　ショシキ　サクジョ ✎	トウロク　ショシキ　ナシ （デバイス名：書式名）	登録済みの書式を削除します。（　）は、書式が登録されいてる場合に表示されます。
3	ページ　クギリ　モジ	ナシ ?、@（、は区切り文字ではない）	ページ区切り文字を選択します。
4	ギョウ　クギリ　ケイシキ	data LF "data" !data! &data& ;data;	行区切り文字を選択します。
5	ショシキ　インジ　イチ	5320Sモード 8340Sモード	書式印字を行う場合、水平方向の印字位置を5320Sに合わせるか8340Sに合わせるか選択します。 このプリンタは、5320Sに合わせてください。

✎ 選択している書式を削除すると、「カヘン　ショシキ　センタク」は「トウロク　ショシキ　ナシ」または、「ショシキ　ナシ」になります。

6　ネットワークに接続する

ネットワークに接続する

このプリンタは、イーサネット環境で使用するためのプリントサーバを装着しています。プリントサーバをネットワークに接続すれば、ネットワークユーザが利用できるようになります。

このプリンタに装着されているプリントサーバは
サイレックス・テクノロジー株式会社
PRICOM 3100Aプリントサーバ です。

コンピュータは、初めの設定ではパラレルインタフェースに接続できるようになっています。イーサネットインタフェースを使用するには、プリンタのメニューによる設定が必要です。
パラレル接続ケーブルとイーサネット接続ケーブルを同時に接続できますが、インタフェースを自動的に切り替えることはできません。

6章

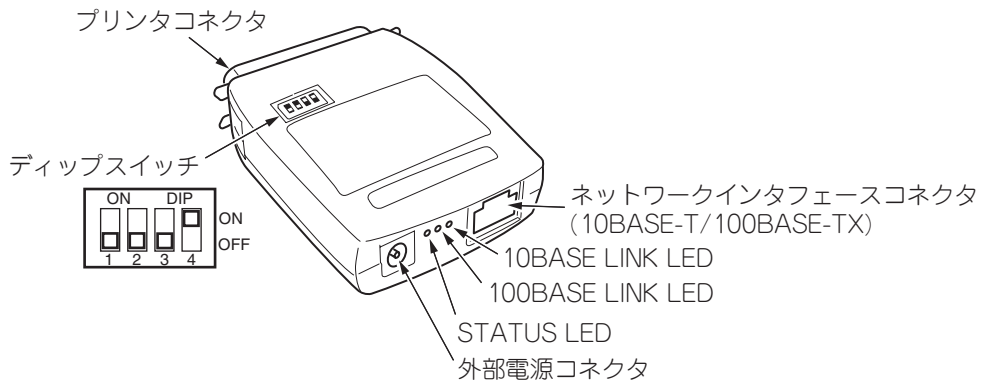
- プリントサーバの電源はプリンタ本体から供給されます。外部電源は添付されていませんので、プリンタの電源スイッチでON/OFFしてください。
- EtherTalk環境ではご使用になれません。
- プリントサーバのユーザーズマニュアル等はSilex社の標準品を添付しています。一部、本プリンタにあてはまらない記載もありますが、ご了承ください。
- プリントサーバの保証はプリンタの保証書により行われ、無償保証期間は6ヶ月です。

●付属品の確認

プリンタの付属品の中に、以下のものが揃っていることを確認してください。
もし、足りない場合は、プリンタをお買い上げの販売店に連絡してください。

- PRICOM 3100セットアップガイド
- IPv6説明文
- CD-ROM（SX User Software）
- プリントサーバテストページ

●各部の名称と機能

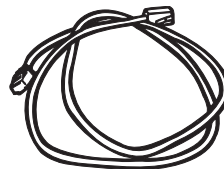
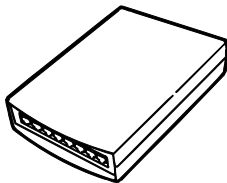
詳細は、プリントサーバユーザーズマニュアルを参照してください。

注
- 外部電源コネクタは、本プリンタでは使用しません。
  外部電源を接続しないでください。
- ディップスイッチ4は、常にONのまま使用します。「OFF」にするとプリントサーバへ電源が供給されず、ネットワークで使用できなくなります。

6章

●ネットワークへの接続に必要なもの

プリントサーバを接続するためには、次の装置とケーブルが必要です。
これらの製品は、必要に応じてネットワーク製品取扱い店でお買い求めください。

- ハブ
- イーサネットケーブル

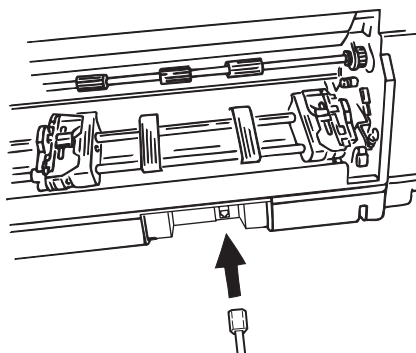
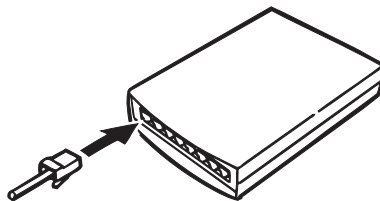
  （カテゴリ5、ツイストペアケーブル、ストレート）

●プリンタの設定

イーサネット環境で使用する場合は､プリンタのメニュー設定で｢インタフェースセンタク｣を「イーサネット」に設定してください。（141ページ）「イーサネット」に設定されているときは、プリンタの表示パネル上段の右端に「＊」が表示されます。

- 「イーサネット」に設定すると、パラレルインタフェースは使用できません。
- 「＊」は、アラーム状態および用紙なしのときは表示されません。

●ネットワークへの接続

注 プリンタのメニューで「インタフェースセンタク」が「イーサネット」になっていることを確認してください。

1 イーサネットケーブルをプリントサーバ（プリンタに内蔵）のネットワークインタフェースコネクタに差し込みます。

2 ハブにケーブルのもう一方を接続します。

3 プリンタの電源スイッチを「ON」にします。

4 プリントサーバテストページがプリンタに添付されていますので、"Node address: 00:80:92:XX:XX:XX"、"Print server name: "を確認します。

```
%!PS-Adobe-2.0
/Courier findfont 10 scalefont setfont
/LEFT 36 def
/TOP 750 def
/PITCH 12 def
/LF {show /x LEFT def /y y PITCH sub def x y moveto} def
/x LEFT def /y TOP def x y moveto

( PRICOM 3100 Version 1.3.0                                   ) LF
( Copyright (C) 2002-2007 silex technology, Inc.              ) LF
(                                                             ) LF
( *** Diagnostic report ***                                   ) LF
(    ROM Check : OK  stat: C62E FFFF 0000 0000                ) LF
(    RAM Check : OK  stat: 0000 0000 0000 0000                ) LF
(    NIC Check : OK  addr: 00:80:92:3D:00:9E                  ) LF
( EEPROM Check : OK  stat: 85E8 85E8 0000 0000                ) LF
(                                                             ) LF
(       DIPSW1 : OFF(ON:Test use only)                        ) LF
(       DIPSW2 : OFF(ON:Initialize configuration)             ) LF
(       DIPSW3 : ON (ON:Diagnostic/Configuration print)       ) LF
(       DIPSW4 : OFF(ON:Reserved)                             ) LF

showpage
%%EOF
```

"Node address"

```
%!PS-Adobe-2.0
/Courier findfont 10 scalefont setfont
/LEFT 36 def
/TOP 750 def
/PITCH 12 def
/LF {show /x LEFT def /y y PITCH sub def x y moveto} def
/x LEFT def /y TOP def x y moveto

(      Filter #3 Start Address          :0.0.0.0              ) LF
(      Filter #3 End Address            :0.0.0.0              ) LF
( << Configure TCP/IP - Rendezvous Configuration >>           ) LF
(      Rendezvous Enable                :ENABLE               ) LF
(      Rendezvous Name                  :"RDV3D009E"          ) LF
( << Configure NetWare >>                                     ) LF
(      NetWare Protocol                 :ENABLE               ) LF
(      Frame Type                       :802.2                ) LF
(      Operation Mode                   :PSERVER              ) LF
(      Printer Name                     :"PR3D009E-prn1"      ) LF
( << Configure NetWare - PSERVER Mode >>                      ) LF
(      Print Server Name                :"PR3D009E"           ) LF
(      Login Password                   :"********************************") LF
(      Job Polling(sec.)                :4                    ) LF
(      Bindery Mode                     :ENABLE               ) LF
( << Configure NetWare - PSERVER Mode - File Server >>        ) LF
(      FSERVER Name 1                   :""                   ) LF
(      FSERVER Name 2                   :""                   ) LF
(      FSERVER Name 3                   :""                   ) LF
(      FSERVER Name 4                   :""                   ) LF
(      FSERVER Name 5                   :""                   ) LF
(      FSERVER Name 6                   :""                   ) LF
(      FSERVER Name 7                   :""                   ) LF
(      FSERVER Name 8                   :""                   ) LF
( << Configure NetWare - PSERVER Mode - NDS >>                ) LF
(      NDS Tree                         :""                   ) LF
(      NDS Context                      :""                   ) LF
( << Configure NetWare - RPRINTER Mode >>                     ) LF
(      PSERVER Name 1                   :""                   ) LF
```

"Print server name"

注 プリントサーバテストページはテスト印刷で何度でも出力できます。(171ページ)

5 プリントサーバのセットアップを実行します。

セットアップ方法は、使用するネットワーク環境（NetWare、Windows、UNIX、Web）により異なります。詳細は、付属CD-ROM（SX User Software）内のPRICOM3100 Users Manualをご覧ください。

6章

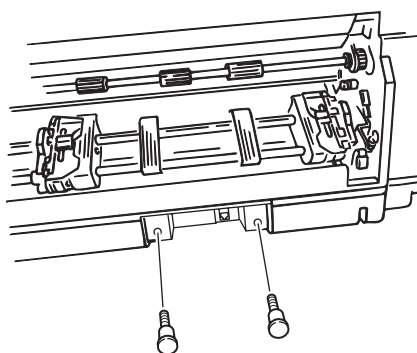
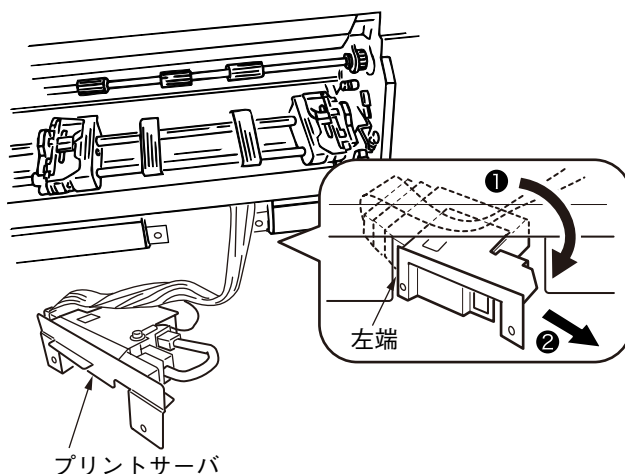
●プリントサーバの取り外し

注 必ず、プリンタの電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。

1 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 イーサネットケーブルを外します。

3 プリントサーバを取り付けているねじを外します。

取り外したねじはプリントサーバを取り付けるまで、大切に保管してください。

4 プリントサーバを左端を支点に回転させるようにして、プリンタ本体から引き出します。

取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。

●テスト印字をするには

プリントサーバの設定内容（設定情報、自己診断結果）を印字することができます。テスト印字には、15インチ幅の連続紙を使用します。

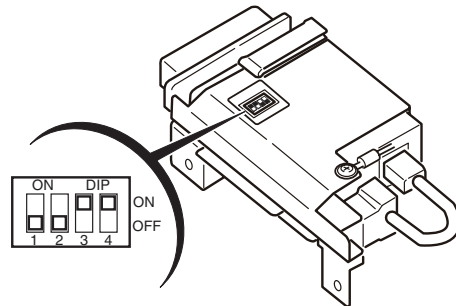
注
- 必ず、プリンタの電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- プリンタのメニューで「インタフェースセンタク」が「イーサネット」になっていることを確認してください。
- プリントサーバのディップスイッチ4は「ON」のままです。「OFF」にしないでください。（プリントサーバのマニュアルとは記載が異なります）

1 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 イーサネットケーブルを外します。

3 プリントサーバを取り出します。

注 プリンタ本体との接続ケーブルは外さないでください。

4 プリントサーバのディップスイッチ 3 を「**ON**」にします。

5 プリンタの電源スイッチを「**ON**」にします。

6 「**単票／帳票**」スイッチを押して連続紙モードにし、「**機能切替**」+「**単票／帳票**」スイッチを押して使用するトラクタを選択します。

7 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

8 プリントサーバのディップスイッチ3を「OFF」にし、4が「ON」になっていることを確認し、プリントサーバをプリンタに取り付けます。

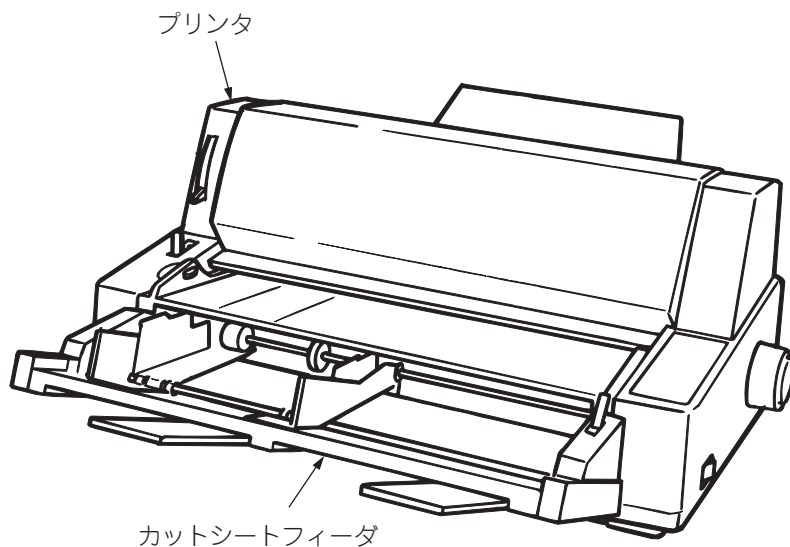
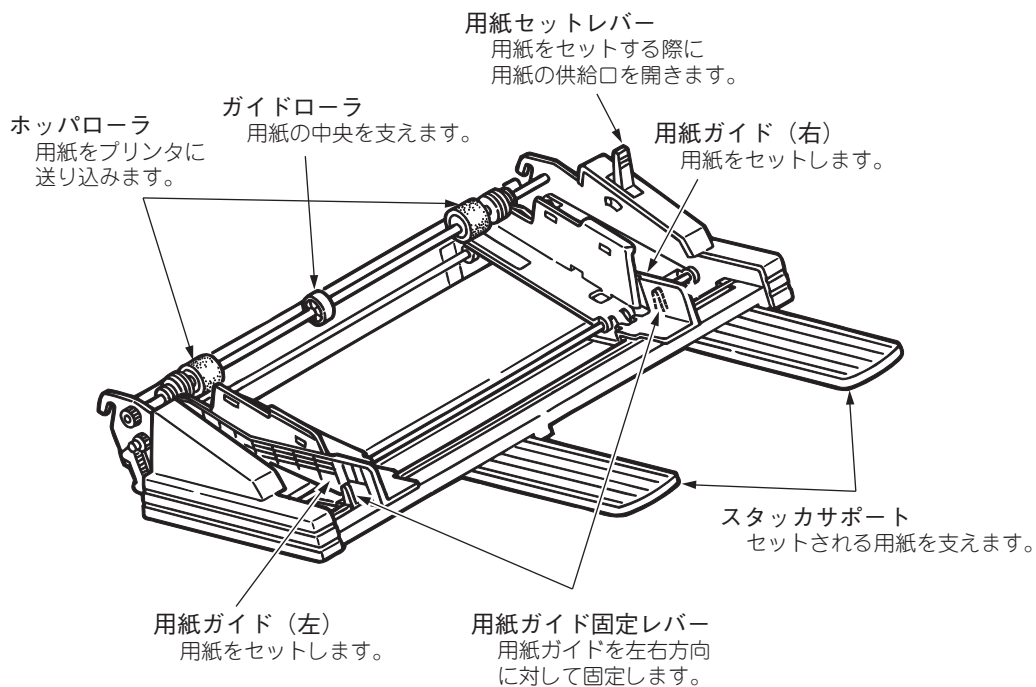
取り付けは、取り外しの逆の手順で行います。

7 オプション

～取り付けから使い方まで～

カットシートフィーダ

プリンタにカットシートフィーダ（CSF）を取り付けることにより、単票, はがきおよび複写紙を自動的に連続給紙できます。

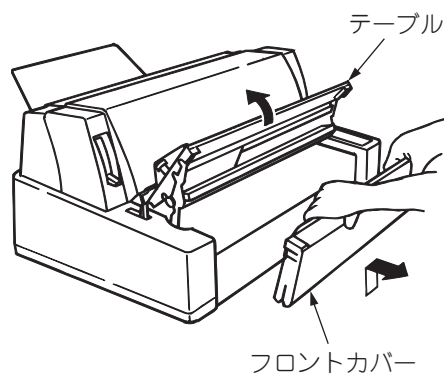
●外観と各部の名称

プリンタに取り付けた図

●カットシートフィーダの取り付け, 取り外し

注 カットシートフィーダの取り付け、取り外しは、必ずプリンタの電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。

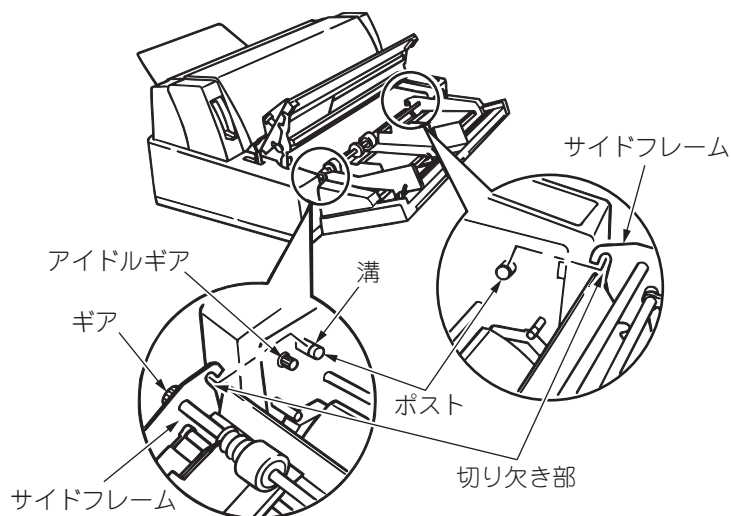
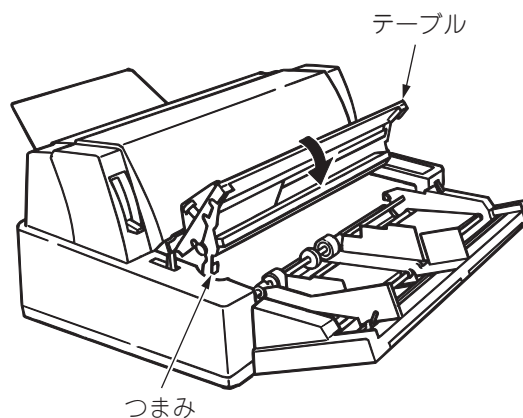
1 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にします。

2 テーブルを開き、フロントカバーをまっすぐ上に引いて取り外します。

注 取り外したフロントカバーは使用しませんので、大切に保管してください。

3 カットシートフィーダを両手で持ち、サイドフレームの切り欠き部分をプリンタ両サイドのポストに差し込みます。

このとき、左側のサイドフレームとポストの溝を合わせます。

4 ポストを支点にして押し下げます。このとき、左側のギアがアイドルギアと噛み合っていることを確認します。

7
章

テーブルを閉じます。

注　テーブルを閉じるときは、テーブルを上に持ち上げ、左の支柱の青いつまみを押すと自動的に閉じます。このとき、手で押し下げるなどの無理な操作を行わないでください。故障の原因となります。

カットシートフィーダの取り外しは、取り付けの逆の手順で行います。

●単票のセット

用紙をまとめてカットシートフィーダにセットします。
次の手順に従って、用紙をセットしてください。

- 使用できる用紙は、単票, はがきおよび複写紙です。封筒は使用できません。
  用紙の挿入方向, 用紙の規格については、「用紙規格および印字範囲」（224ページ）を参照してください。
- シートスタッカの容量は、用紙厚さにして16mm程度（連量55kg紙で約200枚）です。容量を超えて使用すると、用紙ジャムの原因になります。

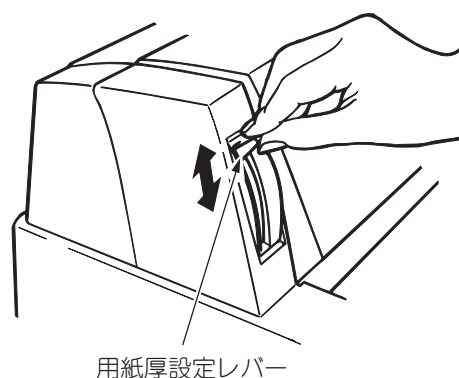
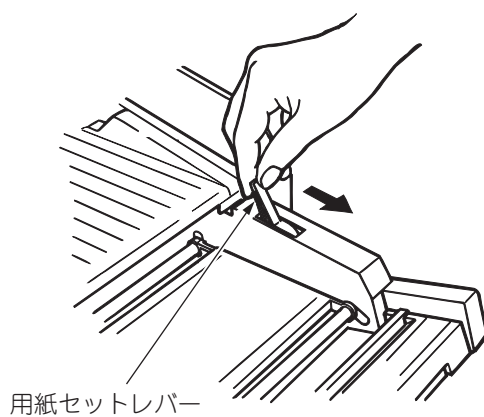
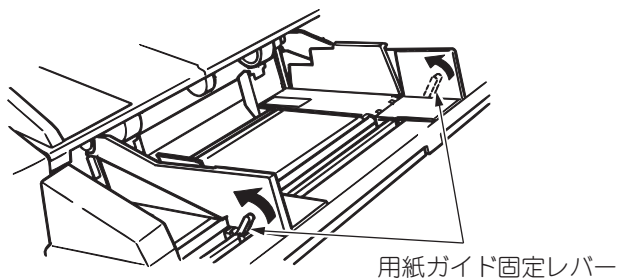
1 電源スイッチを「**ON**」にします。

2 オフライン状態で「**単票／帳票**」のスイッチを押して"CSF" にします。

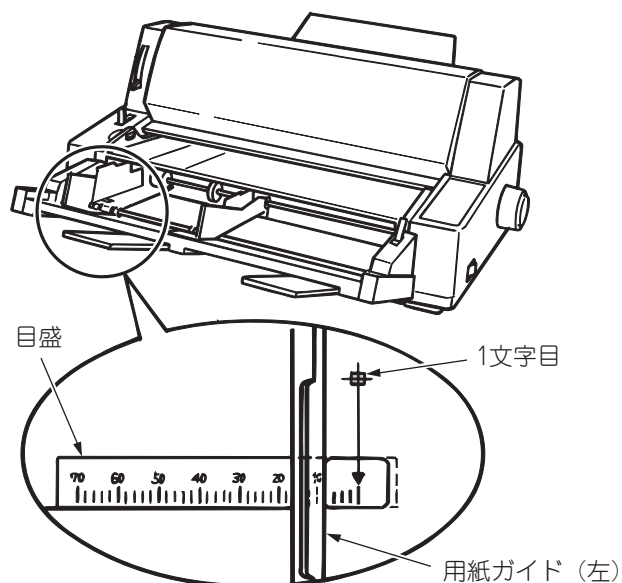
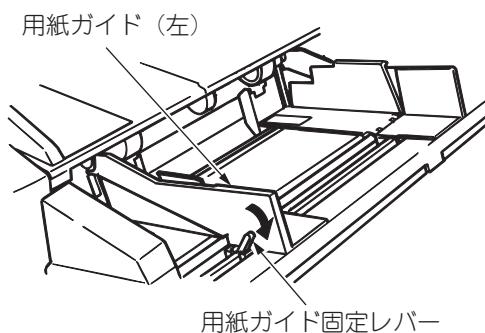
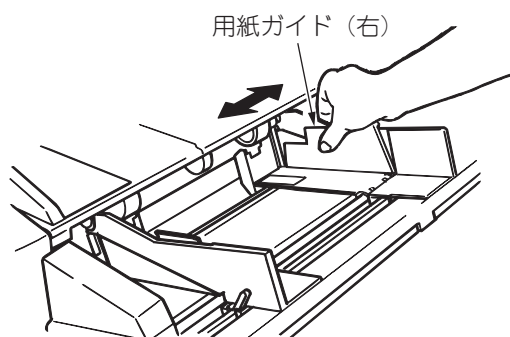
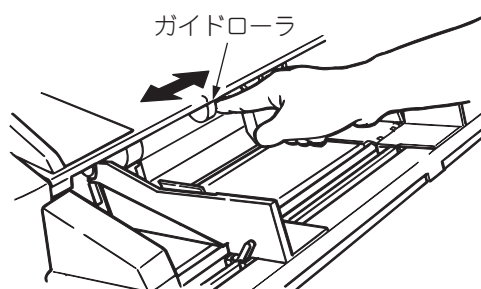
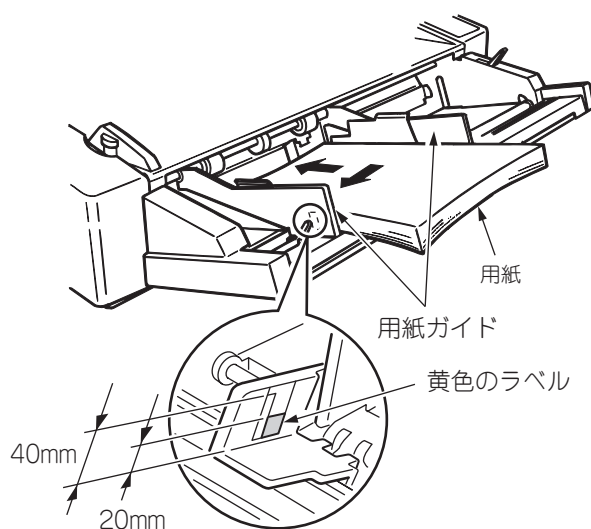
オ	ン	ラ	イ	ン					ツ	ウ	シ	゛	ョ	ウ	
C	S	F													

3 用紙厚調整レバーを「**自動**」に合わせます。

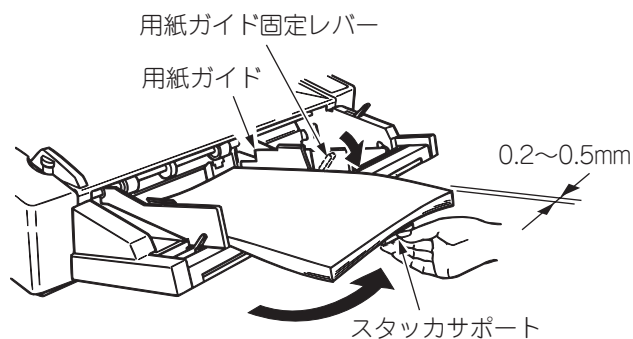
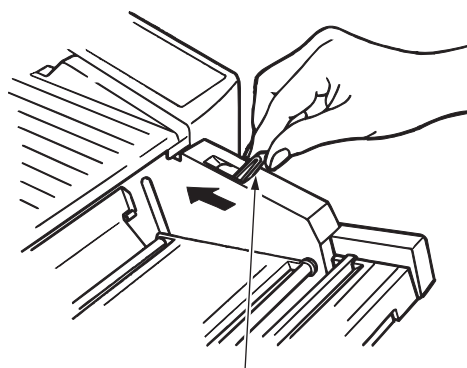
用紙の厚さが一様でない特殊用紙を使う場合は用紙厚設定レバーの調整が必要です。「用紙の厚さに応じた調整方法」(126ページ)を参照してください。

7
章

用紙セットレバーを「**RESET**」にします。

左右の用紙ガイド固定レバーを「**RELEASE**」にします。

6 カットシートフィーダ上の目盛の「▼」マークが1文字目の中心になるように用紙ガイド（左）の位置を決め、用紙ガイド固定レバーを手前側「LOCK」にして固定します。

- 「▼」マークは1文字目の中心を示しています。
- 書式の印刷をする場合は、用紙ガイド（左）を右へ突き当てて固定してください。

注 6.35mmを超えて左へ移動して使用すると、はがきが斜めに吸入される場合があります。

7 用紙ガイド（右）を、セットする用紙の幅よりやや広めの位置まで移動させます。

8 ガイドローラを用紙幅の中央にセットします。

9 用紙は印字する面を表にして、左端を用紙ガイド（左）に合わせて、そのまま奥に突き当たるまでまっすぐ差し込みます。

注
- 用紙はよくさばき、上下左右をそろえてください。
  特に複写紙の場合、のり付けの部分が次の用紙と貼り付いていることがあります。
- 一度にセットできる用紙の最大量は、用紙の総紙厚が40mm以下です。（用紙ガイドの40mmの目印以下です。）
  一般紙の場合、連量55kg紙で約500枚です。
  はがきの場合、官製はがきで約170枚です。
- B4のような大きなサイズや複写紙の場合は、総紙厚20mm以下にしてください。（用紙ガイドの黄色のラベルの目印以下です。）
- 折り目，しわ，傷，反りがあるもの，用紙の角が特殊な形状のものは使用しないでください。
- 紙質，厚さ，大きさの異なる用紙を混ぜて使用しないでください。
- 官製はがきの両面に印字する場合は、片面の印字後、反りをなくしてから反対側の面を印字してください。
  ただし、片面の印字が印刷禁止領域（243ページ参照）にかかる場合、反対面の印字時、センサの検出により正常に印刷できない場合があります。
- 用紙のつぎ足しは行わないでください。
- 封筒は、カットシートフィーダでの使用はできません。

10 用紙ガイド（右）を用紙幅に合わせ､用紙ガイド固定レバーを手前側「**LOCK**」にして固定します。

用紙のサイズおよび長さに応じてスタッカサポートを引き出します。

11 用紙セットレバーを静かに「SET」にします。

いきおいよくセットすると用紙が乱れ、斜めに吸入される原因になります。

以上で、用紙のセットは完了です。

注
- 用紙セットレバーが「RESET」のままで給紙動作を行わないでください。
- 印刷済の用紙が総紙厚約16mmになったらスタッカから用紙を取り除いてください。
- 使用中、用紙の端が不揃いになりましたら、印刷を中止し、もう一度セットし直してください。
- 用紙を長時間カットシートフィーダに放置しないでください。用紙がカールする原因になります。用紙がカールする原因となります。
- カットシートフィーダの給紙の場合、用紙の逆改行量は1回の吸入に対して累計で8.47mm(1/3インチ)以内です。
- 複写紙を使用する場合はシートスタッカ側へ排出してください。逆の場合、用紙の種類によってはジャムの可能性があります。
- 用紙の種類によっては、セットした最後の用紙が印字規格から外れる場合があります。
- オプションのカットシートフィーダご使用時には、最後の用紙の給紙が不安定となることがありますので、最後の用紙は使用しないようにしてください。また、用紙残量が少なくなった場合には、用紙を補充してください。

●自動給紙モードと単票手差しモードの切り替え

カットシートフィーダを取り付けたまま、単票を手差しで給紙できます。
手差し給紙から自動給紙に切り替えることもできます。

1 「**印字可**」スイッチを押し、オフラインにします。

2 「**自動給紙**」スイッチを押し、単票手差しモード/ 自動給紙モードを切り替えます。

●自動給紙モードと連続紙モードの切り替え

カットシートフィーダを取り付けたまま、連続紙を使用できます。

◆連続紙モードへの切り替え

1 単票が残っている場合は、排出します。

2 「**印字可**」スイッチを押してオフラインにします。

3 「**単票／帳票**」スイッチを押し連続紙モードにします。

必要に応じ「機能切替」+「単票／帳票」スイッチで使用するピントラクタを切替えてください。

ヨ	ウ	シ		ナ	シ		リ	ア	P	U	S	H			
ヨ	ウ	シ	ヲ		セ	ッ	ト	シ	テ	ク	タ	゛	サ	イ	

4 連続紙をプリンタにセットします。

給紙方法は「連続紙をセットする」（100ページ）を参照してください。

◆自動給紙モードへの切り替え

1 連続紙をピントラクタまで後退します。

後退させるには、「連続紙の排出方法」（121ページ）を参照してください。
コンカレントモード（125ページ）で使用する場合は用紙を排出する必要はありません。

2 「**印字可**」ランプが消灯していることを確認します。

3 「**単票／帳票**」スイッチを押し、単票モードにします。

4 「**自動給紙**」スイッチを押し、自動給紙モードにします。

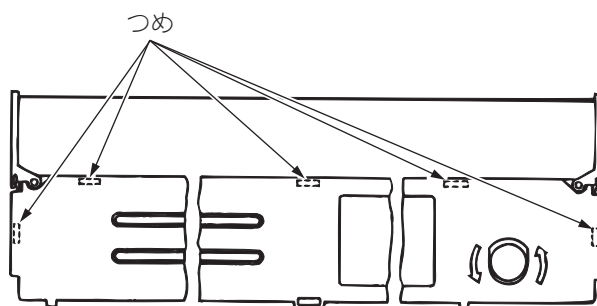
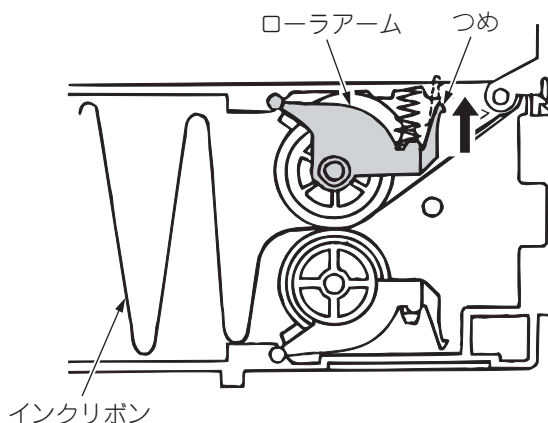
連続紙モードに切り替える前に、自動給紙モードで使用していた場合、自動給紙ランプが自動的に点灯します。

8　こんなときには

～印刷がおかしいとき、エラー表示がでたとき～

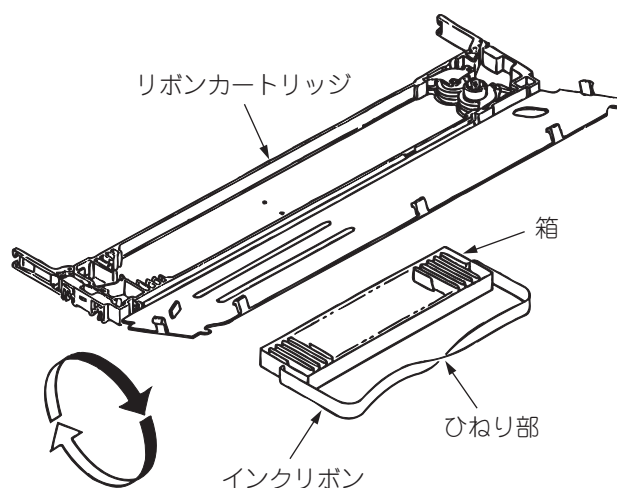
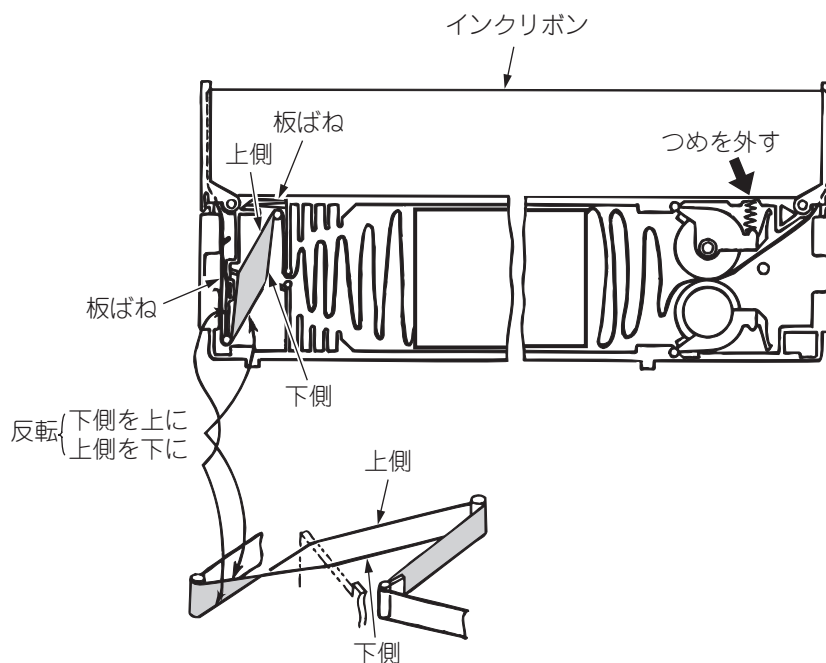
リボンカートリッジ内のインクリボンの交換

印字が薄くなったときには、次の手順でリボンカートリッジ内のインクリボンを交換してください。

1 リボンカートリッジのふたについているつめ（5か所）を外し、ふたを開きます。

2 ローラアームを図の矢印方向に押してつめをフレームに引っ掛けます。

3 使用済のインクリボンを捨て、リボンカートリッジの中および周囲, ローラ周辺のリボンくず, 繊維くずを取り除きます。

- 使用済みのインクリボンは不燃物として処理してください。
- 使用済みのインクリボンの回収を行っています。詳細は「使用済み消耗品の回収について」（267ページ）をご覧ください。

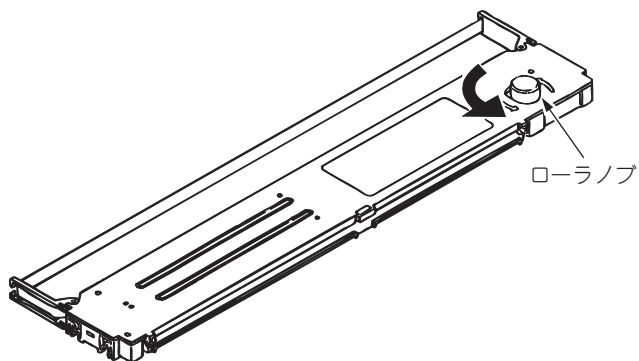
4 新しいインクリボンの包装紙を取り除き、インクリボンを箱から20〜30cm程度引き出します。

5 リボンカートリッジをインクリボンの箱にかぶせて、リボンカートリッジと箱をいっしょに裏返します。

6 インクリボンを図の経路にセットします。

7 リボンカートリッジからインクリボンが飛び出さないように、静かに箱を取り除きます。

8 ローラアームのつめを外します。

9 リボンカートリッジ内でインクリボンが折れたり、ねじれたりしていないか、また、ローラアームがフレームから浮き上がっていないか確認してからふたを閉じます。

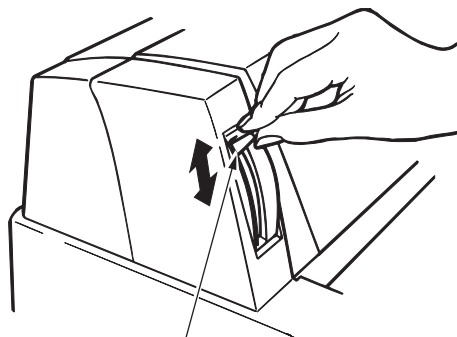
10 ローラノブを矢印方向に回してインクリボンのたるみを取ります。

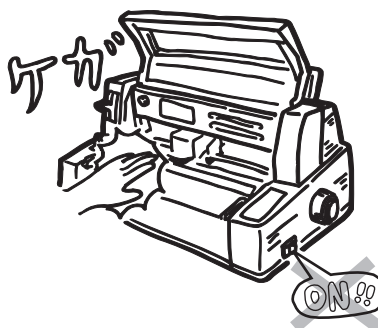
- ローラノブを回したとき、インクリボンが動かなかったり、異常に鈍いときは、再度ふたを開けてインクリボンの経路を確認してください。
- ローラノブを矢印の逆方向に回さないでください。リボンジャムの原因になります。
- インクリボンの交換は1つのリボンカートリッジに対して5回までです。インクリボンを5回交換したら、リボンカートリッジを交換してください。交換の手順は「リボンカートリッジを取り付ける」(17ページ)を参照してください。

- 使用済みのリボンカートリッジは不燃物として処理してください。
- 使用済みのリボンカートリッジの回収を行っています。詳細は「使用済み消耗品の回収について」(267ページ)をご覧ください。

紙づまりしたとき

●単票の場合

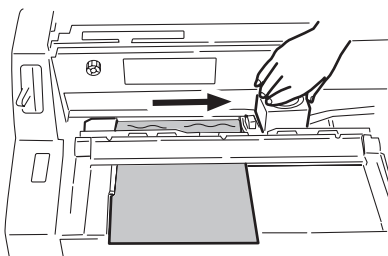
◆単票がプリンタ内部でつまったとき

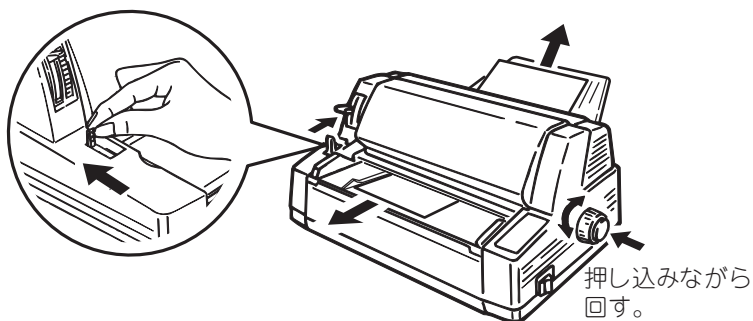
1 用紙厚設定レバーを「**8**」または「**9**」にします。

キャリッジが上下方向にレバー設定位置まで移動します。

2 電源スイッチを「**OFF**」にします。

注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

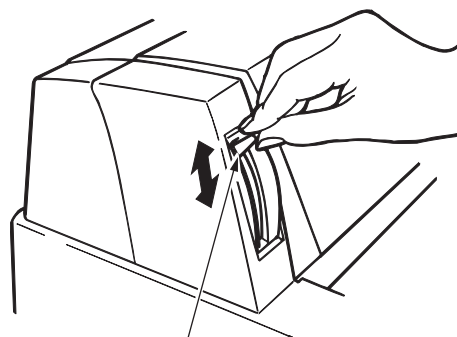
3 印字ヘッドを用紙のないところへ移動させます。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドにはさわらないでください。印字ヘッドの移動は、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

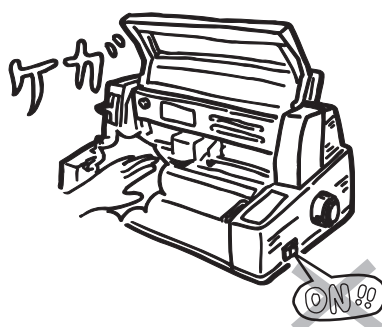
4 開放レバーを「**開放**」にし、プラテンノブを内側に押し込みながら回し、単票を手前または後ろに引き出します。

5 単票がとれたら、開放レバーを「**自動**」に戻します。

6 用紙厚設定レバーを元に戻します。

◆破れた単票がプリンタ内部に残ったとき

1 用紙厚設定レバーを「8」または「9」にします。

用紙厚設定レバー

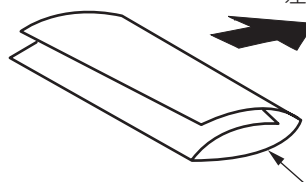
キャリッジが上下方向に、レバー位置まで移動します。

2 電源スイッチを「OFF」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

3 見えている紙くずをピンセットで取り除きます。

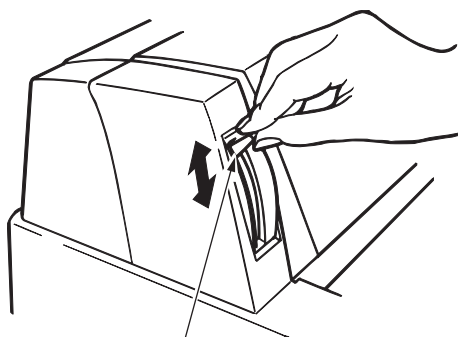
4 3つに折りたたんだ単票をテーブルから差し込みます。

差し込み方向

このように折りたたむ

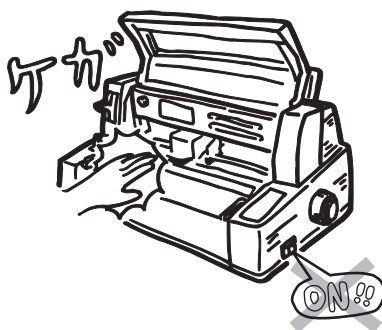
5 プラテンノブを内側に押し込みながら回して単票を送り、つまった紙くずを押し出します。

6 用紙厚設定レバーを元に戻します。

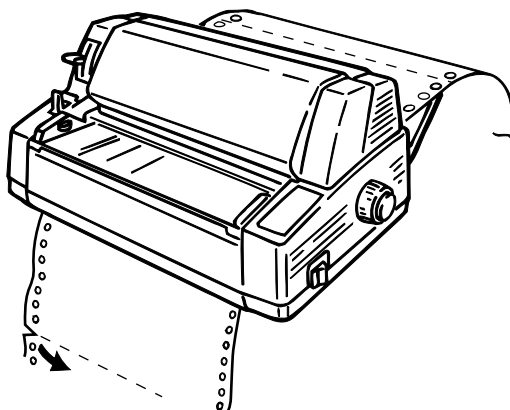
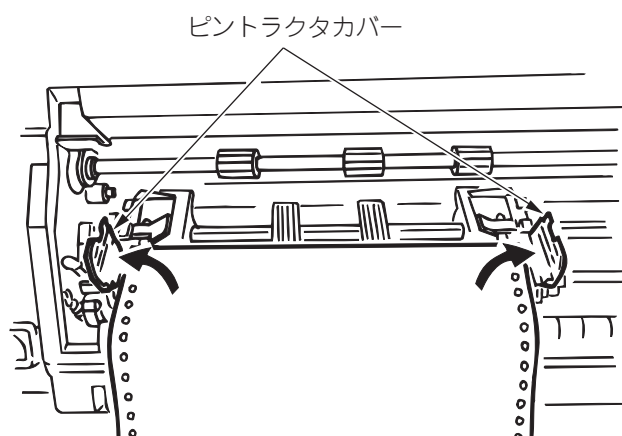
●連続紙の場合

1 用紙厚設定レバーを「**8**」または「**9**」にします。

用紙厚設定レバー

キャリッジが上下方向にレバー設定位置まで移動します。

2 電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

3 印刷前の連続紙を切り取ります。

4 ピントラクタから連続紙を外します。

5 プラテンノブを回しながら、連続紙を手前側または後ろ側に引き出します。

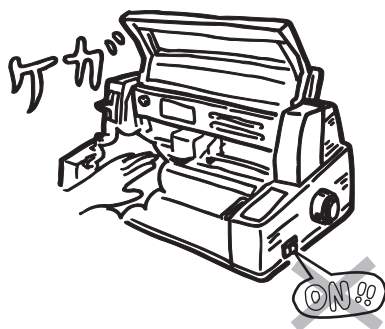
破れた紙くずがプリンタ内部に残ったときは、連続紙を2〜3枚重ねてピントラクタにセットし、プラテンノブを回して、つまった紙くずを押し出してください。

注 リア／フロントPUSHトラクタのときは、プラテンノブを内側に押し込みながら回してください。

6 用紙厚設定レバーを元に戻します。

●カットシートフィーダ（オプション）でつまったとき

1 電源スイッチを「**OFF**」にします。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

電源を入れたままカバーを開けて、作業をしないでください。
プリンタが突然動き出し、ケガをする恐れがあります。

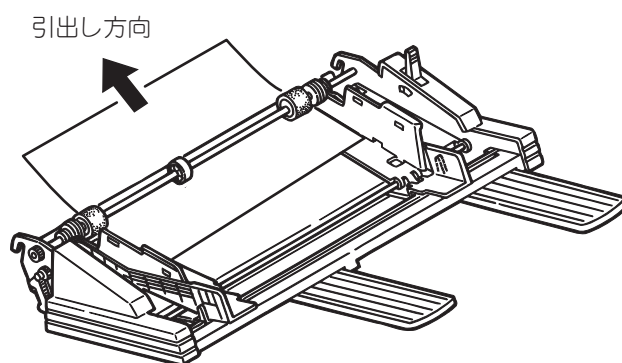
2 カットシートフィーダを取り外します。

「カットシートフィーダの取り付け, 取り外し」（175, 176ページ）を参照してください。

3 用紙を取り除きます。

紙の送られる方向へゆっくり引き出します。

注 逆方向への無理な用紙の引き出しは、機構部のダメージ原因となります。

8章

アラーム表示がでたときは

操作パネルのランプ表示と、その際に必要な操作パネルの操作を下表に示します。

● … 点灯　◒ … 点滅　○ … 消灯

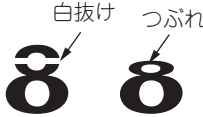
ランプ		パネルの表示	アラームの意味と対処方法
用紙	印字可		
●	○	ヨウシ　ナシ　XXX ヨウシヲ　セットシテクダサイ	用紙が終了しました。新しい用紙をセットし、「印字可」スイッチを押してください。
●	○	ペーパージャム ヨウシヲ　ヌキトッテクダサイ	紙づまりです。つまった用紙を取り除き「印字可」スイッチを押してください。
◒	○	バイタイ　アラーム ヨウシヲ　カクニンシテクダサイ	使用している用紙の種類とプリンタの用紙モード（連続紙, 単票）が違っています。用紙を取り除くか、操作パネルスイッチで用紙モードを切り替えてください。
◒	○	レバー　アラーム レバーヲ　キリカエテクダサイ	開放レバーが「開放」になっています。開放レバーを「自動」に戻してください。
◒	○	タンピョウ　ヌキトリマチ ヨウシヲ　ヌキトッテクダサイ	単票抜き取り待ちです。テーブルの用紙を外してください。
◒	◒	カバーオープン　アラーム カバーヲ　トジテクダサイ	トップカバーが開いています。トップカバーを閉じてください。
◒	◒	ペーパーガイド　アラーム ガイドヲ　ヒライテクダサイ	ペーパガイドが閉じています。ペーパガイドを開いてください。
◒	◒	テーブルオープン　アラーム テーブルヲ　トジテクダサイ	テーブルが開いています。テーブルを閉じてください。
●	○	データ／ドウサ　ホジチュウ ヨウシヲ　セットシテクダサイ または オンラインニ　シテクダサイ	用紙をセットするか、「印字可」スイッチを押すとアラームが解除されます。
◒	○	バイタイ　キリカエ　チュウ タンピョウ　ヌキトリマチ または チョウヒョウ　ジョキョマチ	媒体切替中です。 セット済みの用紙を取り除いてください。
●	○	インジＤＵＴＹ　アラーム ブンカツインジチュウデス	高密度印字のため、分割印字をしています。 高密度印字が終了したら正常に戻ります。

XXXは給紙ルートを示しています。

8章

●…点灯　◒…点滅　○…消灯

ランプ		パネルの表示	アラームの意味と対処方法
用紙	印字可		
○	●	ヘッドサーマル カタホウコウインジチュウデス または シバラク　オマチクダサイ	印字ヘッドが温度アラームになっています。 印字ヘッドの温度が下がると正常に戻ります。
○	●	ＳＰモータ　サーマル シバラク　オマチクダサイ	スペースモータが温度アラームになっています。 スペースモータの温度が下がると正常に戻ります。
○ または ●	○ または ●	ショシキ　サムチェック　アラーム インジカＳＷ→アラームＯＦＦ	書式を登録している不揮発性メモリ内に異常が発生し、登録書式を削除しました。 全書式を登録し直してください。
○	○	インジカイシイチ　セッテイ ホセイハンイ　オーバー	1文字目印字位置設定可能範囲を超えました。改行または微少改行を行ってください。
○ または ●	○ または ●	パワーセーブ	低消費電力モード中です。 アラーム表示ではありません。そのままお使いください。
用紙	書式		
◒	◒	エラー　ｎｎｎｎ パワーＯＦＦ　シテクダサイ または ガイドヲ　ヒライテクダサイ	復旧不可能アラームです。リボンカートリッジが正しく取り付けられているか確認し、インクリボンが外れていたり、リボンカートリッジの取り付けが正常でない場合、再度取り付け直してください。（17ページ参照） その後、キャリッジ部がなめらかに移動することを確認し、電源を入れ直してください。 電源を入れ直しても再度エラーになる場合は、お客様相談センターにご連絡ください。

⚠注意	ケガをする恐れがあります。	

- つまった用紙を取り除くには、必ず電源スイッチを「OFF」にしてから行ってください。
- 印字直後は、印字ヘッドが高温になっています。絶対に触らないでください。やけどをする場合があります。

8章

こんなときには

プリンタが思うように動作しなかった場合は、ここに記載してある項目を探し、適切な処置を行ってください。

現　象	原　因	処　置
電源が入らない		
電源が入らない。	電源コードが正しく接続されていません。	プリンタ側，コンセント側ともしっかりと差し込んでください。
	電源コンセントの異常または停電の可能性があります。	他の電気製品を同じコンセントに差し込んで、正常に動作するか確認してください。
印刷しない		
印字可ランプが消灯している。	印刷停止の状態です。	「印字可」スイッチを押してください。
	用紙がセットされていません。	用紙をセットしてください。
印字可ランプは点灯しているが印刷しない。	I/Fケーブルが外れています。	正しく接続し直してください。（30ページ参照）
	I/Fケーブルがホストコンピュータやプリンタと合っていません。	仕様に合ったケーブルをお使いください。（217ページ参照）
印字ヘッドは動いているが、印刷しない。	リボンカートリッジが取り付けられていません。	リボンカートリッジを取り付けてください。（17ページ参照）
印刷が遅くなった		
突然印刷が遅くなったり、片方向印字、印刷動作の休止になった。	印字ヘッドが高温になると、温度を下げるために印字速度が遅くなったり、片方向印字、一定時間動作の休止を行うことがありますが、故障ではありません。	印字ヘッドの温度が下がると、自動的に元の動作に戻ります。この現象が頻繁に起こる場合には、プリンタの電源を切ってしばらく置いてから印刷を行ってください。
印刷が鮮明でない		
文字が薄い、文字の一部が欠ける。	用紙厚設定レバーのギャップレンジ値が、用紙に合っていません。	用紙厚設定レバーを「自動」の位置に合わせてください。マニュアルギャップ調整を行っている場合は、適切なレンジ位置に合わせてください。（126ページ参照）
	高速印字に設定されています。	通常印字にしてください。（149ページ参照）
	インクリボンの寿命です。	新しいインクリボンに交換してください。
	リボンカートリッジが正しくセットされていません。	正しくセットし直してください。（17ページ参照）
	インクリボンが確実に巻き取られていません。	新しいリボンカートリッジに交換してください。

現　象	原　因	処　置
文字が薄い、文字の一部が欠ける。	リボンフィード動作が行われていません。	お客様相談センターへご相談ください。
文字が、横一列に欠ける。	印字ヘッドのピンが折れています。	お客様相談センターへご相談ください。
印刷結果が画面と異なる		
カタカナがグラフィック文字になる。	コード表が拡張グラフィックスになっています。	ANKコード表をカタカナコードに設定してください。（138ページ参照）
グラフィックがカタカナ文字になる。	コード表がカタカナになっています。	ANKコード表をグラフィックコードに設定してください。（138ページ参照）
全く違う文字や記号で印刷される。	ソフトウェアのプリンタ設定が間違っています。	ソフトウェア上のプリンタ設定を優先順位に従って設定し直してください。（93ページ参照）
	前回印刷したソフトウェアコントロールコードが有効になっています。	プリンタを初期化してください。（144ページ参照）
	送られたソフトウェアコントロールが間違っています。	HEXダンプをとって、データの内容を確認します。（156ページ参照） 間違っている部分をソフトウェア上で直してください。
	I/Fケーブルが外れています。	正しく接続し直してください。（30ページ参照）
用紙の頭出し量（印字開始位置）が上または下すぎる、変わってしまった。	印字開始位置の設定が正しくありません。	プリンタを初期化してください。（144ページ参照）
		単票と連続紙の頭出し位置の設定を行ってください。（136ページ参照）
		1文字目印字位置の設定を行って、頭出し位置を調整してください。（151ページ参照）
		ソフトウェア上で上マージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。
	センサの上に紙粉などがたまっています。	綿棒や掃除機などで除去してください。（207ページ参照）
左右の余白が多い、または少ない。	左右マージンの設定が正しくありません。	シートガイドやピントラクタの位置が適当ではありません。印刷形式に合わせてセットし直してください。
		ソフトウェア上で左右マージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。

8章

現　象	原　因	処　置
連続紙を使用しているときに、1ページ分の印刷が2ページにわたって印刷される。	ソフトウェアのページ長と、実際に使用している用紙が合っていません。	ソフトウェア上のページ長の設定と、使用する用紙のサイズを合わせてください。
単票を使用しているときに、1ページ分の印刷が2ページにわたって印刷される。	ソフトウェア上の用紙設定のサイズと、実際に使用している用紙サイズが合っていません。	ソフトウェア上の用紙設定を、使用する用紙に合わせてください。
	プリンタ側で自動測定されている1ページの印刷可能行数と合っていません。	ソフトウェア上で上下マージンを大きくとってください。
		単票LFピッチを補正してください。（142ページ参照）
1行に印刷されるはずの文字などが、2行にわたって印刷される。	左右のマージンの設定が正しくありません。	ソフトウェア上で左右のマージンが設定できる場合は、正しく設定し直してください。
連続紙を使用しているときに、印刷途中で数行分の空白行ができる。	ミシン目スキップが設定されています。	ミシン目スキップを解除してください。（136ページ参照）
縦罫線がずれる、ガタガタになる。	両方向印刷を行うと、ずれを生じることがあります。	Windowsプリンタドライバの設定で片方向印刷に設定してください。（35, 40, 47, 54, 62, 69, 75, 81, 86, 91ページ参照）
		調整モードのPRINT REGで調整してください。（142ページ参照）
行間隔が広すぎる、または狭すぎる。	改行量の設定が正しくありません。	ソフトウェア上で改行量が設定してある場合は、正しく設定し直してください。
イメージ印字、分割印字について		
イメージ印字で白抜けが入る。 白抜け	用紙送りの誤差です。特に黒ベタ印字で目立ちます。	故障ではありません。
縦倍角などで、白抜けや文字つぶれがでる。 白抜け　つぶれ 8　8	1文字の途中で改行が入るため、用紙送りの誤差がでます。	故障ではありません。 重要な書類や伝票などは、プリンタ内蔵フォント（明朝または明朝倍角）を使用してください。

8章

現 象	原 因	処 置
単票で、うまく紙送りできない		
用紙を給紙しない。	用紙の挿入位置が、右に寄り過ぎています。	シートガイドにそって、用紙をセットしてください。(98ページ参照)
	用紙が突き当たるところまで入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。(98ページ参照)
	用紙の裏が黒いか、プレプリントされています。	プリンタの仕様に合った用紙を使用してください。(243ページ参照)
プラテンは回るが、給紙できない。または、連続紙が給紙されてしまう。	用紙が突き当たるところまで入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。(98ページ参照)
	プリンタが連続紙モードになっています。	連続紙を排出して、プリンタを単票モードにしてください。(124ページ参照)
用紙が曲がって給紙される。	用紙が突き当たるところまで入っていません。用紙がまっすぐ入っていません。	突き当たるところまで用紙を入れてください。(98ページ参照)
	用紙にしわや折り目など、問題があります。	新しい用紙を使用してください。
	用紙が仕様に合っていません。	プリンタの仕様に合った用紙を使用してください。(237ページ参照)
	開放レバーが「開放」になっています。	開放レバーを「自動」にしてください。
用紙が排出できない。	「改行」スイッチを押しています。	「改頁」か、「用紙ロード」スイッチを押してください。
「用紙」ランプが点滅したままの状態、または給紙がうまくできない。	センサの上に紙片や紙粉などがあります。	綿棒や掃除機などで除去してください。(207ページ参照)
連続紙で、うまく紙送りできない		
改行しない、用紙が送られない。	用紙がピントラクタから外れています。	用紙を正しくセットし直してください。(100ページ参照)
	用紙厚設定レバーのギャップレンジ値が、用紙に合っていません。	用紙厚設定レバーを「自動」にしてください。マニュアルギャップ調整を行っている場合は、用紙の厚さに合わせてください。(126ページ参照)
用紙が曲がって給紙される。または、プリンタの中で引っ掛かってしまう。	用紙の両端の穴が、左右ずれた状態でセットされています。	用紙の穴が左右平行になるようにセットしてください。(100ページ参照)
	左右のピントラクタの幅が狭すぎ、用紙がたるんでいます。	ピントラクタの位置を調整して、用紙のたるみを取ってください。(104, 109, 112ページ参照)

現　象	原　因	処　置
用紙が曲がって給紙される。または、プリンタの中で引っ掛かってしまう。	用紙がプリンタに対して、まっすぐ給紙されていません。	まっすぐ給紙されるよう、用紙の位置を動かしてください。 (100ページ参照)
	用紙が何かに引っ掛かっています。	引っ掛かっているものを取り除いてください。
	用紙の置いてある位置が遠すぎます。	プリンタの近くへ用紙を動かしてください。(113ページ参照)
	用紙が仕様にあっていません。	プリンタの仕様にあった用紙を使用してください。(226ページ参照)
印刷の途中で、数行分の空白ができる。	ミシン目スキップが設定されています。	ミシン目スキップを解除してください。(136ページ参照)
ミシン目スキップを設定したが、実際のミシン目とずれてしまう。	ソフトウェアのページ長と、実際に使用している用紙が合っていません。	ソフトウェア上のページ長の設定と、使用する用紙のサイズを合わせてください。 ソフトウェア上で、行単位に設定します。
「用紙」ランプが点滅したままの状態、または給紙がうまくできない。	センサの上に紙片や紙粉などがあります。	綿棒や掃除機などで除去してください。 (207ページ参照)
単票と連続紙の切り替えがうまくいかない		
単票が給紙できない。	プリンタが連続紙モードになっています。	Windowsプリンタドライバの設定で、使用する印字用紙に合った給紙方法を設定してください。 (34, 39, 46, 53, 61, 68, 74, 80, 85, 91ページ参照)
		「用紙モード」スイッチを押して単票モードにします。
連続紙が給紙できない。	プリンタが単票モードになっています。	Windowsプリンタドライバの設定で、使用する印字用紙に合った給紙方法を設定してください。 (34, 39, 46, 53, 61, 68, 74, 80, 85, 91ページ参照)
		「用紙モード」スイッチを押して連続紙モードにします。
連続紙と一緒に単票も給紙されてしまう。	単票が排出されていません。	単票を排出してください。 (99ページ参照)

現　象	原　因	処　置
カットシートフィーダ（CSF）を使用して、うまく紙送りできない		
CSFが動作しない。	CSFが正しくセットされていません。	CSFを正しくセットし直してください。（175ページ参照）
	連続紙モードになっています。	Windowsプリンタドライバの設定で、使用する印字用紙に合った給紙方法を設定してください。（34, 39, 46, 53, 61, 68, 74, 80, 85, 91ページ参照）
		自動給紙モードにしてください。（185ページ参照）
	単票手差しモードになっています。	Windowsプリンタドライバの設定で、使用する印字用紙に合った給紙方法を設定してください。（34, 39, 46, 53, 61, 68, 74, 80, 85, 91ページ参照）
		自動給紙モードにしてください。（183ページ参照）
用紙を給紙しない。	用紙がCSFにセットされていません。	用紙をセットしてください。（177ページ参照）
	用紙セットレバーが「RESET」になっています。	用紙セットレバーを「SET」にしてください。（182ページ参照）
	CSFの左右の用紙ガイドの間隔が狭すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。（181ページ参照）
	セットしている用紙が厚すぎます。	仕様に合った用紙を使用してください。（224ページ参照）
	最後の1枚は給紙できないことがあります。	用紙を補給してください。（177ページ参照）
一度に2枚以上給紙される。	CSFにセットされている用紙が少なすぎるまたは、多すぎます。	セットしている用紙を適量にしてください。（180ページ参照）
	用紙が密着しています。	用紙をよくさばいてから、セットしてください。（181ページ参照）
	CSFの左右の用紙ガイドの間隔が、狭すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。（181ページ参照）
	大きさの違う用紙を入れています。	同じサイズの用紙だけをセットしてください。（181ページ参照）
	用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（224ページ参照）

現　象	原　因	処　置
用紙が曲がって給紙される。	用紙に折り目やしわがあります。	新しい用紙にかえてください。
	CSFの左右の用紙ガイドの間隔が、広すぎます。	左右の用紙ガイドを正しくセットし直してください。（181ページ参照）
	用紙が仕様に合っていません。	仕様に合った用紙を使用してください。（224ページ参照）
	用紙セットレバーが「RESET」になっています。	用紙セットレバーを「SET」にしてください。（182ページ参照）
うまく排出できない。	排出した用紙が溜まりすぎています。	用紙を取り除いてください。（182ページ参照）

9　定期清掃のしかた

プリンタを良好な状態で使用できるように、定期的または必要に応じて清掃をしてください。
汚れにより、本来の機能が損なわれることがあります。

プリンタの清掃のしかた

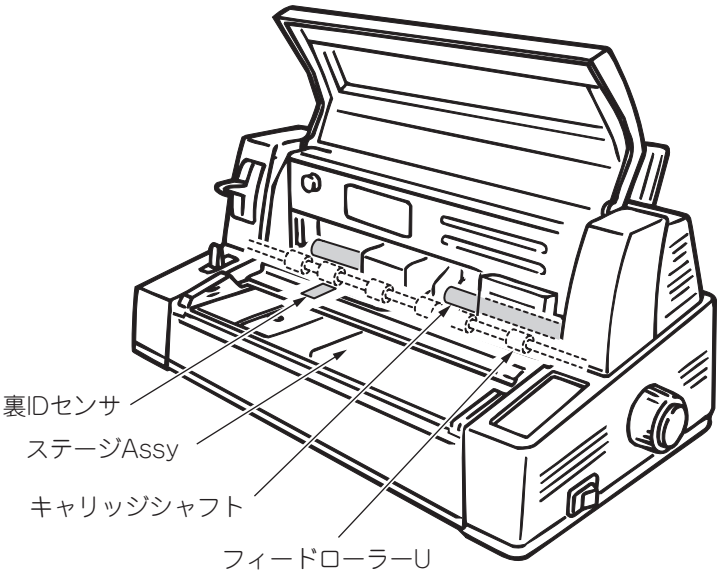
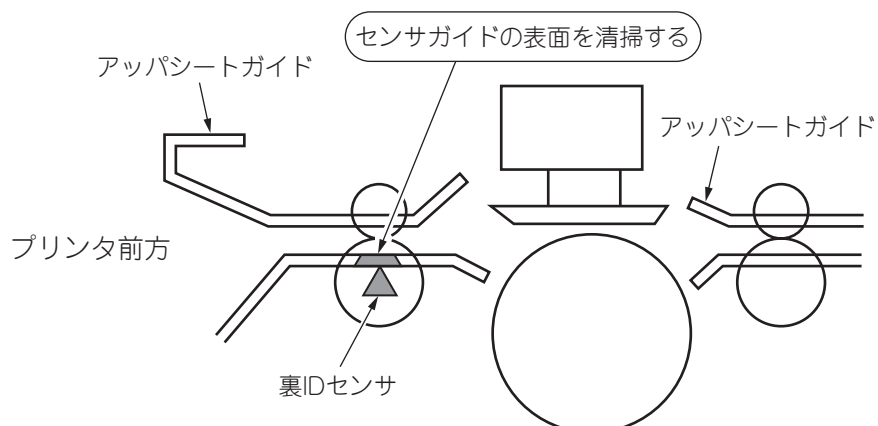
◆清掃

注
- 清掃は電源スイッチをOFFにしてから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。
- 印字直後は印字ヘッドおよびその周辺が高温になっていますので、印字直後の清掃は避けてください。

次表の項目にしたがって、定められた周期または必要に応じてプリンタの清掃を行ってください。
（その他のプリンタ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。）

実施周期 ： 稼働時間が6か月または300時間の中でいずれか早いほう
使用工具 ： ウエス（ガーゼなどの柔らかい布）、筆や綿棒、掃除機

清掃箇所	清掃内容
キャリッジシャフトおよび周辺	用紙くずを取り去り、汚れ，ほこり，リボンくずなどをふき取る。
用紙走行面	
裏IDセンサ	センサに付着したほこりや紙粉を筆や綿棒、掃除機などで除去する。

9章

○裏IDセンサ
　センサガイド面を清掃してください。

○プリンタ内部にある各種センサの清掃については、サービスマンにご依頼ください。

◆注油

注 プリンタへの潤滑油の注油は行わないでください。プリンタの故障の原因となることがあります。
（プリンタの注油、分解についてはサービスマンにご依頼ください。）

●カットシートフィーダの清掃のしかた

◆清掃

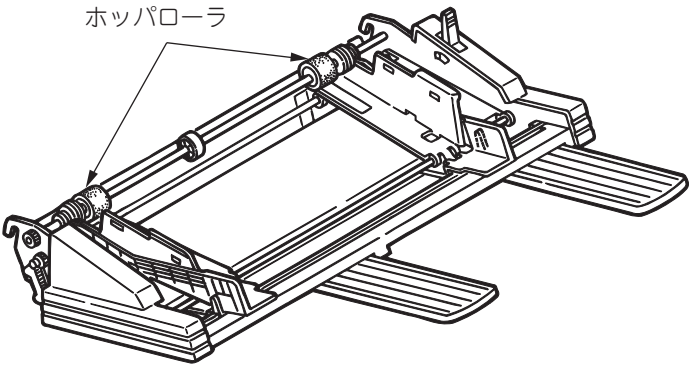
装置の設置環境/使用状況によりスキュー/ホッピングミスが発生する場合があります。その場合、以下の内容にてホッピングローラ汚れの清掃を行ってください。

- 清掃は電源スイッチをOFFにし、カットシートフィーダを本体から外してから行ってください。
- 用紙くずなどは機構内部に入らないようにしてください。

次表の項目にしたがって、カットシートフィーダの清掃を行ってください。
(本項目以外の清掃を行った場合には障害の発生する可能性がありますので行わないでください。なお、カットシートフィーダ内部の清掃についてはサービスマンにご依頼ください。)

使用工具 ： ウエス（ガーゼなどの柔らかい布)、アルコール（エタノール)

清掃箇所	清掃内容
左右一対のホッパローラ	用紙くずを取り去り、油等の汚れ, ほこりなどをアルコール（エタノール）を軽く含ませたウエスで拭き取り、その後乾いたウエスでホッピングローラ面の乾拭きを行う。

9
章

プリンタ仕様

印字方式	ドットマトリクスインパクト
ドットワイヤ径	0.2mm
ドットワイヤ数	24ピン　2段積層構造
印字方向	両方向印字
改行時間	1/6インチ改行のとき … 1改行 約50ms
改行速度	約6インチ／秒
紙送り制御	フォームフィード　機能有り 垂直タブ　機能有り ダイレクトスキップ　機能有り
複写能力	通常印字モード時　：オリジナル＋5枚（用紙厚合計　0.36mm以下） 高複写印字モード時：オリジナル＋7枚（用紙厚合計　0.48mm以下）
印字ヘッド使用条件	1ピン当り平均 110ドット／秒以下（ただし、4分間ごとの平均）
紙送り方向	フロントパス方式,リアパス方式
紙送り方式	フリクションフィード方式 ピントラクタフィード方式（押込型，引張型）
連続紙ペーパエンド検出方法	フロント押し込みトラクタ　：約120mm リア押し込みトラクタ　：約　92mm リア引っ張りトラクタ　：約　53mm
媒体仕様	「用紙規格および印字範囲」（224ページ）を参照してください。
インクリボン（沖データ純正品）	カートリッジ：専用カートリッジ インク　：黒単色 寿　命　：パイカサイズ　HS ANK 1000万字
外形寸法	668mm(W)×415mm(D)×310mm(H)
重　　量	約34kg
入力電源	単相交流　100V±10%（50/60Hz±1Hz）
消費電力	動作中：最大 約390W（漢字ローカルテスト印字時 約225W） 待機時：約15W以下（低消費電力モード時）
電源コード	3極ACコード（2極変換プラグ付） 長さ　約2.3m
周囲温度・湿度	動作時：5℃〜40℃，30%〜85%RH ただし、印字精度は測定条件が15℃〜30℃，40%〜70%RH 保存時：−20℃〜60℃，5%〜95%RH ただし、結露しない状態。保存時は、梱包状態とします。
塵埃・腐食性	一般事務室程度の環境で使用してください。
インタフェース	IEEE-std1284-1994準拠パラレル （コンパチブルモード、ニブルモード） ネットワークインタフェース （10BASE-T/100 BASE-TX, Silex社製プリントサーバPricom3100A）
標準使用条件	平均電源オン時間　200H ／月 平均印字時間　50H ／月　（ページ文字密度35%）
印字ヘッド寿命	平均3億ストローク（ドットあたり）
装置寿命	5年

書体のサンプル

●明朝

亜唖娃阿哀愛挨姶逢葵茜穐悪握渥旭葦芦鯵梓圧斡扱宛姐虻飴絢綾鮎或
粟袷安庵按暗案闇鞍杏以伊位依偉囲夷委威尉惟意慰易椅為畏異移維緯
胃萎衣謂違遺医井亥域育郁磯一壱溢逸稲茨芋鰯允印咽員因姻引飲淫胤

●ローマン

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●サンセリフ

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●クーリエ

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●OCR-B相当

!"#$%&'()*+,-./0123456789:;<=>?@ABCDEFGHIJKLMNO
PQRSTUVWXYZ[¥]^_`abcdefghijklmnopqrstuvwxyz{¦}~

●JAN（標準）

4 00123456789 2

●CODE39

* 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 *

●NW-7

a 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 b

●Interleaved 2 of 5

0 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 9

●JAN（短縮）

4012345 2

●カスタマバーコード

印字仕様

●文字種類

◆ANK文字

英数字・記号（SP含む）	95種
カタカナ・記号	63種
罫線素片・符号・漢字	63種
特殊文字	79種
拡張グラフィックス	48種
国際文字他	7種

注 カタカナ記号，罫線素片・符号・漢字は、スーパスクリプト／サブスクリプトモード，プロポーショナルモードおよび15CPIモードの場合は除きます。

◆漢字（JIS第1水準）

漢字	2965種
非漢字	524種
特殊文字	83種

◆漢字（JIS第2水準）

漢字	3390種

◆OCR-B（相当文字）

英数字・記号	64種

◆外字登録可能文字種

188種

◆ダウンロード文字登録可能文字種

96種

●文字の大きさ

文字種		横寸法 [mm]	縦寸法 [mm]
高品位ANK 10CPI	英数字	2.25	2.46
	特殊文字	2.25	3.45
	カタカナ	2.25	2.60
	罫線素片	2.67	2.60
	拡張グラフィックス	2.67	4.29
高速度ANK 10CPI	英数字	2.11	2.32
	特殊文字	2.11	3.45
	カタカナ	2.11	2.60
	罫線素片	2.53	2.46
	拡張グラフィックス	2.53	4.29
	プロポーショナルANK	1.40～3.09	3.45
漢字	全角・外字	3.45	3.45
	半　角	1.75	3.45

●印字間隔

文字種		間　隔（インチ）
ANK	高品位ANK	1/10,1/12,1/15,1/17.1,1/20
	高品位スーパスクリプト／サブスクリプト	
	プロポーショナルANK	1/8.6～1/20
	縮小プロポーショナル	1/17.1～1/40
	プロポーショナル スーパスクリプト／サブスクリプト	1/12.9～1/30
	縮小プロポーショナル スーパスクリプト／サブスクリプト	1/25.7～1/60
	高速度ANK	1/10,1/12,1/15,1/17.1,1/20
	高速度スーパスクリプト／サブスクリプト	
漢字	全角・外字	1/6.7
	半　角	1/13.8

●1行最大印字数（印字幅設定が136桁の場合）

文字種		文字数(文字/行)
ANK	高品位ANK	136, 163, 204, 232, 272
	高品位スーパスクリプト／サブスクリプト	
	プロポーショナルANK	116～272
	縮小プロポーショナル	233～544
	プロポーショナル スーパスクリプト／サブスクリプト	174～408
	縮小プロポーショナル スーパスクリプト／サブスクリプト	349～816
	高速度ANK	136, 163, 204, 232, 272
	高速度スーパスクリプト／サブスクリプト	
漢字	全角・外字	90
	半　角	188

●印字速度

文字種		印字速度（文字/秒）		
		通常印字	高速印字	高複写印字
高品位ANK	10CPI	345（330,322,313）	600	172（165,161,157）
	12CPI	414（396,386,375）	720	207（198,193,188）
	15CPI	517（495,483,469）	900	258（247,241,235）
高速度ANK	10CPI	600	600	495（483,472,450）
	12CPI	720	720	594（579,567,540）
	15CPI	900	900	742（724,708,675）
漢字(27dot)		230（220,214,208）	400	115（110,107,104）

注　用紙の厚さによって、印字速度が変化します。
表中のA（B,C,D）は、A=レンジ1～2，B=レンジ3～4，C=レンジ5～6，D=レンジ7～9のときを示しています。

●改行間隔

1改行　　1/6インチ、1/8インチ、n/180インチ、n/60インチ

付録

パラレルインタフェース

●コネクタおよびケーブル

◆コネクタ

プリンタ側	36極コネクタ（メス） 57RE-40360-730B-D29A（第一電子製）相当品
ケーブル側	36極コネクタ（オス） 57FE-30360-20N(D8)（第一電子製）相当品

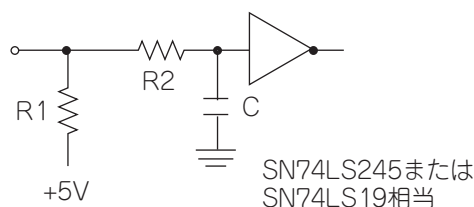
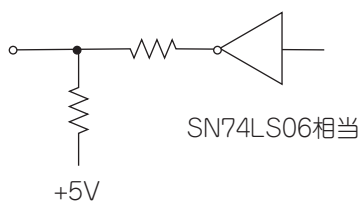
◆ケーブル

2.5m以下のIEEE Std1284-1994適合ケーブル（または相当品）ケーブルを使用してください。
（シールドされているケーブルを使用してください。）

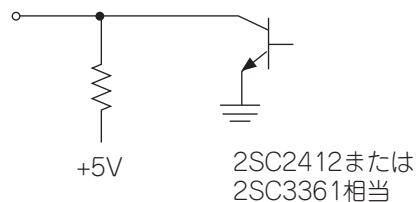
◆インタフェースレベル

ローレベル　0.0V～+0.7V
ハイレベル　+2.4V～+5.0V

◆インタフェース回路

• RECEIVER

• DRIVER

① $\overline{\text{CSF ON}}$, $\overline{\text{CSF JAM}}$　　② BUSY, $\overline{\text{ACK}}$, SELECT, PE, $\overline{\text{FAULT}}$

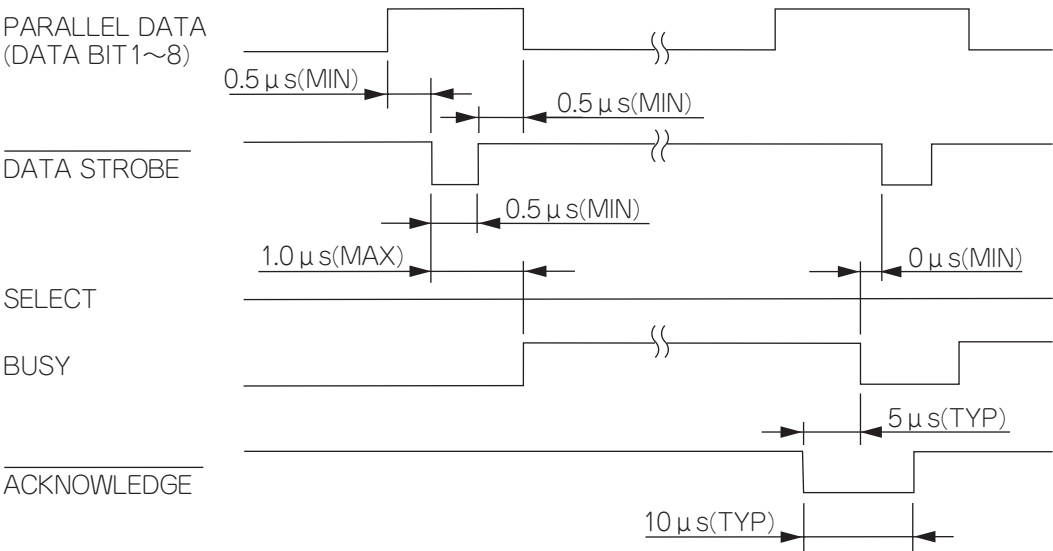
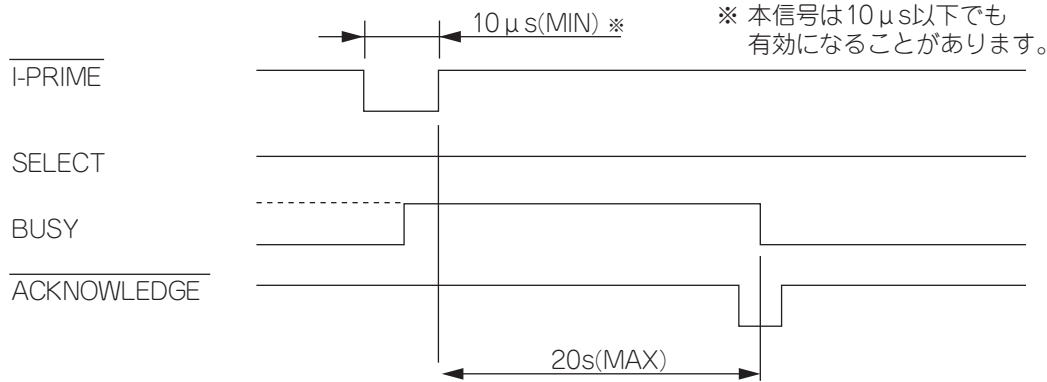
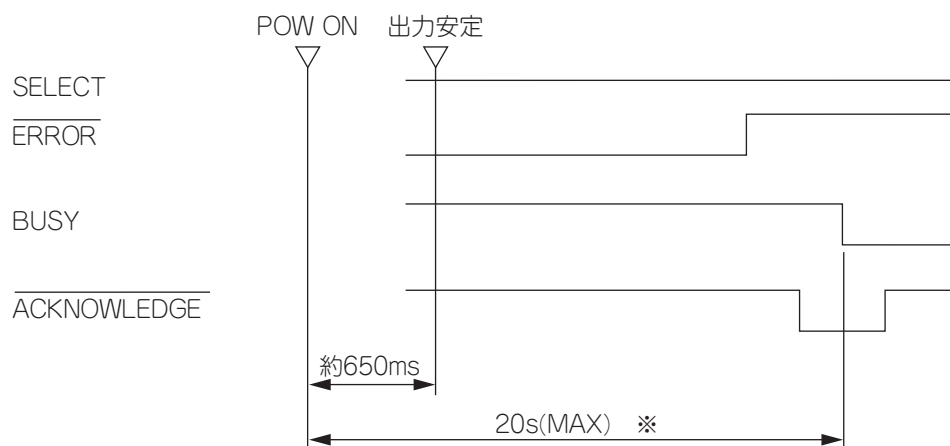
③ +5V

付
録

●パラレルインタフェース信号

ピンNo.	信号名	方向	機能
1	DATA STROBE	TO PRINTER	DATA BIT1～8の読み込みパルス信号です。ハイレベルからローレベルに変化するとBUSY信号がハイレベルになり、入力データを読み込みます。
2	DATA BIT1	TO PRINTER	入力データの1ビット目から8ビット目です。ハイレベルが論理"1",ローレベルが論理"0"を示します。 DATA BIT 1 がLSB,DATA BIT 8がMSBです。
3	DATA BIT2		
4	DATA BIT3		
5	DATA BIT4		
6	DATA BIT5		
7	DATA BIT6		
8	DATA BIT7		
9	DATA BIT8		
10	ACKNOWLEDGE	FROM PRINTER	入力データの受信処理完了を示す信号で、DATA STROBEに対する応答パルス信号です。 電源投入時は、BUSY信号を最初ローレベルにするときに1パルス出力します。
11	BUSY	FROM PRINTER	プリンタがデータ受信可能かどうかを示す信号で、ハイレベル時はデータ受信不可能、ローレベル時はデータ受信可能です。以下の条件でハイレベルになります。 ①ストローブパルスを受信してから受信データの処理を終了するまで。 ②オフライン状態の間 ③INPUT PRIME信号の受信または、電源投入時のイニシャル処理を行う間。 ④アラームになった場合。
12	PAPER END	FROM PRINTER	用紙終了を検出するとハイレベルになります。ただし、1行の受信途中ではその場でハイレベルにならず、行受信を完了した時点でハイレベルになります。 用紙をセットするとローレベルになります。
13	SELECT	FROM PRINTER	常時ハイレベルです。1KΩの抵抗で+5Vにプルアップされます。

ピンNo.	信号名	方向	機能
14	$\overline{\text{AUTO FEED XT}}$	TO PRINTER	電源投入時、この信号がローレベルの場合はCRコードの受信で復帰改行を行います。有効/無効はメニュー設定に従います。
15	NC		未接続
16	0V		信号用アース
17	CHASSIS GROUND		プリンタシャーシのグラウンド
18	＋5V	FROM PRINTER	1KΩの抵抗で+5Vにプルアップされます。
19～30	0V		ツイストペアリターン用グラウンド（ピンNo.1～12に対応した信号用アース）
31	$\overline{\text{INPUT PRIME}}$	TO PRINTER	ローレベルになるとプリンタの制御部が初期状態になります。ローレベルは10μs以上にしてください。なお、本信号は10μs以下でも有効になる事があります。
32	$\overline{\text{FAULT}}$	FROM PRINTER	ローレベルのとき、エラー状態であることを示します。 以下の場合にローレベルになります。 ①オフライン状態の間 ②アラームになった場合 ③電源投入時のイニシャル処理を行う間
33	0V		信号用アース
34, 35			常時ハイレベルです。1kΩの抵抗で+5Vにプルアップされています。
36	$\overline{\text{SLCT IN}}$	TO PRINTER	電源投入時、この信号がローレベルの場合は、DC1/DC3コードは受け捨てます。 DC1/DC3コードの有効/無効は、メニュー設定に従います。

●パラレルインタフェースタイムチャート

◆データ受信

◆INPUT PRIME受信

◆POWER ON

※　カットシートフィーダ搭載の場合は25s(MAX)となります。

プリンタの初期状態

電源投入時，ソフトウェアリセットコマンド受信または、インタフェースのINPUT PRIME信号により、プリンタは以下に示す初期状態になります。

※印はメニュー設定の項目に従います。

項目	初期状態
印字ヘッド位置	センタリング位置
MSBコントロール	解除
上位側コントロールコード指定	解除
印字方向	両方向印字
印字色	黒色のみ
ホリゾンタルタブ位置	左端より8文字毎に設定
ライトマージン位置	136桁目
レフトマージン位置	0桁目に設定
印字位置そろえ設定	左そろえに設定
1改行量	1/6インチ
連続紙フォーマットページ長	※
TOF位置	現在の印字位置をTOF位置にします。
ミシン目スキップ長	※
VFUタブ位置設定	設定位置なし
VFUチャネル選択	チャネル0を選択
ANK文字モード	10CPIモード。プロポーショナルおよびスーパスクリプト/サブスクリプトモードは解除
国際文字選択	日本語
ダウンロード文字セットの指定	解除
内蔵文字セットの選択	※
ANK文字の書体	※
漢字モード	※

※印はメニュー設定の項目に従います。

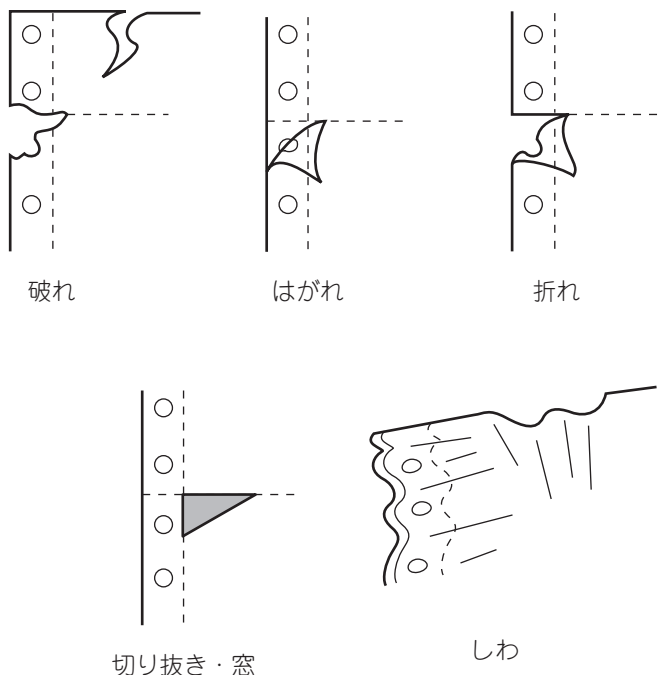
項目	初期状態
ANK縮小印字	解除
ANK文字間スペース量	0ドット
ANKアンダライン印字	解除
ANK文字品位	※
ANK ／漢字印字モード	自動解除付横2倍拡張 横2倍拡張印字 縦2倍拡張印字 イタリック印字 強調印字 2度打ちモード 特殊装飾文字 } 解除
漢字全角文字間スペース量	左：0ドット、右：3ドット
半角文字間スペース量	左：0ドット、右：2ドット
半角文字間スペース量補正	解除
漢字アンダライン印字	解除
漢字高速印字モード	解除
漢字縦書き／横書き	横書き
半角縦書き組み文字	解除
ダウンロード文字	オールクリア（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）
文字セットコピー	無し（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）
外字	オールクリア（ただし、ソフトウェアリセットコマンドによる初期化の場合は変化しません）
イメージ転送コマンド変換	変換なし
はがきモード	解除
書式モード	※

用紙規格および印字範囲

●用紙に関する注意

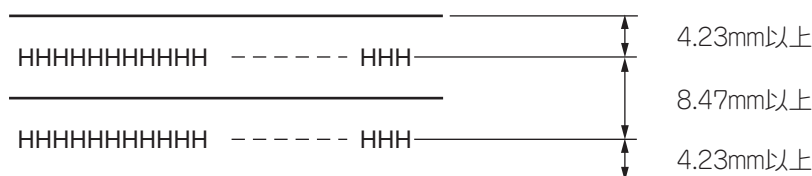
使用禁止の用紙

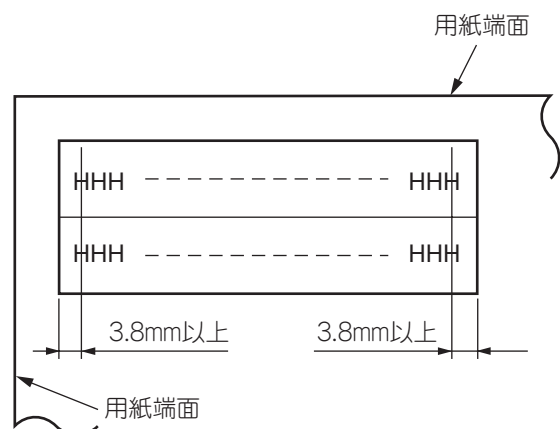
次のような用紙を使用すると、紙送りが不安定になり、紙づまりや紙折れ，印字ずれ、また、最悪の場合はワイヤドットのピン折れを起こす場合があるため、使用しないでください。

- 極端に薄い紙または厚い紙（用紙規格を満たさないもの）
- 小さすぎる紙または大きすぎる紙（用紙規格を満たさないもの）
- 切り抜き部分や窓のある紙
- ピン，クリップ，ホッチキスの針などの金属の付いている紙
- のり付け面が露出しているもの，波打っているもの，はがれているもの
- 浮き彫りのあるもの
- 連続用紙の横ミシン目以外で折りたたんだもの
- 複写紙においてオリジナルと複写紙で大きさの異なるもの、または部分的に複写枚数が異なるもの
- 端または角が破れていたり折れている紙
- 切手、シールなどを貼り付けたはがきや封筒

●プレプリント用紙

罫線や表などが入った用紙に印刷すると、用紙送り精度や用紙セットのばらつきにより、罫線や表の枠からはみ出して印刷されることがあります。このようなプレプリント用紙を設計する場合は次の点に注意してください。

- 事前印刷する場合は、あらかじめ十分なテストを行い、印刷品質について問題のないことを確認してください。
  （事前印刷部分が印刷禁止領域内にある場合、特に注意が必要です。印字部の反射率が60%以下になりますと、（特に黒色系）プリンタ内の用紙検出センサが検出しない場合があります。）
- 事前印刷用紙に印刷インクのべとつきがあったり、インクの乾燥が不完全であったために、用紙どうしが付着しているようなことがあってはなりません。
- 事前印刷する場合、最大印字可能範囲ぎりぎりに印字位置がくるような用紙設計は避けてください。

◆横罫線について

- 文字の行間隔は8.47mm（1/3インチ）以上とってください。
- 文字中心から罫線まで上下とも4.23mm以上とってください。

◆縦罫線について

- 縦罫線は文字中心から3.8mm以上とってください。

注 罫線のプレ印刷は用紙の端面を基準とし平行度0.1゜以下にしてください。

●用紙の保管条件（JIS X 6195による）

用紙は温度10～30℃，相対湿度30～70%の環境条件で保管してください。
また、保管場所と使用場所との間で環境条件に差がある場合は、使用場所の環境になじませてから使用してください。

付録

●連続紙（スプロケット紙）

連続紙はスプロケット孔付きの折りたたみ用紙です。

◆用紙サイズおよび印字範囲

記号	名称	規格値
W	用紙幅	101.6～420mm(4～16.5インチ)
L	用紙長さ	76.2～355.6mm(3～14インチ) ただし、25.4mm(1インチ)の整数倍で、279.4mm(11インチ)を標準にします。
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上 ✎
B	印字禁止範囲	19.05mm(3/4インチ)
C	印字禁止範囲	19.05mm(3/4インチ)
D	用紙終了検出範囲	フロント押し込みトラクタ　約120mm リア押し込みトラクタ　約92mm リア引っ張りトラクタ　約53mm
E	1文字目印字位置	12.7mm～25.4mm(1/2～1インチ) 用紙幅16～16.5インチのときは、25.4mm以上
F	印字禁止範囲	12.7mm(1/2インチ)

✎ • リア引っ張りトラクタでは最初の1枚目は使用できません。
• 印字精度保証は19.05mm(3/4インチ)以上です。

付録

- 用紙の裏面は白色（反射率60％以上）とします。
- 用紙残120mm以下の場合は、用紙退避できません。
- 最終ページの印字精度は保証しません。
- とじ孔，コーナカットのある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。
- 印字範囲を超えて印字した場合、印字品質を損ねたり、装置に悪影響を及ぼすことがありますので、印字フォーマットを設定する際は注意してください。
- 横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。横ミシン目をスプロケット孔の近くに設けると用紙がはがれやすくなり、キャリッジ部が引っ掛かることがあります。

◆用紙連量

○単　紙

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 通常印字モードのとき、用紙連量45～110kg（52～128g/m^2）の用紙が使用可能です。
- 高複写印字モードのとき、70～110kg（81～128g/m^2）の用紙が使用可能です。薄紙を高複写印字モードで印字すると、印字によるカールや波打ちが発生し、印字汚れや，横罫線印字で破れが発生する場合があります。
- コンカレントモードのとき、45～55kg（52～64g/m^2）の用紙が使用可能です。

○複写紙

- 用紙の種類は、感圧紙, 裏カーボン紙, インタリーブ紙です。
- 通常印字モードのとき、複写紙の用紙連量は、34kg（40g/m^2）を標準とし、インタリーブ紙に使用するカーボン紙の厚さは0.03mm以下です。
  複写枚数は、最大6枚（オリジナル＋5枚）です。ただし、インタリーブ紙を使用する場合は、最大5枚（オリジナル＋4枚）です。また、全体の用紙厚さは0.36mmを超えないようにしてください。
- 高複写印字モードのとき､複写枚数は最大8枚（オリジナル+7枚）です。ただしインタリーブ紙を使用する場合は、最大6枚（オリジナル+5枚）です。また、全体の用紙厚さは、0.48mmを超えないようにしてください。

参考

用紙連量は、単位面積（788×1091mm）の大きさに換算して、1000枚分の重量をkgで表わしたものです。

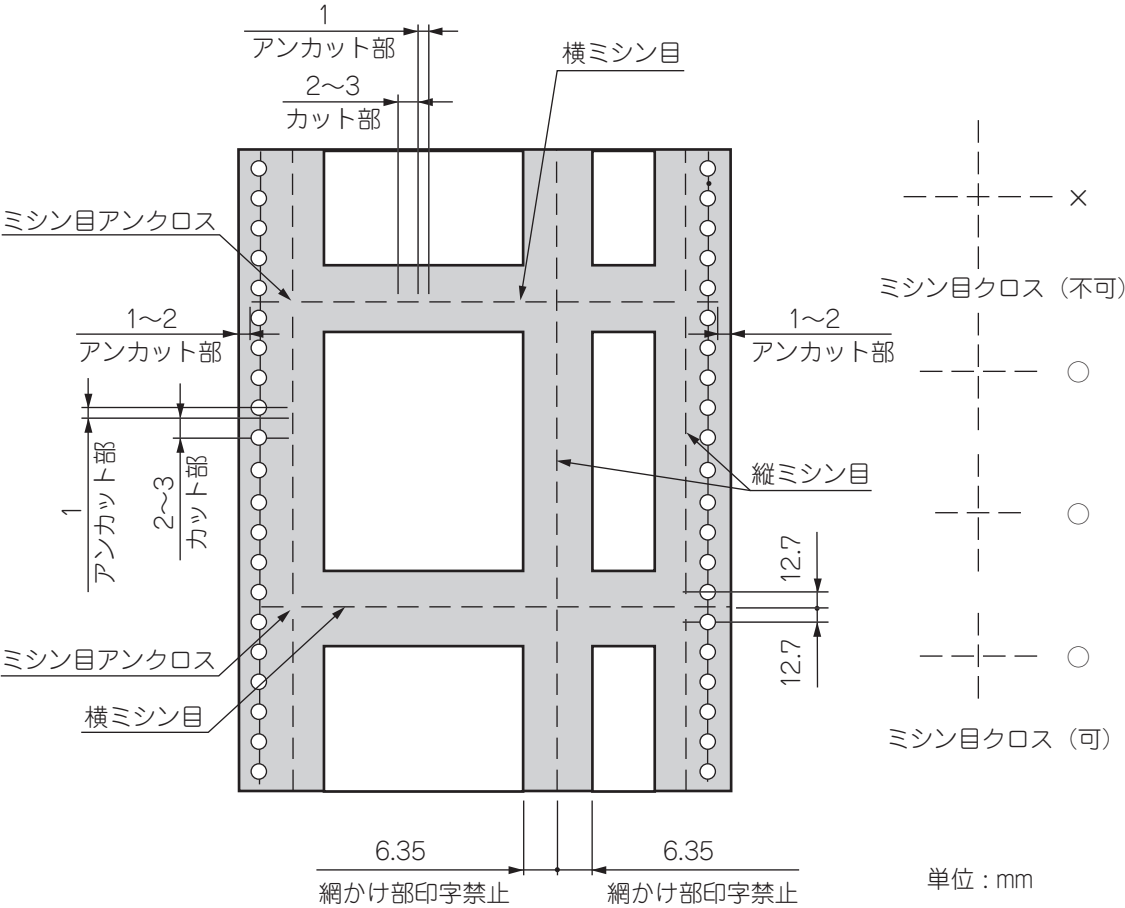
◆最大用紙厚さ

0.36mm（高複写印字モードのとき　0.48mm）

◆ミシン目

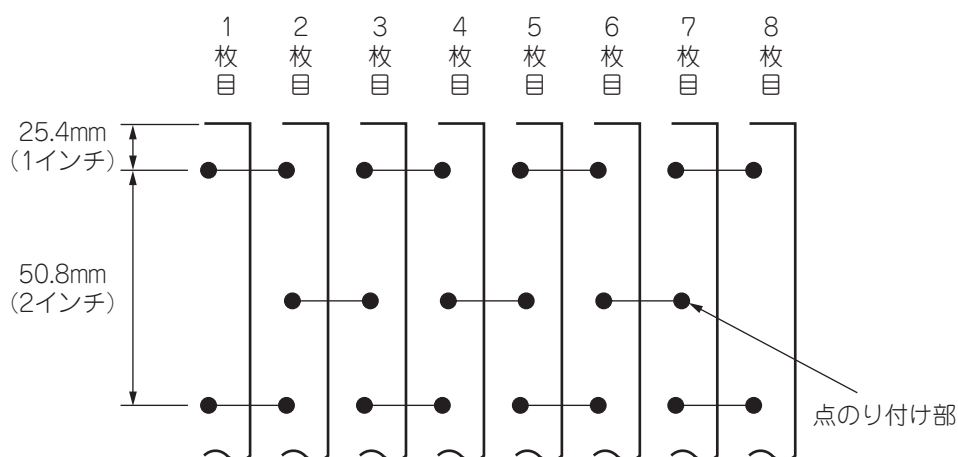
- ミシン目の寸法は、最高速度の用紙送りに耐え、かつ容易に切断できるものを使用してください。
- ミシン目のアンカット部は確実につながっていて、すべての箇所で破れていないことが必要です。特に、用紙折り曲げ部は破れやすいので、注意してください。
- ミシン目のカット寸法の比率は、紙質, 用紙連量, 複写枚数などによって適当な値が選ばれますが、下記の値を推奨します。

	複写枚数	カット部の長さ	アンカット部の長さ
横ミシン目	1〜6枚	2〜3mm	1mm
縦ミシン目	1〜6枚	3mm	1mm

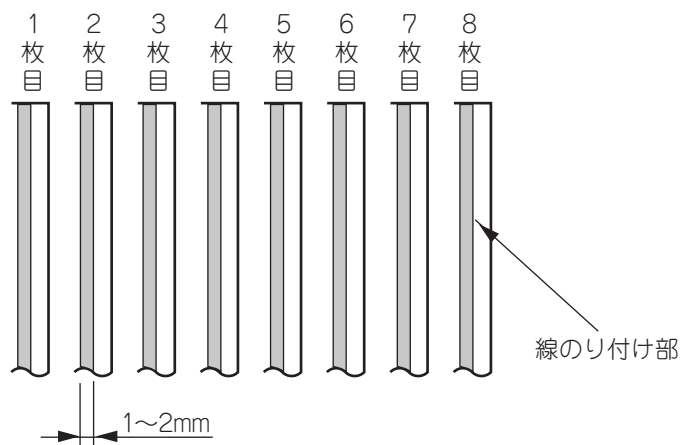
- 横ミシン目　用紙の両端1〜2mmには、カット部を入れないでください。上下6.35mm（1/4インチ）以内は、印字しないでください。
  横ミシン目は必ずスプロケット孔間の中央に設けてください。
- 縦ミシン目　印字範囲内に縦ミシン目が入る場合は、その左右6.35mm（1/4インチ）以内は印字しないでください。
  横ミシン目との交差部は用紙のはがれを防ぐため、カット部どうしを交差させないでください。

◆複写紙の重ね合わせの固定方法

複写紙の重ね合わせの固定方法は、点のり付け、線のり付け、または紙ホッチキスとし、両端ともに同じとじ方とします。
ただし、層間ずれ（1枚目と最下層の印字ずれ）を防止したいときは、点のり付け、または線のり付けとします。（紙ホッチキスの場合、層間ずれが3mm程度発生する場合があります）
金属ホッチキスの使用は厳禁です。

○点のり付け

- 点のり付けは両端点のり付けとし、片端とじは不可とします。
- 点のり付けは均一であり、その大きさはφ3～φ5mmとします。
- 点のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また、著しいしわのあるものは使用しないでください。
- 点のり付けの位置は、図のとおりにしてください。
- 点のり付けは、用紙ごとに千鳥状にしてください。

○線のり付け

- 線のり付け部は均一であり、幅は1～2mmとします。
- 線のり付け部は必ずプレスを行い、浮き上がりを防いでください。また、著しいしわのあるものは使用しないでください。
- のりは用紙端よりはみ出ないようにしてください。

付録

○紙ホッチキス

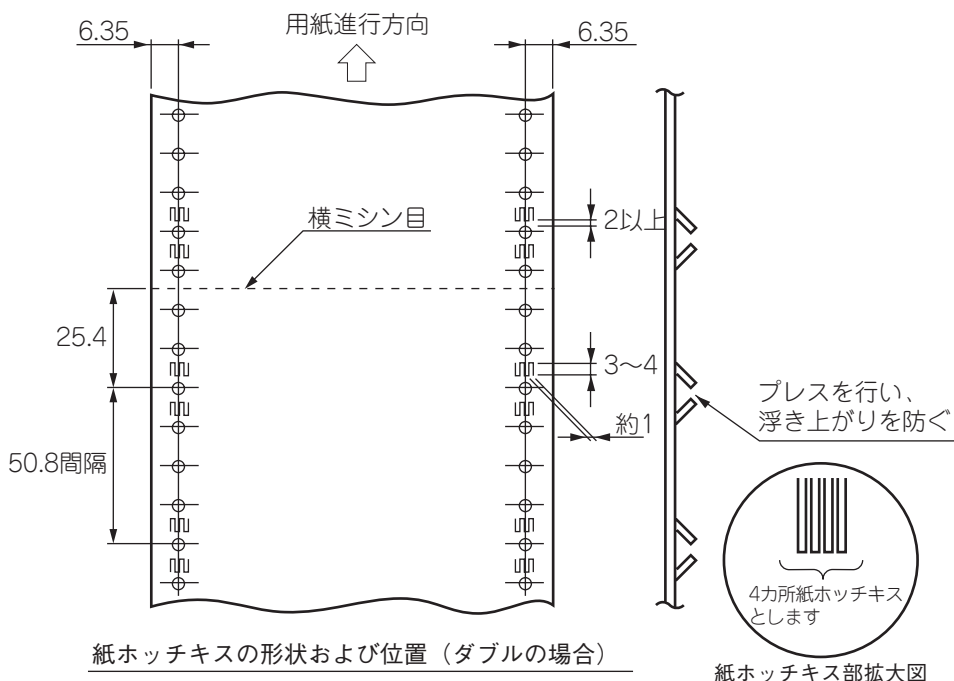
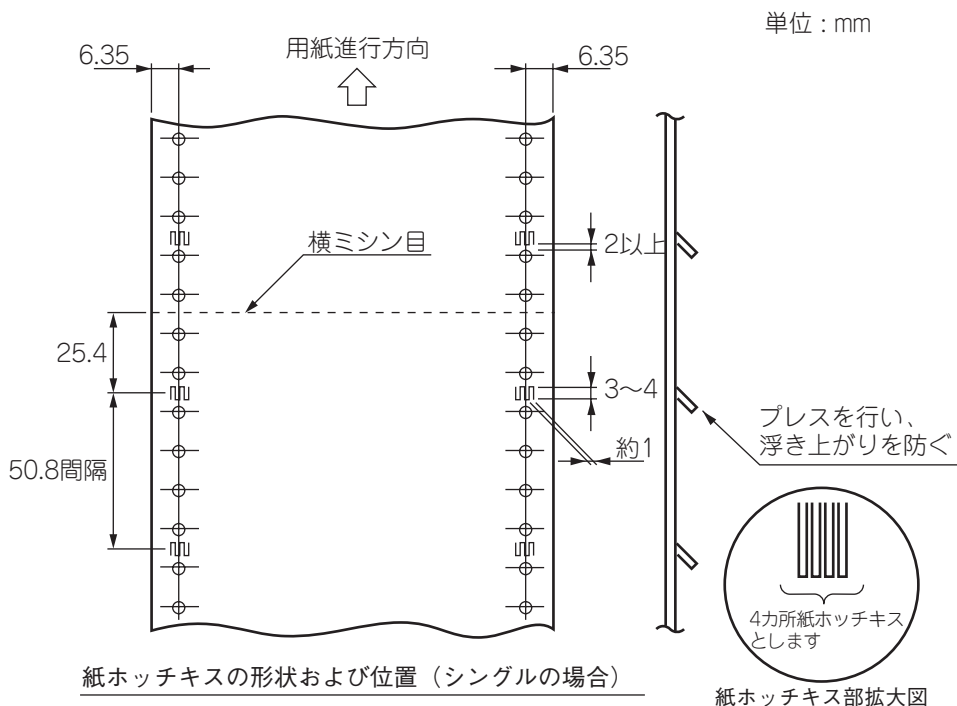
- 紙ホッチキスは両端紙ホッチキスとし、片端とじは不可とします。
- 紙ホッチキスは必ず用紙の表側から行い、表面には何も出ないようにしてください。
- 紙ホッチキス部は確実にかみ合っていて、浮き上がりなどのないようにしてください。
- 紙ホッチキス後プレスを行い、浮き上がりを防いでください。
- 紙ホッチキスは、ダブルホッチキスを推奨します。シングルホッチキスは使用可能ですが層間ズレが発生する場合があります。

単位：mm

紙ホッチキスの形状および位置（シングルの場合）

紙ホッチキス部拡大図

紙ホッチキスの形状および位置（ダブルの場合）

紙ホッチキス部拡大図

◆複写紙の組み合わせ

複写紙における使用可能な用紙連量の組み合わせを下表に示します。
ベース紙（いちばん下側の用紙）は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。
表に示した連量の範囲以外の用紙は使用できません。

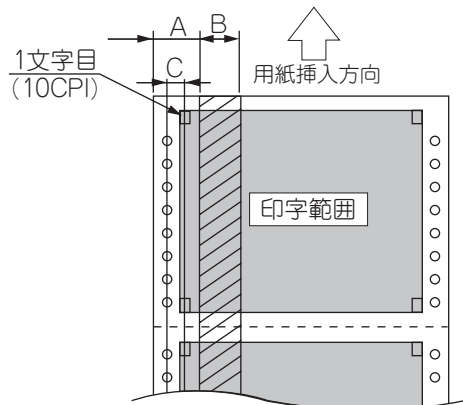
連量：kg

	通常印字モード					高複写印字モード	
最大複写枚数	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚	7枚	8枚
1枚目	34〜55kg	34〜43kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
2枚目	34〜55kg	34〜43kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
3枚目		34〜43kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
4枚目			34〜43kg	34kg	34kg	34kg	34kg
5枚目				34〜43kg	34kg	34kg	34kg
6枚目					34〜43kg	34kg	34kg
7枚目						34〜43kg	34kg
8枚目							34〜43kg

付録

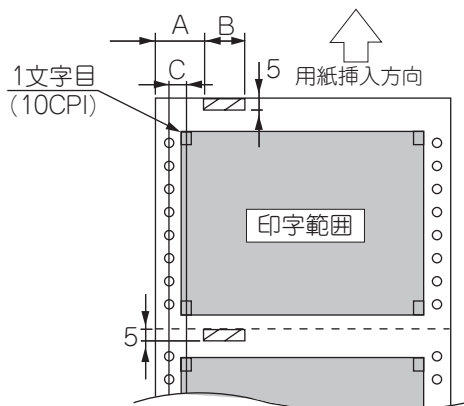
◆プレプリント禁止範囲

事前印刷された用紙に印字するときは、印刷済の部分が下記のプレプリント禁止範囲にかからないよう注意してください。
プレプリント禁止範囲内の反射率は60%以上とします。

○リア引っ張りトラクタの表面印刷禁止範囲

単位：mm

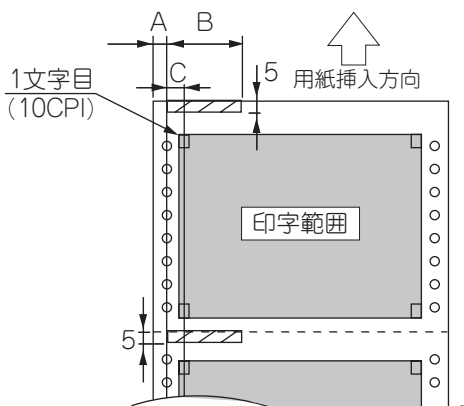
A	B	C
35	61	—
43	14	12.7の時

▨：プレプリント禁止範囲

○リア押し込みトラクタの表面印刷禁止範囲

単位：mm

A	B	C
62	61	—
70	14	12.7の時

▨：プレプリント禁止範囲

○フロント押し込みトラクタの裏面印刷禁止範囲

単位：mm

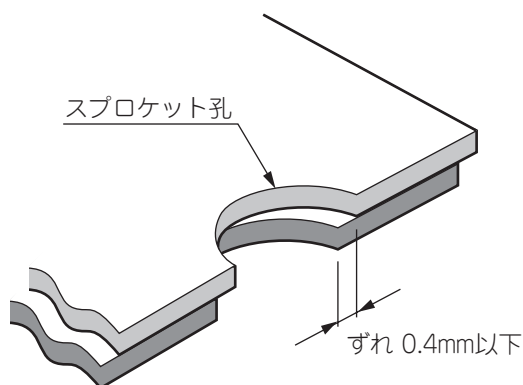
A	B	C
5	54	—
13	14	12.7の時

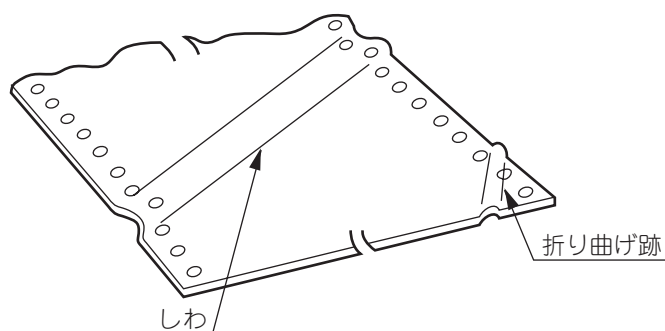
▨：プレプリント禁止領域

プレプリント禁止範囲は用紙の裏面です。

付録

◆スプロケット孔

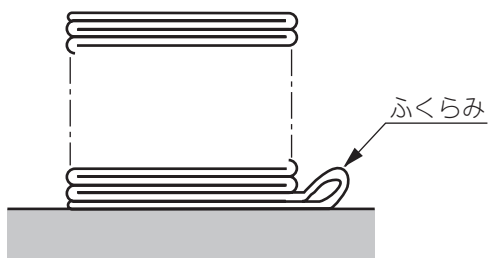
スプロケット孔の形状は真円とし、孔の縁は歯状でも可とします。ただし、切口はだれていないことが必要です。
複写紙重ね合わせ時のずれによるスプロケット孔の層間ずれは0.4mm以下のものを使用してください。

◆しわ, 折り曲げ跡

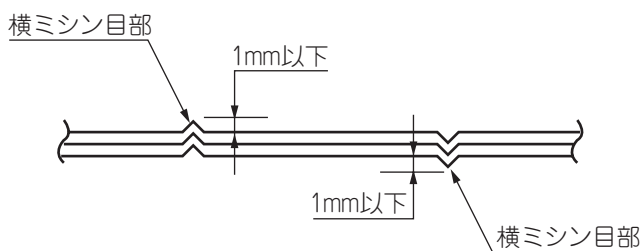
用紙には、しわや折り曲げ跡のないことが必要です。特に新しい用紙の場合、最初と最後の数ページは、しわや折り曲げ跡が発生しやすいので、使用しないようにしてください。

◆用紙先端, 下端のしわ, カール, 折れ, めくれ

用紙先端、下端にしわ、カール、折れ、めくれがある場合は、印字品質の低下や紙づまりが発生しやすいので使用しないでください。特に新しい用紙の場合、最初の数ページ〜十数ページはカール等が発生している場合があるので使用しないようにしてください。

カール, 折れ, 曲がりの規定は245ページを参照ください。

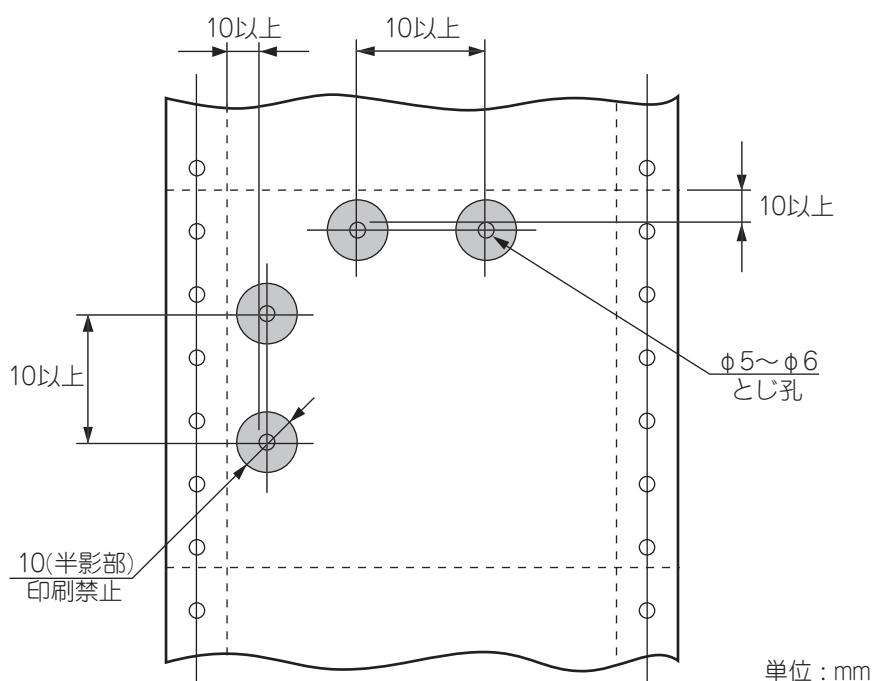
◆用紙折り曲げ部

用紙は横ミシン目を用いて、交互に折りたたまれていることが必要です。用紙折り曲げ部が下の図のようにふくらんでいるものは、用紙送りに悪影響を与えるので使用しないでください。

◆横ミシン目部の盛り上がり

複写紙において、横ミシン目部に盛り上がりがある場合は、印字品質が低下したり、紙づまりが発生しやすくなります。
盛り上がり高さは1mm以下になるようにしてください。

◆とじ孔

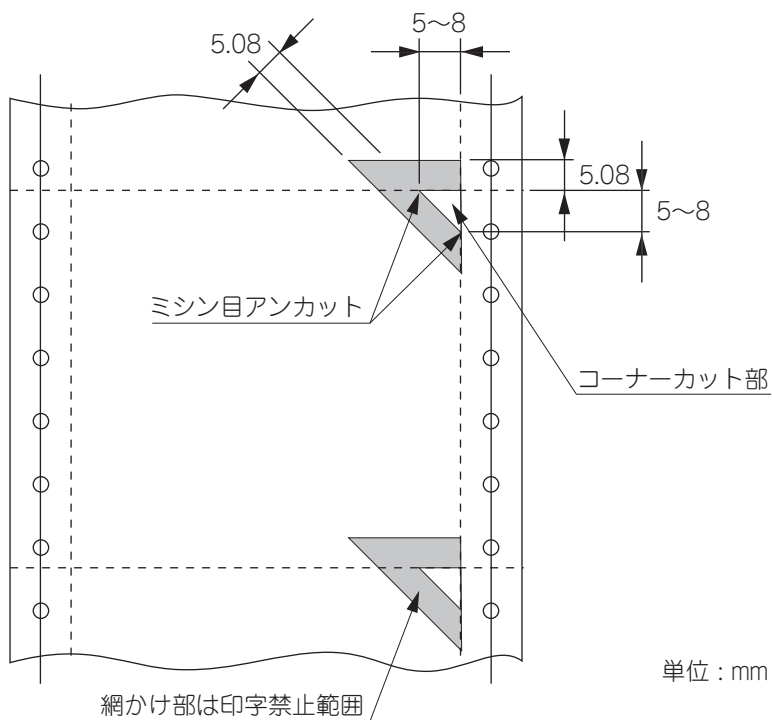
注 とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

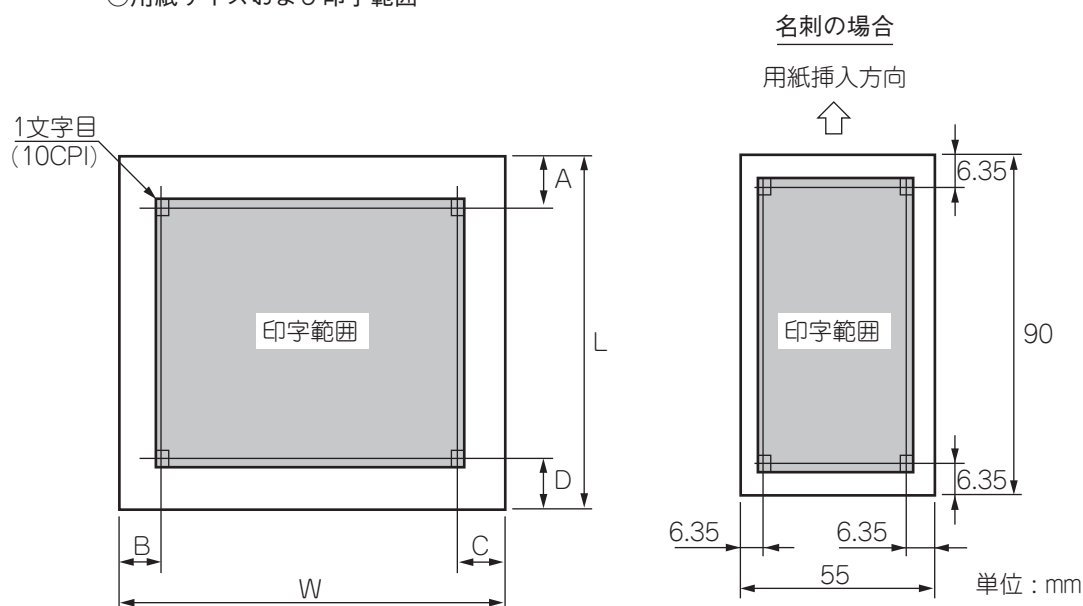
- とじ孔の周囲5mm以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。また、紙厚測定エラーになることがあります。
- とじ孔の縁は盛り上がっていないことを確認してください。
  盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

◆コーナーカット

注 コーナーカットのある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にコーナーカットのある用紙の使用時の注意点を示します。

- コーナーカット部の下図斜線部範囲内には印字しないでください。
- コーナーカットのパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- コーナーカット部周囲には用紙のはがれを防ぐため、縦／横ミシン目のカット部を接続しないでください（アンカット）。用紙はがれの原因となり、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- コーナーカット部が用紙検出スイッチにかかると、用紙終了あるいは用紙ジャムと判断するため注意してください。また、紙厚測定エラーになることもあります。
- コーナーカットの位置は、下図によります。

●単票

◆単紙

○用紙サイズおよび印字範囲

用紙サイズはB5, B4, A3, A4を標準とします。

記号	名称	規格値
W	用紙幅	55～420mm(2.2～16.5インチ) オプションのカットシートフィーダを使用した場合 100～420mm(3.9～16.5インチ)
L	用紙長さ	70～420mm(2.8～16.5インチ) ✐ テーブル排出の場合、用紙長さ297mm以下とします。 オプションのカットシートフィーダを使用した場合 90～420mm(3.5～16.5インチ)
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上　メニュー設定によります。 ✐✐
B	1文字目印字位置	6.35mm以上 オプションのカットシートフィーダを使用した場合 W値が365mm以上の場合、 10mm以上
C	印字禁止範囲	6.35mm以上 ただしB値範囲内で136文字目までです。
D	印字禁止範囲	6.35mm以上

✐　A4縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✐✐　印字精度保証は6.35mm（1/4インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください。）

付録

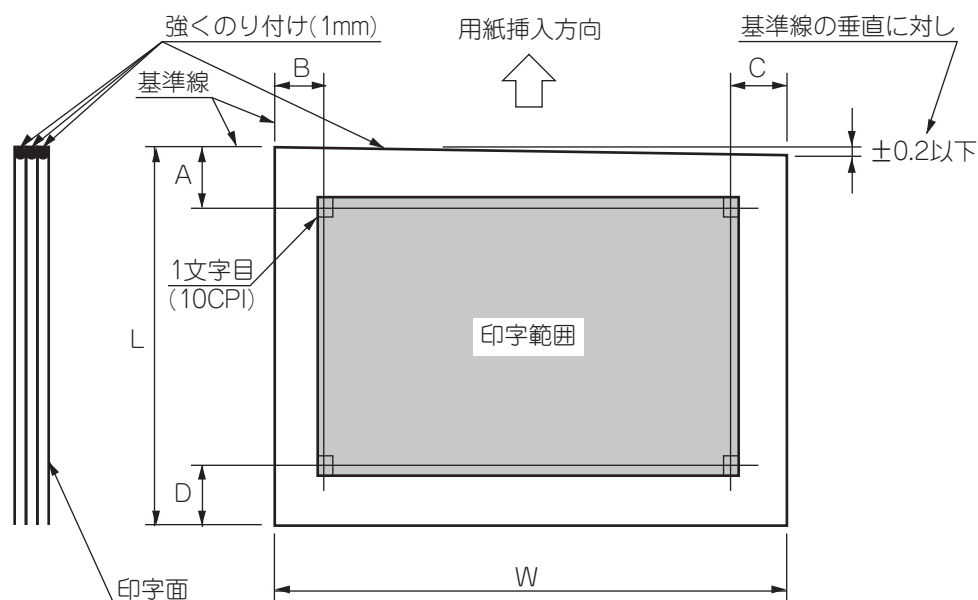
○用紙連量

- 用紙の種類は白色上質紙（JIS P 4502）です。
- 通常印字モードのとき、用紙連量45～180kg（52～209g/m^2）の用紙が使用できます。
- カットシートフィーダでは用紙連量55～135kg（64～156g/m^2）の用紙が使用できます。
- 高複写印字モードのとき，70～180kg（81～209g/m^2）の用紙が使用できます。薄紙を高複写印字モードで印字すると、印字によるカールや波打ちが発生し、印字汚れや横罫線印字で破れが発生する場合があります。
- コンカレントモードのときは，55～110kg（64～128g/m^2）の用紙を使用してください。
- 高複写印字モードでコンカレントモードのときは，70～110kg（81～128g/m^2）の用紙を使用してください。

- 45kg（52g/m^2）の用紙は剛性が少ないため、スタッキングは保証しません。
- 用紙の縦横比は、1 : 2 ／ 3～2とします。
- 用紙の裏面は白色（反射率60%以上）とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。

付録

◆複写紙

○用紙サイズおよび印字範囲

用紙サイズはB5, B4, A4を標準とします。

記号	名称	規格値
W	用紙幅	100〜420mm(3.9〜16.5インチ)
L	用紙長さ	100〜420mm(3.9〜16.5インチ) ✎ オプションのカットシートフィーダを使用した場合 90〜420mm(3.5〜16.5インチ)
A	頭出し位置	6.35mm(1/4インチ)以上　メニュー設定によります。 ✎✎
B	1文字目印字位置	6.35mm以上 オプションのカットシートフィーダを使用した場合 W値が365mm以上の場合、 10mm以上
C	印字禁止範囲	6.35mm以上 ただしB値範囲内で136文字目までです。
D	印字禁止範囲	6.35mm以上

✎ A4縦（297mm）より長い用紙は、用紙セット性が悪くなります。

✎✎ 印字精度保証は6.35mm（1/4インチ）以上です。（メニュー設定項目を参照してください。）

付録

○用紙連量

- 用紙連量34kg（40g/m^2）の裏カーボン紙、または感圧紙を標準とします。
- 通常印字モードのとき､複写枚数は､最大6枚（オリジナル＋5枚）です。また、全体の用紙厚さは0.36mmを超えないようにしてください。
- 高複写印字モードのとき、複写枚数は、最大8枚（オリジナル+7枚）です。また、全体の用紙厚は0.48mmを超えないようにしてください。
- コンカレントモードのとき、複写枚数は、最大4枚（オリジナル+3枚）です。また、全体の用紙厚は0.26mmを超えないようにしてください。
- カットシートフィーダでは、通常印字モード、高複写印字モードとも複写枚数は最大6枚（オリジナル+5枚）です。また、全体の用紙厚さは0.36mmを超えないようにしてください。

注

- 用紙の縦横比は、1：2／3～2とします。
- テーブルから挿入した用紙はスタッカに排出、カットシートフィーダから吸入した場合はスタッカに排出してください。
- テーブルに排出した場合、用紙の種類、印字の内容によりカールしやすく用紙の折れやジャムになる可能性があります。
- 用紙の裏面は白色（反射率60％以上）とします。
- 折れたり、曲がったりしていない用紙を使用してください。
- 挿入方向の上端にのり付けしてください。
- とじ孔のある用紙は使用しないでください。
- 用紙の平滑度は、100秒（JIS P 8119）以下とします。

◆複写紙の組み合わせ

複写紙における使用可能な用紙連量の組み合わせを下表に示します。
1枚目とベース紙（いちばん下側の用紙）は、他の用紙より厚いか、もしくは同等の厚さの用紙を使用した組み合わせとします。
表に示した連量の範囲以外の用紙は使用できません。

○通常モード，高複写モードのとき

連量：kg

	通常印字モード/カットシートフィーダ					手差し 高複写印字モード	
最大複写枚数	2枚	3枚	4枚	5枚	6枚	7枚	8枚
1枚目	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)
2枚目	43〜55kg (34kg)	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
3枚目		43〜55kg (34kg)	34kg	34kg	34kg	34kg	34kg
4枚目			43〜55kg (34kg)	34kg	34kg	34kg	34kg
5枚目				43〜55kg (34kg)	34kg	34kg	34kg
6枚目					43〜55kg (34kg)	34kg	34kg
7枚目						43〜55kg (34kg)	34kg
8枚目							43〜55kg (34kg)

(　)内の用紙も使用可能ですが、保証外となります。

○コンカレントモードのとき

連量：kg

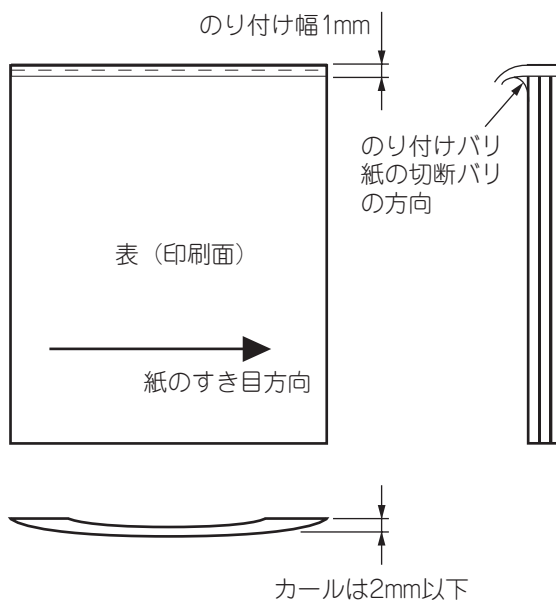
最大複写枚数	1枚	2枚	3枚	4枚
1枚目	55〜110kg	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)	43〜55kg (34kg)
2枚目	45〜55kg 単紙	45〜55kg (34kg)	34kg	34kg
3枚目		45〜55kg 単紙	43〜55kg (34kg)	34kg
4枚目			45〜55kg 単紙	43〜55kg (34kg)
5枚目				45〜55kg 単紙

(　)内の用紙も使用可能ですが、保証外となります。

注 ［網掛け］ はベースの連続紙を示しています。

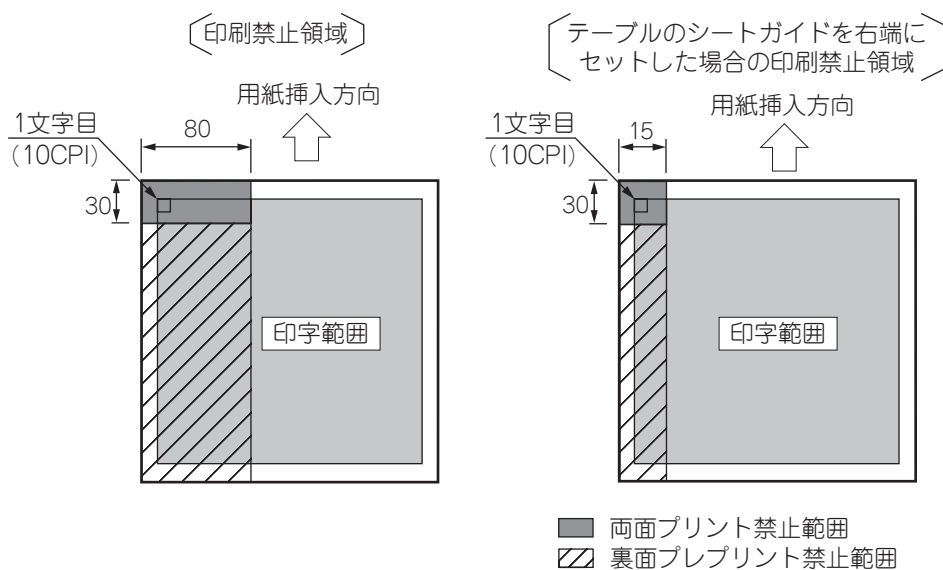
付録

◆複写紙の重ね合わせの固定方法

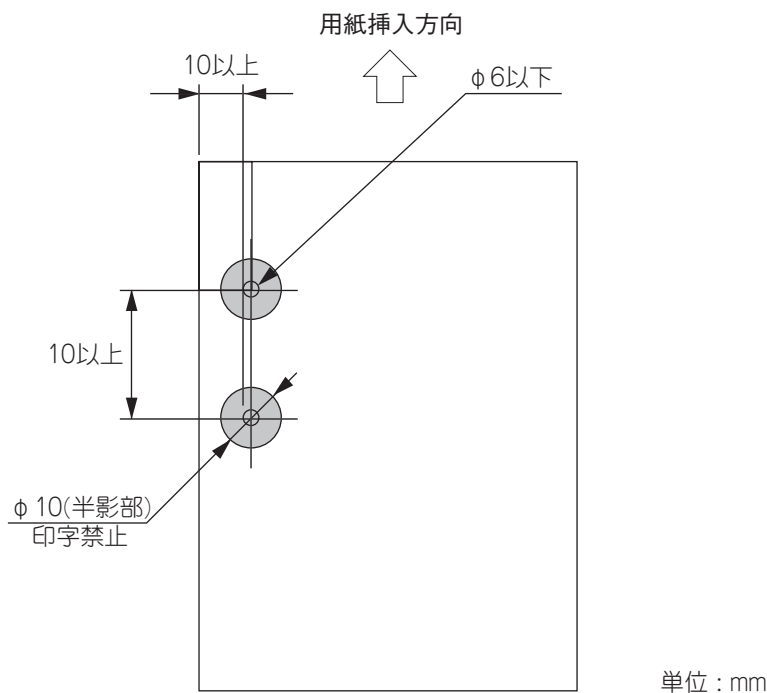
- 複写紙の重ね合わせ固定方法は用紙挿入方向の先端側に幅1mmの線のり付けとします。
- のり付け部は強くのり付けし、必ずプレスを行い、浮き上がりを防止してください。
- のりは、用紙端よりはみ出さないようにしてください。
- のり付け部には著しいしわがあってはなりません。

- すき目方向とのり付け方向が垂直になった場合、のり付け部の波うちが多く発生します。
- のり付けバリおよび紙の切断バリは極力少なく押さえてください。バリの方向は表面方向としてください。
- カールを防ぐため、保管方法に注意してください。
  カールは2mm以下とします。
- のり付け幅は基本的に1mmとしてください。
- 印字領域内には、とじ孔は開けないでください。

◆プレプリント禁止範囲

事前印刷された用紙に印字するときは、印刷済の部分が下記のプレプリント禁止範囲にかからないよう注意してください。
プレプリント禁止範囲内の反射率は60%以上とします。

◆とじ孔

注 とじ孔のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にとじ孔のある用紙の使用時の注意点を示します。

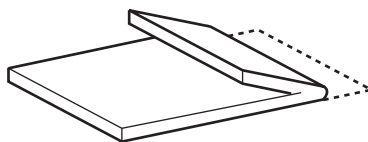
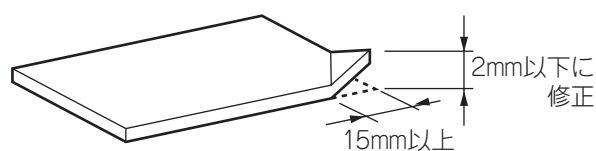
- とじ孔の周囲5mm以内は印字しないでください。
- とじ孔のパンチ屑が用紙に残っていないことを確認してください。
- とじ孔が用紙検出センサにかかると用紙終了と判断するため、注意してください。
- とじ孔の縁は表面側に盛り上がっていないことを確認してください。
  盛り上がっている場合は、印字ヘッドが引っ掛かることがあります。
- とじ孔の位置は、下図によります。

◆ミシン目

注 ミシン目のある用紙は保証外のため、使用しないでください。

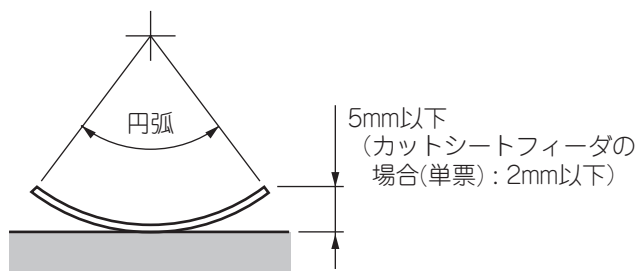
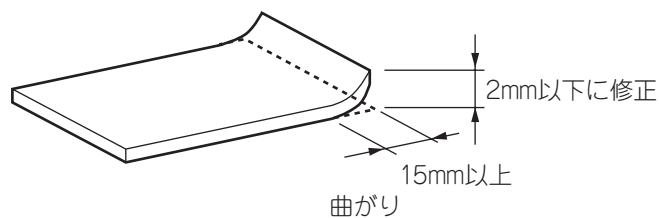
やむを得ず使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。
以下にミシン目のある用紙の使用時の注意点を示します。

- ミシン目の仕様は連続紙のミシン目の項目に準じます。
- ミシン目の周囲5.08mm以内は印字しないでください。

◆折れ（単票・連続紙）

- 全幅に渡って折れたものは使用不可です。
- 隅の折れについては2mm以下に修正してください。
  ただし、カットシートフィーダの場合（単票）は修正しても使用不可です。

全幅に渡って折れたものは使用不可

隅の折れ

◆カール, 曲がり（単票・連続紙）

- 全面的なカールは5mm以下，カットシートフィーダの場合（単票）は2mm以下なら使用可です。
- 用紙端から15mm以内で2mm以上の曲がりは使用不可です。

全面的なカール

曲がり

●はがき

◆用紙サイズおよび印字範囲

○通常はがき縦挿入

○通常はがき横挿入

○往復はがき縦挿入

○往復はがき横挿入

はがき挿入方向

200

1文字目
(10CPI)

6.35

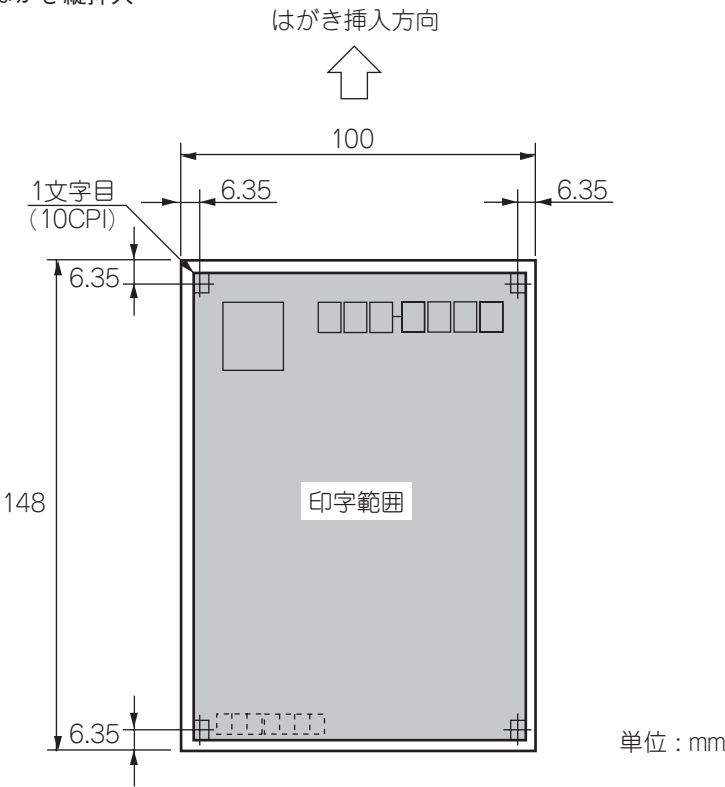
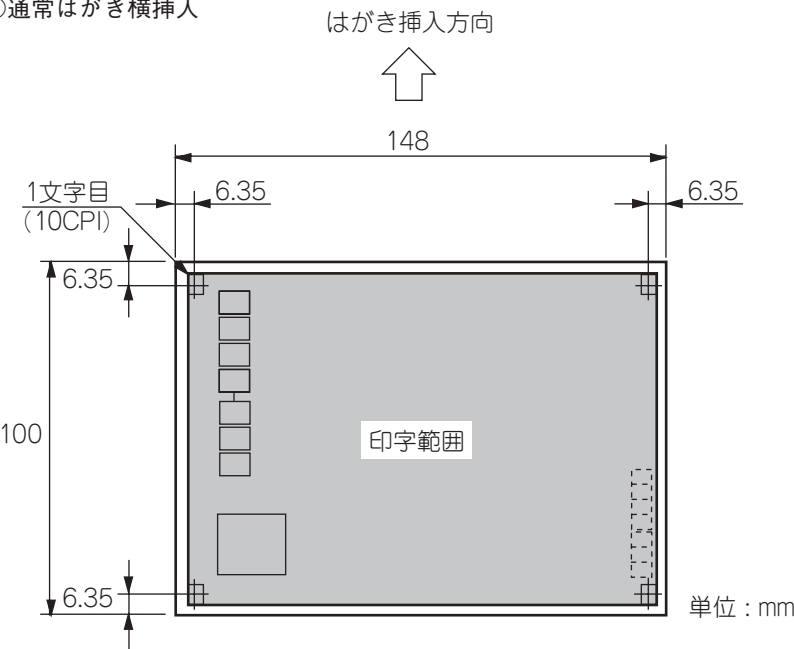
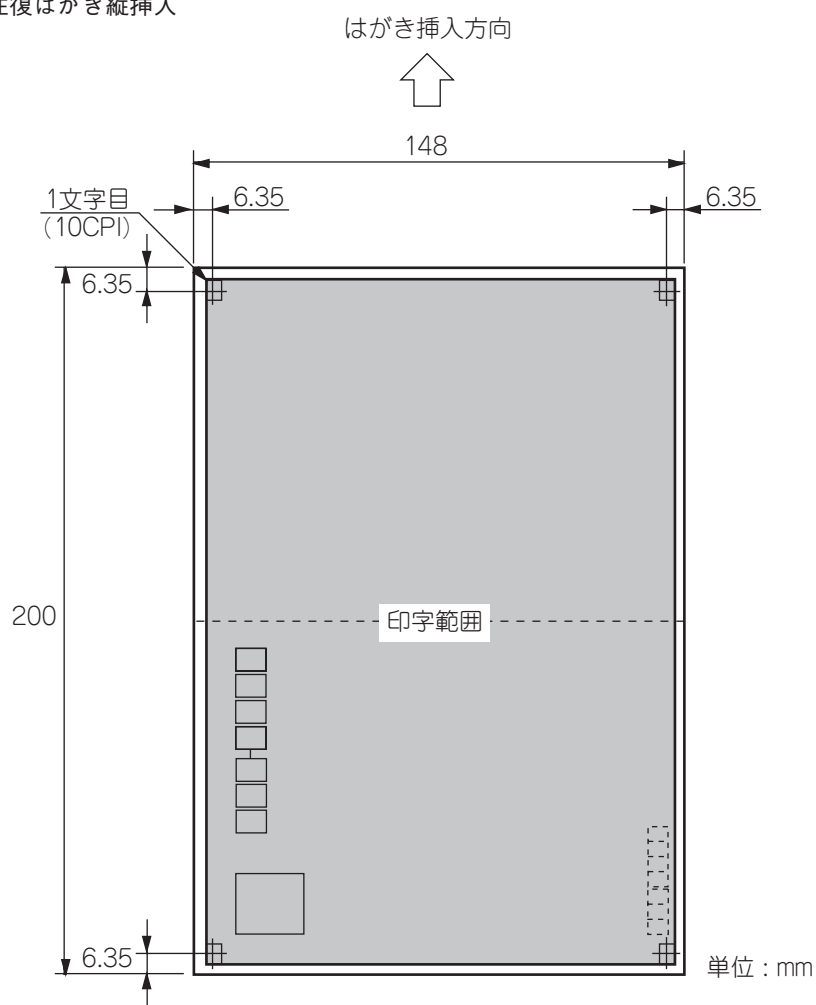
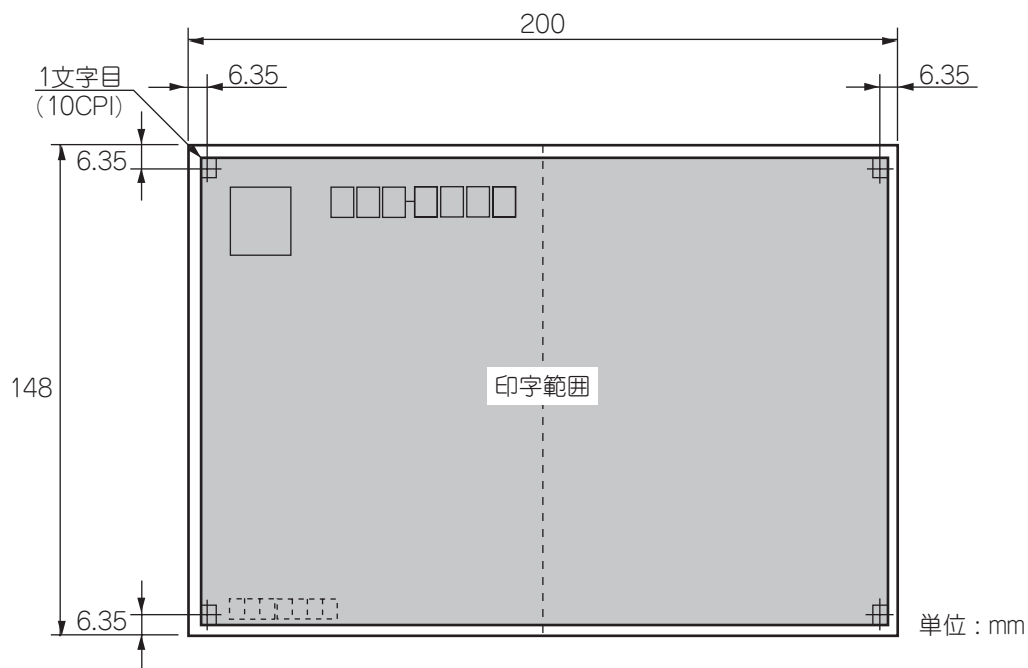
6.35

6.35

148

印字範囲

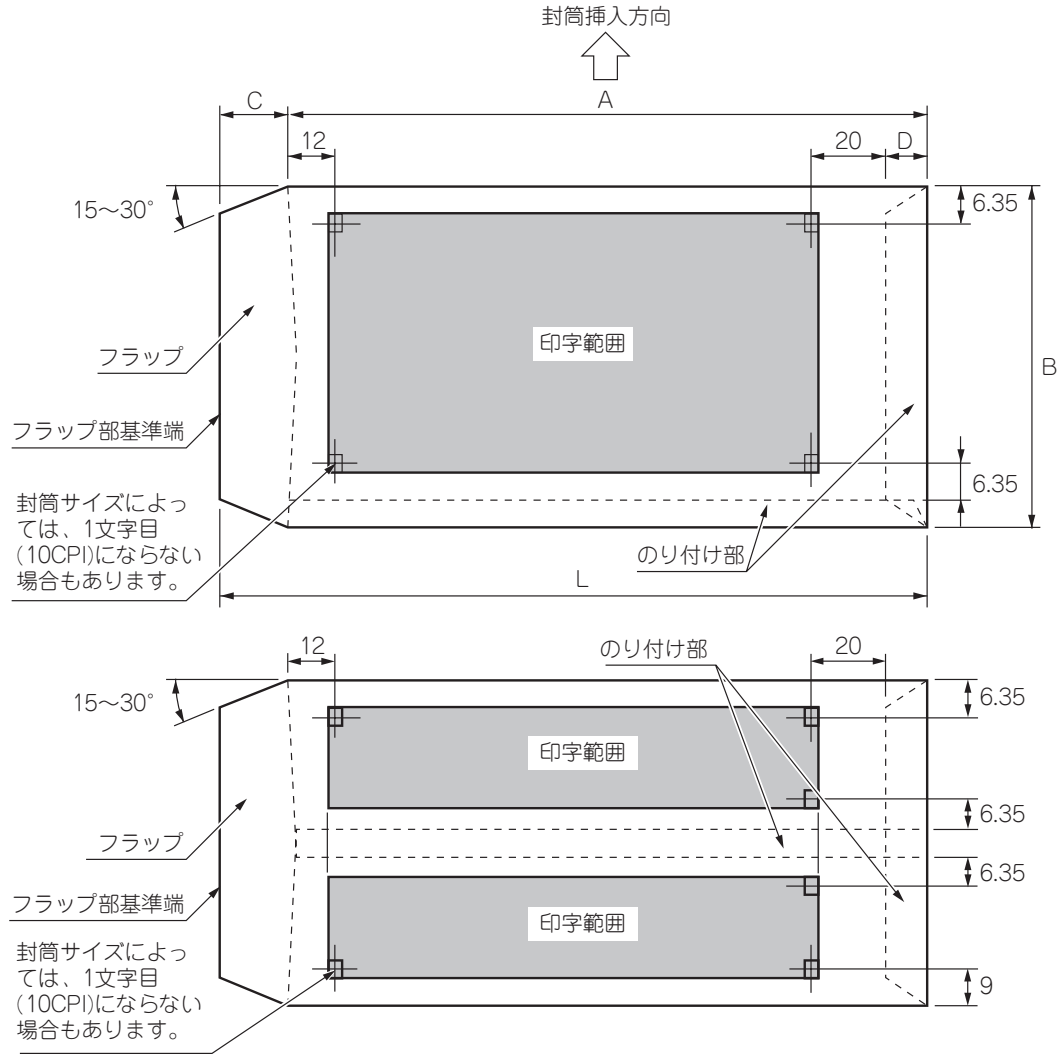
6.35

単位：mm

◆使用はがき

官製はがき
坪量　190g/cm^2（連量163kg相当）
厚さ　0.23mm

注
- 折れたり、曲がったりしていないものを使用してください。
- はがきの反りは2mm以下とします。ただし、下向きの反りは使用できません。

- 往復はがきは、折り目のないものを使用してください。
- はがきの表面・裏面は、白色（反射率60%以上）とします。
- 郵便番号枠などの印刷は除きます。
プレプリントの印刷禁止領域は単票用紙に準じます。

●封筒

◆用紙サイズおよび印字範囲

型＼寸法	A	B	C	D	L
長形4号	205	90	15〜20	8〜20	220〜225
長形3号	235	120	15〜25	8〜20	250〜260
角形3号	277	216	15〜35	10〜20	292〜312
角形2号	332	240	15〜40	10〜25	347〜372

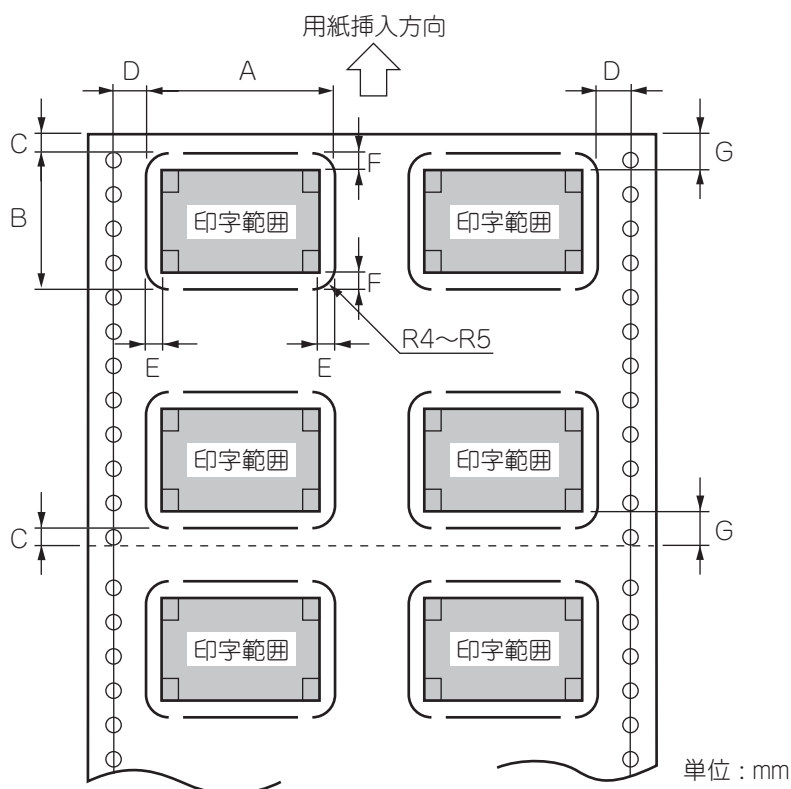
- 封筒は、JIS S 5502「封筒」に準拠した一重封筒とします。
- 用紙厚調整はオートの設定で使用しないでください。
- マニュァルギャップ調整で最大紙厚（中央重ね合わせ部）に合ったレンジを設定してください。(使用可能な封筒の最大紙厚は0.36mmです)
  例）クラフト紙封筒　70g/m^2, 80g/m^{2}の場合　レンジ7
- フラップ部基準端を有する形状のものを使用してください。
- 表面, 裏面に印刷されていない白色（反射率60%以上）の封筒を使用してください。
- 上端または下端でのり付けされている場合は、その面および前後各5mm以内での印字はさけてください。
- 破線部のくい込みが封筒肩より12mm以上の場合は、破線部の右側で印字を行ってください。
- 次のような封筒の使用は禁止します。
  - ・窓付きの封筒
  - ・フラップ部が折り返されている封筒
  - ・フラップ部にのり付け加工処理されている封筒
  - ・二重封筒
- 封筒ののり付け部近くまで印字した場合、印字範囲であってものり付け部の状態（特にエッジ部の折れ, ふくらみ）によっては印字汚れがつく場合があります。
- 横置き挿入のみ使用可能です。
  ペーパガイドにフラップ部基準端を合わせて挿入してください。
- 封筒は、カットシートフィーダでは使用できません。

●ラベル紙

ラベル紙を使用する場合は以下の基準に合ったものを使用してください。基準から外れたラベル紙は印字品位に悪影響をおよぼすだけでなく、粘着材の付着によって故障の原因になります。

注 ラベル紙を使用する場合は、事前に十分テストをして、問題のないことを確認してください。

◆用紙サイズおよび印字範囲

「連続紙」(226ページ)の規格に準じますが、下記にラベル紙固有の条件を示します。

記号	名称	規格値
A	ラベル幅	50mm以上
B	ラベル長さ	25mm以上
C	ラベル禁止範囲	6.35mm(1/4インチ)以上　12.7mm(1/2インチ)以上を推奨
D	ラベル禁止範囲	6.35mm(1/4インチ)以上
E	印字禁止範囲	3.81mm以上
F	印字禁止範囲	4mm以上
G	印字禁止範囲	10.58mm(5/12インチ)以上 印字精度保証は25.4mm(1インチ)以上

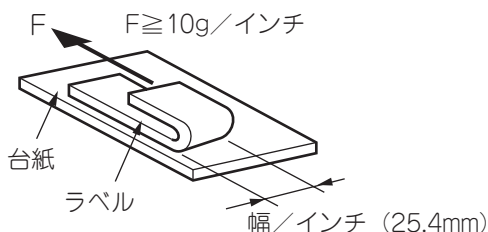
◆用紙連量

ラベルは上質紙で連量55kg、厚さ0.1mm以下。台紙ははくり紙で厚さ0.06〜0.08mm以下です。

◆最大用紙厚さ

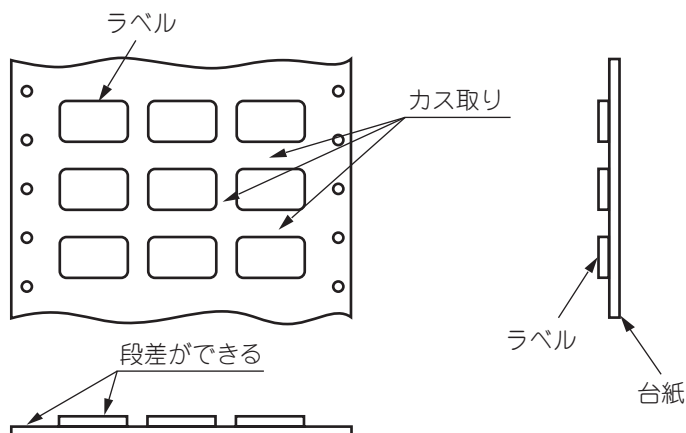
0.2mm

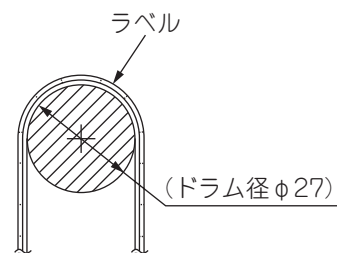
◆粘着剤

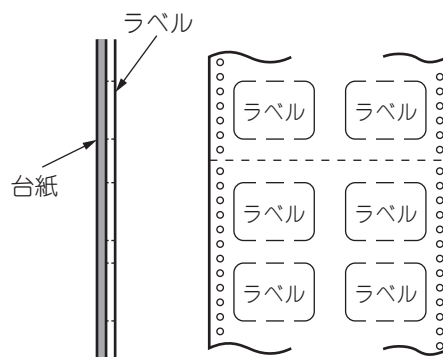
- はくり強度10g/インチ以上。
- 直径27mmの円筒に巻き付けたとき、ラベルが台紙からはがれないこと。
- 印字中や用紙走行中にラベルがはがれない状態に保たれた用紙を使用してください。
  粘着剤が表面にはみ出さないようにしてください。

◆カット

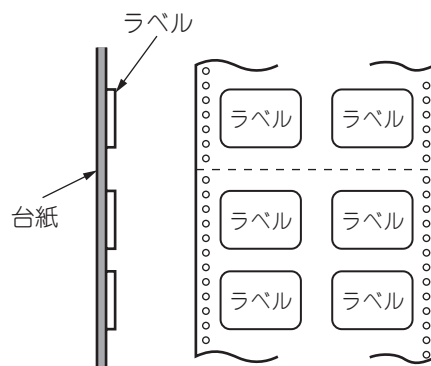
- カットはラベル（表面基紙）のみに入れてください。
- 台紙の横ミシン目に対応するラベルのカットは、横ミシン目と同一とし、両端1〜2mmにはアンカット部を設けてください。
- ラベル上方の左右コーナ付近に0.5〜1mm程度のアンカット部を設けてください。

◆ラベルのカス取りについて

ラベルのカス取りは行わないでください。
〔ラベルをはがしたときに残るラベル以外の部分（カス）が取り除かれていないこと〕
下図のようにカス取りのしてあるラベル紙は、段差ができるため、使用禁止です。

- ラベル紙と台紙の厚さは、合計0.2mm以下とします。ただし、ラベル紙および台紙の厚さはどちらも0.1mm以下とします。
- 直径27mmの円筒にラベル紙を表にして巻き付けたとき、ラベル紙が台紙からめくれたり、はがれたりしないものを使用してください。
  ラベルの貼付強度
  次の条件でめくれないラベルを使用してください。

巻付ドラム径	φ27mm
巻付角度	180°
巻付時間	24時間
周囲温度	40℃
周囲湿度	30%

- かすとり（ラベル以外の粘着シールをはぎ取ること）をしていないラベル紙を使用してください。

かすとりをしていないラベル紙

かすとりをしているラベル紙（使用しないでください）

●再生紙

再生紙は製造メーカや紙質により特性が異なりますので、ご使用に際しては以下の注意事項をご確認の上ご使用ください。

- 再生紙は紙粉が発生しやすいため、清掃を短い周期で行ってください。
- 再生紙は湿度の影響を受けやすいため、高湿度での使用は避けてください。
- 再生紙は用紙の引張強度や剛性が弱いため、用紙ジャム率、用紙スキュー、重送率等が増加します。
- 再生紙は紙厚が厚くなる傾向がありますので、ホッパやカットシートフィーダへのセット枚数が減少します。

●宅配伝票

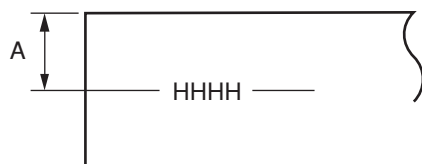
宅配伝票を使用する場合の注意点を示します。

- 用紙サイズおよび印字範囲は、連続紙および単票の規格に準じます。

- 複写能力, 印字精度は保証外です。
- 厚さが不均一な伝票は、印字汚れやスキューの原因になりますので使用しないでください。
- 紙厚調整は、厚さ0.5mm以上の場合、オートギャップで使用してください。

●印字規格

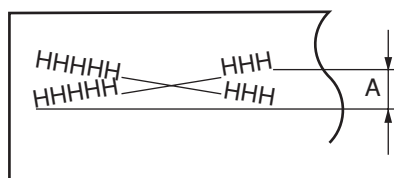
◆用紙の頭出し位置

自動給紙した時の用紙上端から1行目中心までの位置精度。

- 印字行の傾きは除く
- 用紙セットが正確であること

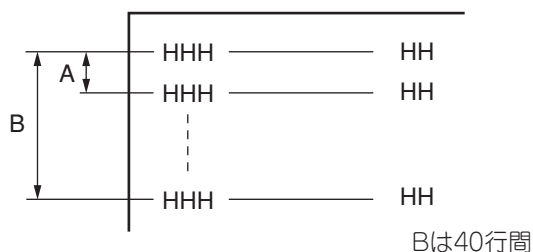
単位：mm

用　紙		A
連続紙	単紙（連量55Kg）	±1
	その他の用紙	±2
単票	単紙（連量55Kg）	±1
	その他の用紙	±2

◆印字行の傾き

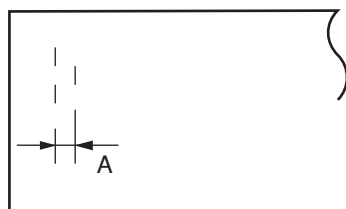
単位：mm

用　紙	文字数	A
連続紙	136	1.0以下
単票	60	1.5以下
官製はがき	36	1.5以下

◆改行精度

Bは40行間

単位：mm

用　紙		A=4.23	B=165.1
連続紙	単紙	±0.5	±1.0
	複写紙	±0.8	────
単票	単紙	±0.5	±2.0
官製はがき		±0.5	────

◆縦罫線のずれ

単位：mm

印刷方向	A
片方向	0.15以下
両方向	0.3以下

◆連続複写紙の層間ずれ

5枚複写紙の1枚目と5枚目の印字ずれは2mm以下

付録

Windowsプリンタドライバの印字範囲

Windowsプリンタドライバでは次に示す用紙サイズおよび印字範囲をサポートしています。

単位（mm）

用　紙	用紙幅	用紙長	ﾄｯﾌﾟﾏｰｼﾞﾝ(A)	ﾎﾞﾄﾑﾏｰｼﾞﾝ(B)	ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ(C)	ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ(D)
A4	210.00	297.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A4 横	297.00	210.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A3	297.00	420.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A3 横	420.00	297.00	4.37	4.94	4.94	69.71
A5	148.00	210.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A5 横	210.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A6	105.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
A6 横	148.00	105.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B4	257.00	364.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B4 横	364.00	257.00	4.37	4.94	4.94	13.62
B5	182.00	257.00	4.37	4.94	4.94	4.94
B5 横	257.00	182.00	4.37	4.94	4.94	4.94
Letter	215.90	279.40	4.37	4.94	4.94	4.94
Legal	215.90	355.60	4.37	4.94	4.94	4.94
はがき	100.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
はがき 横	148.00	100.00	4.37	4.94	4.94	4.94
往復はがき	148.00	200.00	4.37	4.94	4.94	4.94
往復はがき 横	200.00	148.00	4.37	4.94	4.94	4.94
封筒 長形4号 横	205.00	90.00	4.37	4.94	4.94	4.94
封筒 長形3号 横	235.00	120.00	4.37	4.94	4.94	4.94
封筒 角形3号 横	277.00	216.00	4.37	4.94	4.94	4.94
封筒 角形2号 横	332.00	240.00	4.37	4.94	4.94	4.94
名刺	55.00	90.00	4.37	4.94	4.94	4.94
10×11 ｲﾝﾁ	254.00	279.40	4.37	0.00	17.78	17.78
12×11 ｲﾝﾁ	304.80	279.40	4.37	0.00	17.78	17.78
15×11 ｲﾝﾁ	381.00	279.40	4.37	0.00	17.78	17.78
10×5 ｲﾝﾁ *1	254.00	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
10.1×5 ｲﾝﾁ *1	256.54	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
10.5×5 ｲﾝﾁ *1	266.70	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
11×5 ｲﾝﾁ *1	279.40	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
12×5 ｲﾝﾁ *1	304.80	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
12×6 ｲﾝﾁ *1	304.80	152.40	4.37	0.00	17.78	17.78
12×10 ｲﾝﾁ *1	304.80	254.00	4.37	0.00	17.78	17.78

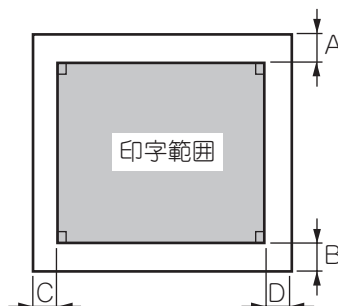
単位（mm）

用　紙	用紙幅	用紙長	ﾄｯﾌﾟﾏｰｼﾞﾝ(A)	ﾎﾞﾄﾑﾏｰｼﾞﾝ(B)	ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ(C)	ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ(D)
15×1 5/6 ｲﾝﾁ *2	381.00	46.57	4.37	0.00	17.78	17.78
15×2 1/5 ｲﾝﾁ *2	381.00	55.88	4.37	0.00	17.78	17.78
15×2 1/2 ｲﾝﾁ *2	381.00	63.50	4.37	0.00	17.78	17.78
15×2 3/4 ｲﾝﾁ *2	381.00	69.85	4.37	0.00	17.78	17.78
15×3 ｲﾝﾁ *2	381.00	76.20	4.37	0.00	17.78	17.78
15×3 1/4 ｲﾝﾁ *2	381.00	82.55	4.37	0.00	17.78	17.78
15×3 1/3 ｲﾝﾁ *2	381.00	84.67	4.37	0.00	17.78	17.78
15×3 1/2 ｲﾝﾁ *2	381.00	88.90	4.37	0.00	17.78	17.78
15×3 2/3 ｲﾝﾁ *2	381.00	93.13	4.37	0.00	17.78	17.78
15×4 ｲﾝﾁ *2	381.00	101.60	4.37	0.00	17.78	17.78
15×4 1/2 ｲﾝﾁ *2	381.00	114.30	4.37	0.00	17.78	17.78
15×4 2/3 ｲﾝﾁ *2	381.00	118.53	4.37	0.00	17.78	17.78
15×5 ｲﾝﾁ *2	381.00	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
15×5 1/2 ｲﾝﾁ *2	381.00	139.70	4.37	0.00	17.78	17.78
15×5 2/3 ｲﾝﾁ *2	381.00	143.93	4.37	0.00	17.78	17.78
15×6 ｲﾝﾁ *2	381.00	152.40	4.37	0.00	17.78	17.78
15×6 1/2 ｲﾝﾁ *2	381.00	165.10	4.37	0.00	17.78	17.78
15×6 2/3 ｲﾝﾁ *2	381.00	169.33	4.37	0.00	17.78	17.78
15×7 ｲﾝﾁ *2	381.00	177.80	4.37	0.00	17.78	17.78
15×7 1/2 ｲﾝﾁ *2	381.00	190.50	4.37	0.00	17.78	17.78
15×8 ｲﾝﾁ *2	381.00	203.20	4.37	0.00	17.78	17.78
15×8 1/4 ｲﾝﾁ *2	381.00	209.55	4.37	0.00	17.78	17.78
15×8 1/2 ｲﾝﾁ *2	381.00	215.90	4.37	0.00	17.78	17.78
15×9 ｲﾝﾁ *2	381.00	228.60	4.37	0.00	17.78	17.78
15×10 ｲﾝﾁ *2	381.00	254.00	4.37	0.00	17.78	17.78
15×10 1/2 ｲﾝﾁ *2	381.00	266.70	4.37	0.00	17.78	17.78
15×11 1/2 ｲﾝﾁ *2	381.00	292.10	4.37	0.00	17.78	17.78
15×11 2/3 ｲﾝﾁ *2	381.00	296.33	4.37	0.00	17.78	17.78
15×12 ｲﾝﾁ *2	381.00	304.80	4.37	0.00	17.78	17.78
15×13ｲﾝﾁ *2	381.00	330.20	4.37	0.00	17.78	17.78
15×14 ｲﾝﾁ *2	381.00	355.60	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦3inch *3	381.00	76.20	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦4inch *3	381.00	101.60	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦4.5inch *3	381.00	114.30	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦5inch *3	381.00	127.00	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦6inch *3	381.00	152.40	4.37	0.00	17.78	17.78

単位（mm）

用　紙	用紙幅	用紙長	ﾄｯﾌﾟﾏｰｼﾞﾝ(A)	ﾎﾞﾄﾑﾏｰｼﾞﾝ(B)	ﾚﾌﾄﾏｰｼﾞﾝ(C)	ﾗｲﾄﾏｰｼﾞﾝ(D)
連続紙 縦7inch *3	381.00	177.80	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦8inch *3	381.00	203.20	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦9inch *3	381.00	228.60	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦10inch *3	381.00	254.00	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦10.5inch *3	381.00	266.70	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦11inch *3	381.00	279.40	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦12inch *3	381.00	304.80	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦13inch *3	381.00	330.20	4.37	0.00	17.78	17.78
連続紙 縦14inch *3	381.00	355.60	4.37	0.00	17.78	17.78
ﾕｰｻﾞｰ定義ｻｲｽﾞ *4	53.30	25.40	4.37	4.94	4.94	4.94

- *1、*2の用紙は、Windows3.1にはありません。*3の用紙をお使いください。
- *3の用紙は、Windows Me/ 98/ 95/ NT4.0/ 2000/ XP/ Server 2003/ Vistaにはありません。*1、*2の用紙をお使いください。
- *4の用紙はWindowsNT4.0/ 2000/ XP/ Server 2003/ Vistaにはありません。サーバのプロパティで作成してください。
- ユーザー定義サイズの寸法はデフォルト値です。用紙長25.40～421.60mm, 用紙幅53.30～421.60mmの間で設定可能です。
- ユーザー定義サイズとサーバのプロパティで、用紙サイズを自由に指定できますが、「用紙規格および印字範囲」（224ページ）の範囲内で使用してください。
- Windows3.1のユーザー定義サイズは単票を前提にしておりますので、給紙方法をトラクタフィーダに指定できません。
- 用紙長検出のバラツキにより、ボトムマージンに誤差を生じる場合があります。各アプリケーションソフトウェアにおけるボトムマージン値の設定においては、9mm以上を推奨します。
- 封筒を使用する場合のマージン値については、「用紙規格および印字範囲」●封筒（249 ページ）に合わせて調整してください。
- 封筒はカットシートフィーダに対応しておりません。
  詳しくは「封筒のご使用について」（93ページ）をご覧ください。
- *2、*3の用紙は、用紙幅をすべて15inchに設定しております。使用する場合には「用紙規格および印字範囲」●連続紙（226ページ）を参照の上、規格範囲内でライトマージンを適宜設定してください。
  また、これらの連続紙を使用する場合、アプリケーションソフトウェアによりヘッダ、フッタの位置がずれる場合があります。この場合、アプリケーションソフトウェアでヘッダ、フッタの位置を調整して印刷してください。

付録

文字コード表、コントロールコマンド一覧表について

ANK文字コード表、漢字コード表、コントロールコマンド一覧表、拡張コントロールコマンドの仕様については、プリンタソフトウェアCD-ROM内にPDFファイルで格納されております。
詳しくは、プリンタソフトウェアCD-ROM内の「Readme」をご覧ください。

消耗品およびオプション品の紹介

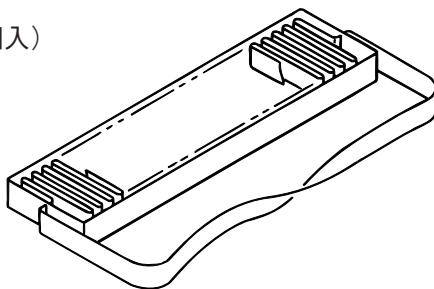
これらの消耗品およびオプション品は、販売店にて、型名を指定の上お求めください。

●消耗品

◆インクリボン

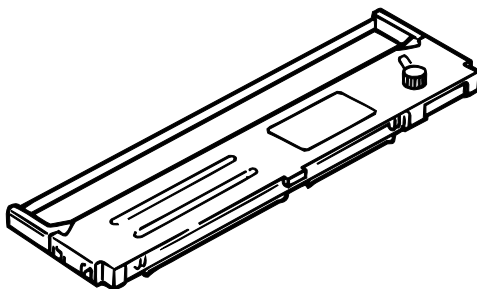
注 インクリボンは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

インクリボンの寿命は、約1000万字（高速度ANK）です。ただし、包装を解いたり、長時間放置していると短くなります。また、印字が薄くなったり、ほつれたりした場合は、早めに交換してください。インクリボンは製造年月1年以内に使用してください。

型名 : RN6-00-003（6個入）

◆リボンカートリッジ

リボンカートリッジは、商品本来の性能を発揮させるために、沖データ純正の消耗品をご使用ください。
純正品以外の消耗品をご使用になると、印刷品質の低下をはじめ本来の性能を発揮できない場合があります。
純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保障期間中あるいは保守契約期間中であっても有償となります。（純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください。）

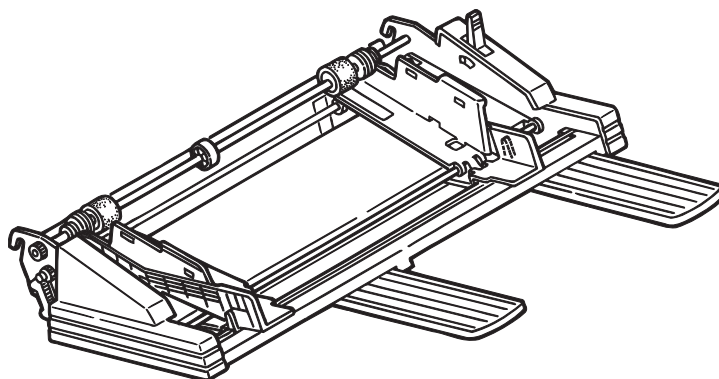
リボンカートリッジにはインクリボンが入っています。
インクリボンを5回交換したら、リボンカートリッジを交換してください。

型名 : RBN-00-002

●オプション品

◆カットシートフィーダ（CSF）

単票, はがきおよび複写紙を自動給紙します。

型名 : ML8580SCSF

付録

ユーザサポートサービスについて

●保証について

- 本製品には「保証書」が入っています。
- 「保証書」は、お買い上げの販売店が所定事項を記入してお渡しします。記入内容をご確認の上、大切に保管してください。
- 保証期間中に万一故障が生じたときは、「保証書」に記載されている当社保証規定に基づき無償で修理します。無償保証期間は「保証書」に記載されています。
- 「保証書」に所定事項が記入されていない場合や紛失した場合は、保証期間中であっても、保証が無効となる場合があります。
- 純正品以外の消耗品をご使用になって生じた不具合の対応は、無償保証期間中あるいは保守期間中であっても有償になります。(純正品以外の消耗品の使用が全て不具合を起こすわけではありませんが、ご使用にあたっては十分にご留意ください)
- 保証期間経過後は、修理によって本プリンタの性能が維持できる場合、お客様のご要望により有償にて修理します。詳しくは、お客様相談センターまたは、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 本製品の故障、またはその使用によって生じた直接・間接の損害については、当社はその責任を負わないものとします。

●最新版のプリンタソフトウェアを入手したい

ダウンロードサービス

沖データホームページから入手できます。

http://www.okidata.co.jp

●プリンタのご相談と修理について

付録

プリンタの操作方法がわからない、故障かもしれない、修理をして欲しい、商品について聞きたいなど､プリンタに関するお問い合わせをお受けします。次の「お問い合わせチェックシート」に記入してからお電話ください。なお、内容確認のため、録音させていただいております。

お客様相談センター　　0120-654-632

(携帯電話からは03-5846-5921)

受付時間　9 : 00 ～ 20 : 00月曜日～金曜日
9 : 00 ～ 17 : 00土曜日
(但し、祝日、年末年始等を除く)

※　月曜日～金曜日の17:30～20:00及び土曜日のお問い合わせで、訪問修理が必要な場合は、翌営業日に改めてご連絡をさしあげます。

※　上記以外にも弊社都合によりお休みをいただくことがあります。

◆プリンタのサポートサービスは㈱沖電気カスタマアドテック（OCA）とそのグループ会社が担当しております。

●個人情報の取り扱いについて

当社はお客様の個人情報を厳正に管理し、以下の場合を除き、第三者への開示や、提供はしないものとします。

a) 当社が指定する業務提携会社に対して、お客様の氏名・住所・電話番号などの保守サービス等の業務を委託するために必要な限度でお客様情報を提供すること。

b) お客様情報を統計的に集計・分析し、個人を識別、特定できない形態に加工した統計データを作成させていただき、製品開発、サービス向上の判断材料として利用すること。

c) 予め登録時に同意頂いたお客様に対して、当社または当社提携会社より、サービス提供、アンケートその他の告知等のため電子メールや郵便物の郵送、または営業担当者からコンタクトを取らせて頂くこと。

d) 裁判所の発行する令状、捜査事項照会書その他法令に基づいてお客様情報を開示すること。

— お問い合わせに回答できない場合について —

1. UNIX環境でのお問い合わせ
2. アプリケーションの使い方
3. 問題解決に必要な情報が不足している場合
4. お客様固有のシステム環境のアドバイスやコンサルティング
5. プリンタの非公開仕様に関するお問い合わせ

お問い合わせチェックシート

具体的な症状

プリンタ環境

機種名：＿＿＿＿＿＿＿＿製造番号：＿＿＿＿＿＿＿＿購入日: ＿＿＿年＿＿＿月

追加オプション：　なし　あり（　　　　　　　　　　　　）

コンピュータ環境

☐ Windows　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

☐ MacOS　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

接続方法

☐ パラレル　☐ USB　☐ RS232C　☐ ネットワーク

☐ TCP/IP　☐ IPX/SPX　☐ Ethertalk　☐ NetBEUI

プリンタドライバ

プリンタドライバ名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

アプリケーション

アプリケーションソフト名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　バージョン：＿＿＿＿＿＿＿＿

使用フォント名：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

エラー表示（正確に）

コンピュータの画面に表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

プリンタの操作パネルに表示される内容　：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

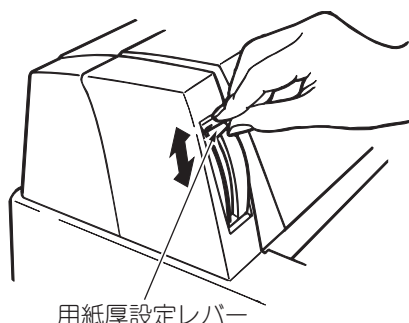
その他

他のアプリケーションからの印刷　：☐ 正常　☐ 印刷できない

他のコンピュータからの印刷　：☐ 正常　☐ 印刷できない

●プリンタを輸送するときは

プリンタは精密機械ですので梱包方法によっては輸送中に破損することがあります。移設や修理などで移動, 運搬するときは、次の手順で梱包してから輸送してください。

1 プリンタの電源スイッチを「**OFF**」にして、用紙厚設定レバーを「**自動**」位置にします。

2 プリンタの電源スイッチを「**ON**」にしてキャリッジが止まった後、再び電源スイッチを「**OFF**」にします。

電源スイッチが（○）側になっていることを確認します。
キャリッジが上昇し、固定具（ストッパとロックピース）を取り付け易くなります。

3 用紙を取り去り、シートスタッカを取り外します。

4 電源コードを抜き、インタフェースケーブルを取り外します。

電源プラグをコンセントから抜き、プリンタのACコネクタから電源コードを外します。
インタフェースケーブルをプリンタから取り外します。

5 オプションを取り外します。

オプションを取り付けている場合は､7章「オプション」（173ページ）を参照して取り外してください。

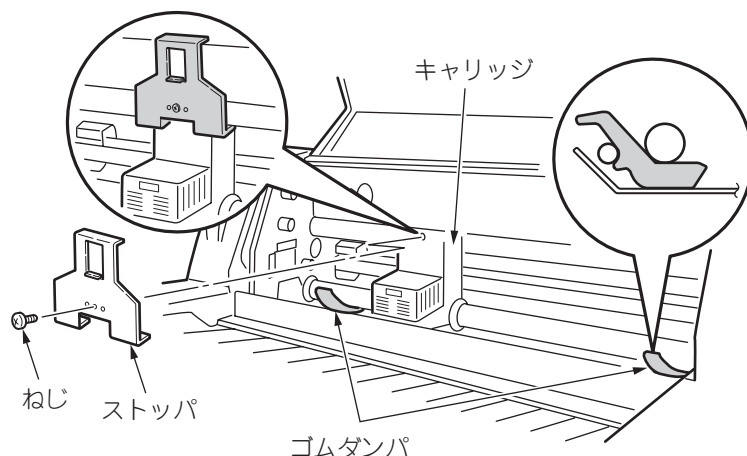
6 リボンカートリッジを取り外します。

「リボンカートリッジの取り外し」（23ページ）を参照してください。

7 輸送用固定具を取り付けます。

印字ヘッドなどを保護するために、輸送用固定具（ストッパとゴムダンパ）を必ず取り付けてください。

注 輸送用固定具で固定しない場合、プリンタの故障の原因となることがあります。

① ゴムダンパを図の位置へ押し込みます。

② キャリッジを輸送用固定具取り付けねじ穴位置まで手で移動させます。

⚠注意	やけどの恐れがあります。	

印字直後は印字ヘッドが高温になっていますので、印字ヘッドに触らないでください。固定具の取り付けは、印字ヘッドの温度が下がってから行ってください。

③ ストッパをキャリッジに差し込み、ネジでフレームに固定します。

8 緩衝材でプリンタを保護し、梱包箱に入れます。

 プリンタ購入時についてきた梱包箱と緩衝材を使用してください。

プリンタを衝撃から守るため緩衝材を取り付け、届いたときと同じ状態にして箱に入れます。
付属品も同様に添付品箱に梱包し、箱に入れます。

●消耗品を購入したい

プリンタをお買い上げいただいた販売店よりご購入ください。

●プリンタを廃棄したい

お買い上げいただいたプリンタの廃棄の際、事業所でお使いの場合は、産業廃棄物処理業者に委託してください。一般家庭でお使いの場合は、お客様がお住まいの地方自治体の条例に従って廃棄してください。
なお、詳しくは各自治体にお問い合わせください。

●使用済み消耗品の回収について

沖データでは環境保全と再資源化を目的として、使用済みのMICROLINEプリンタの消耗品とメンテナンスユニットの無料回収を行っています。
下の用紙をコピーし、必要事項を記入してFAX、もしくは、弊社のホームページ（http://www.okidata.co.jp）よりご連絡いただければ、お客様のところまで指定の宅配業者が回収におうかがいいたします。

（お願い）

- 包装箱やビニール袋は捨てずに保管し、ご使用済みの消耗品およびメンテナンスユニットの回収時に利用してください。
- カートリッジ1本でも回収にうかがいますが、地球環境への負荷をできるだけ低減させるためまとめ回収にご協力ください。
- できましたら、回収品の数が多い場合、不要になったダンボール箱などにまとめて頂くようお願いいたします。

皆様のご協力をお願いします。

受付 No.　：
* 弊社にて記入いたしますので、お客様の記入は不要です。

FAX 0120-107995

沖データ回収センタ　宛

西暦　　　年　　月　　日

お客様名（会社名）：
ご担当者名　：
ご住所　：
お電話番号　：
回収ご希望日　：　　　年　　月　　日

【お断り：受付時間以降にFAXされた場合、回収日がずれる場合があります。】

回収依頼品

品名	数量
イメージドラムカートリッジ	：　　個
トナーカートリッジ	：　　個
定着器オイルローラ	：　　個
廃棄トナーボックス	：　　個
転写ベルトユニット	：　　個
定着器ユニット	：　　個
インクリボンカートリッジ	：　　個
その他マイクロライン消耗品	：　　個

【*不要となったダンボール箱などにまとめて入れてください。】
まとめた箱の荷姿で合計　：　　個口

ご不明な点は下記へご連絡ください。
沖データ回収センタ
TEL 024-594-2185　又は、フリーダイヤル0120-640991
受付時間：月～金曜日（祝日、弊社休日を除く）
9：00～12：00、13：00～17：00

索　引

【数字】

【D】

【H】

【M】

【W】

【あ】

【い】

【お】

【か】

【こ】

【し】

【す】

【せ】

【た】

【ち】

【つ】

【て】

【ね】

【は】

【ふ】

【ほ】

【め】

【も】

【や】

【よ】

【ら】

【り】

【れ】

株式会社 沖データ

お客様相談センター

0120-654-632

(携帯電話からは03-5846-5921)

受付時間　9:00～20:00 月曜日～金曜日
9:00～17:00 土曜日
（但し、祝日、年末年始等を除く）